

超能力開発特集(2)

UFO contactee

SINCE 1961
GAP JAPAN NEWSLETTER



UFO/超能力/宇宙哲学
コンタクティ

地球へ救援に来るUFOと転生の法則

奇跡をもたらす「生命の科学」

超能力開発の新しい視点

潜在意識としてのDNA

私は巨大な母船を見た

GAP海外旅行で目撃した数々のUFO

UFO-宇宙からの完全な証拠

SPRING
1990

108



〈巻頭言〉 カルマ	1
地球へ救援に来るUFOと転生の法則	G.アダムスキー 2
奇跡をもたらす「生命の科学」	久保田八郎 10
超能力開発の新しい視点	秋山真人 14
星富治夫・新潟支部代表「クローズアップ!」	26
科学-Science	28
GAP短信	30
潜在意識としてのDNA	N.H.M.D. 31
私は巨大な母船を見た	小瀬村英美子 32
私についてきた光るUFO	郡司典子 32
GAP海外旅行で目撃した数々のUFO	中根豊 33
〈写真〉 デザートセンターのUFO	34
〈写真〉 弘前市に出現したUFO/青森県内のUFO騒動、過熱	35
ロイよ、来て助けておくれ!	久保田八郎 36
UFO-宇宙からの完全な証拠(連載第10回)	ダニエル・ロス 38
〈投稿欄〉 ユーコン広場	45
本誌/バックナンバー掲載記事目録	46
〈報告〉 長野支部大会	48
〈予告〉 南九州支部大会/仙台・山形合同支部大会	49
〈広告〉 アダムスキー全集/英文版ユーコンNo.5/編集後記	50
日本GAP全国月例研究会案内	52



◀ 星人からジョージ・アダムスキーに伝えられた金星のシンボルマーク。2個の図形の内、左側は宇宙の女性原理(陽)、右側は母性原理(陰)を意味する。円は宇宙をあらわしている。

GAPについて

GAPは「知らせる運動」という意味の世界的なグループ活動で、世界中の人々がUFOの真相について“知る”機会を与えられるべきであるという見地に基づいて1959年にジョージ・アダムスキーによって創始されました。彼の願いは「最大多数の人が現代の真実を発見して、来たるべき時代に眼を転じること、人間はすべて“コスミック・パワー”の子であり、そのパワーの諸法則が宇宙に遍満している事実を確信をもって知ること」にありました。この諸法則は他の世界(惑星)から来る友好的な訪問者からもたらされた“生命の科学”の研究と理解を通じて体得できます。

日本GAPの目的はUFOとスペース・ブラザーズ問題を関心ある人々に伝えることにあり、奉仕活動を通じて真実の解明と宇宙の法則の実践を呼びかけることにあります。その中心思想は次のとおりです。

1. この太陽系の他の惑星群には偉大な発達をとげた人類が居住しているが、米ソ等の大国政府はこの真相を隠している。
2. 他の世界から来る人々はこの世界の政治家や科学者とひそかにコンタクト(接触)しており、危機にひんした地球に対して救援の手をさしのべている。官民を問わずスペース・ブラザーズとコンタクトしている人々が少数存在すると思われるが、通常その真相は洩らされていない。
3. ジョージ・アダムスキーがもたらした哲学は、人類の精神の向上と地球の輝かしい未来を築くために不可欠のものである。

本誌は他の団体・個人と対立するものではなく、政治・宗教と関係のない非営利刊行物です。本誌が読者に対して多少とも役立てば幸いです。

表紙写真

米ペンシルバニア州のUFO

1965年8月8日午後11時30分頃、ペンシルバニア州ビーバーのジェームズ・ルッチが月を撮影していたとき、持っていたカメラ(ヤシカ635)で2枚撮影した内の1枚。左の丸い物体は月。他に目撃者が2名いる。

現在、人口に膾炙しているUFO問題について、宇宙人侵略説が流布しているらしい。地球人を誘拐して身体検査をしたり傷つけたり、大量の牛のハラワタを抉り出したりする、悪逆な宇宙人」というイメージを植えつけられ、恐怖心をいだいている人が少なからずいるという。こうした猟奇趣味をそめるような記事が不気味な心霊の記事と同様によく売れるとは出版関係者の話だ。この世界の人々の心には恐怖が根付いているから、怖いもの見たさの心理が働くのだろう。「自分の恐怖心以外

〈巻頭言〉

Karma カルマ



に恐怖すべきものは存在しない」とアダムスキーは言っているが、確かに恐怖心の強い人ほどマイナスのイメージを描きやすいので、そうした情報にひかれるのだろう。いわく「今世紀末に世界に大変動が発生して大方の人類が滅亡する」(「今世紀最後の年(あと一〇年しかない)」、大核戦争が発生して地球は廃墟と化す」etc.。こうした本が巷間に氾濫とまでゆかなくても書店に山積している。

一体、悪魔宇宙人は、いるのか、という、と、まず、いそうにはない。こう

した話の殆どはイタズラ、情報工作、作り事から出たもので、牛のハラワタ抉りも地球人側の仕事である。最新の装置を持つ組織化された集団ならば朝飯前でやれるだろう。

しかしこんな事よりも、いまだにUFOは存在しないとされている人達の言動が問題である。存在することは認めても全く関心のない人も多い。どだい宇宙の視野を持たず、地球以外の空間へ目を向けようとしないう人がまだ圧倒的に多い。この理由は次のとおりだ。

(地球上の)人間は皮膚の色の差こそあれ、大なり小なり外観や体形に大差はなく、服装も特殊な民族衣装は別として大体に洋服が国際化しているから、外見上誰も皆同じ人間に見える。つまり霊長目ヒト科に属する哺乳類である。学名でホモ・サピエンスという。だから平等主義的な人は「みな同じ人間ではないか」と言ったりする。

ところが同じように見える人間でも本質的に異なる要素を個々に持っている。それはカルマ(宿命)の相違である。一見同じ地球人であり、同じような背景と同じような経歴を持っているように見えても、ある人は偉大な進歩をとげた別な惑星から転生してきており、過去生の記憶を保っている場合がある。他の人達は地球で転生を繰り返してきたけれども過去生の記憶は失っている。こうした場合、前者は宇宙的な方向へ目を向けたがるが、後者は宇

宙空間に全く関心を示さず、世俗的な事柄にしか注意を払わない。これが一般人の持つ決定的な、しかも誰も気付かない根本的な相違点であるとアダムスキーは言う。

別な惑星から転生してこなくても地球上の無数の転生の繰り返しを通じて宇宙的な視野を広げてきた人は、今生でもやはりそれなりのカルマを有し、宇宙を意識する。したがってUFOというがごとき地球外文明に関連があると思われる物体に関心を示すか否かは、すべて過去生からのカルマに負うものである。だからこそ、どんなに証拠物件を見せられても信じない人は頑として信じないし、証拠などなくても直感的に「真実だ」と信じる人もある。

この直感的な認識力をカントは「ア・プリオリの理性」と言っているが、アダムスキーは「テレパシクな感知力」と呼んでいる。このテレパシクな感知力が人間のカルミツクな(カルマ的な)要素の中で最も宇宙的な性質を帯びたものと言えるだろう。地球人は知力に頼るだけで、潜在するもう一つの重要な原動機であるテレパシクな直感力を死蔵させている。この存在に気付いていない。なぜか。過去の無数の転生を通じてそのエンジンを開発する努力を怠ってきたからだ。だいいち過去生の記憶もない。記憶がなければ人生は一回限りだと思ひ、物欲を高めるだけである。そこで来世も

記憶を喪失した状態で物欲のみに走る、という悪循環を果てしもなく繰り返す。アダムスキーによれば、地球の全人類の内、真に宇宙的な成長をとげつつある人は一%しかおらず、あとの九九%はゾンビだという。ゾンビとは超自然力によって生き返らされた死体を意味する。つまり魂のないロボットというのと同じだ。言いかえれば九九%の人は精神的な自己開発の意欲を全く持たないということになる。

だが地球世界の人間は科学に対する知力を高度に発達させているので、科学力によっていずれは太陽系の先進惑星群の超絶した文明と人類とを発見して瞠目するだろう。たぶん二一世紀に発見の曙光が見えてくるかもしれない。しかしそれでもなお別な惑星群の大明を信じない人は、いるだろう。宇宙船で連れて行かれて天国のような世界を見せられても、「いや、ここは地球上のどこかだ。自分は騙されているのだ」と言うかもしれない。信じない人というのはそんなものなのだ。これは本人の知性のせいではなく、過去生からのカルマのせいである。

ただし重要な問題がある。カルマの差は個人間に厳然と存在するけれども、これによって他人を絶対に差別してはならない、ということだ。カルマの形は個人の自由意志によるけれども、人間を創造したのは宇宙の意識にほかならないからである。(久)

UFOs As a Rescue Party, and the Law of Reincarnation
by George Adamski / Translated by Hachiro Kubota

UFOの真相・連載第3回

地球へ救援に来るUFOと転生の法則

● ジョージ・アダムスキー／久保田八郎訳

イラスト／角 慎作

別な惑星から来る宇宙船群(UFO)は地球をひそかに救援している！人間は国から国へ、惑星から惑星へ転生の旅を続けて膨大な体験を積み重ねるが地球人はすべてを忘却。過去生の記憶が人間の発達に最重要！アダムスキーの深遠な話は佳境に入る。

スペースビープルは地球の大核戦争を防止する

〈前回からの続き〉別な惑星から来た人々は地球で一大核戦争が発生せぬようにとの願いをこめて、これまで何度も戦争をひそかに防止してきたというアダムスキーの説明に対する質問。

異星人たちはどんなふうにして戦争を防止したのか？

「そうだね、こんなふうの説明しよう。朝鮮戦争のとき仁川湾でアメリカの数隻の駆逐艦が湾内にいた。艦隊の残りの艦船は湾のすぐ外にいた。

すると澄んだ青空から二個のミサイルがものすごいスピードで湾内の水面に落下した。彼らはミサイルと言っているが実際には別な惑星から来た宇宙船だったのだ。

これがあるにも強い衝撃だったので、ガーディナー・ベイ号という駆逐艦の装甲板はへこんでしまった。ケガ

人は出なかつたが、装甲板が損傷を受けたものだから、艦は三カ月後に修理のためサンディエゴ湾へ帰らねばならなかつた。

一方、その宇宙船が水中に落下したとき、艦隊はただちに円陣を組んで、宇宙船を逃がすまいとしたけれども、二機の宇宙船は水中をもぐり、艦隊の下をくぐって逃げて行くのがレーダーでキャッチされたのだ」

数年前にアルゼンティンのある湾にもぐり込んだ「潜水艦」もやはり別な惑星から来た宇宙船だったのか。「そうだ。だがこんな事はさほど異常なことではない。同じような事件は最近サンフランシスコ湾やサンディエゴ湾

でも起こっている。しかしこれは人間に何かを考えさせる事件だ」

大自然の英知に気づかぬ人間

別な惑星群には「原罪」というものがあるのか。地球のキリスト教会では、あらゆる人間は原罪を背負って生まれてくると教えている。

「いや、ない。あれは教会で教えるときの宣伝文句なのだ」

——ときとして、われわれ人間の持つ可能性には限度があるように思われるのだが——。

「何者に対しても限界などはない。大自然が万物の世話をしてくれるのだ。私が以前に住んでいたパロマー山では雨が降らぬときに山火事を防止するための手段があれこれと講じられた。火事



▲米太平洋岸最大のサンディエゴ軍港。撮影／久保田八郎

が発生すれば危険になる。そこでパロマー山ではハンターに対して鹿を捕ることを禁止した。

すると、鹿による汚染が広がるだろうと誰もが言い出した。だがそうはならなかつた。こうした場合、大自然はいつも適切な処置をとってくれるのだ。われわれの大きな問題はこうだ。われわれは神を信ずると言い、教会へ行ったり、その他いろいろな事をやる。だが、どれだけ神を信じているというのか。

人間は、創造主がやっている事を創造主自身が知らないのだというふう

と思う。実際には米政府はすでにUFOの正体を知っているのだ。

もう一つある。もしUFOがレーダーでキャッチされると地上では理解できないために敵側のミサイルとみなされて戦争をおっぼじめるかもしれない。このことは一九六一年と二年に知られていた。スペースビープルはそのことを知っている、今は慎重にやらざるを得ず、大挙しては来ないだろう。

一九五一年に五〇〇機のUFOがニューメキシコ州ファームントン上空に終日出現した。さらに五六年には地球上の各地上空に六〇〇〇機のUFOが見られた。これは一度にそれだけの数で出現したのではなく、世界中のあちこちに群れをなして飛んだのだ。

——彼らは空中で何をやっていたのか。「地球人は核兵器でこの世界を爆破する寸前まで行った。それでトップクラス政治家がジュネーブ会議を開いた。会議は続いて、その後、米政府は核エネルギーを戦争にはなくて平和目的のために使うべきだという声明を出した。言いかえれば、スペースビープルは彼らの出現によって政治家たちの心を変えさせるように強い印象を与えたのだ」

——スペースビープルはもう大挙して出現しないと、あなたに言ったのか。

「いや、言っていない。だがUFO出現は減少しているし、今後とも減少するだろう。地球から有人宇宙船が打ち上げ

られるならば、スペースビープルは細心の注意を払ってそれを見守り、もし宇宙飛行士がトラブルに直面すれば、それを救出するだろう。われわれはその男が行方不明になったと思うだろうが、実際にはスペースビープルが助けたのだ。彼らは宇宙飛行士を宇宙空間で死なせはしないだろう」

転生の法則について

——転生(てんせい)（生まれかわり）についてもつと知りたいのだが——。

「転生というのは生命の始まりから言えることだ。全自然界は復活または転生を証明している。復活も転生も同じ事だ。転生というのは東洋哲学のヒンドゥー教の概念で、一方、キリスト教徒はそれを復活と呼んでいる。だが両方とも『帰ってくる』ことを意味する。春になると全自然界は新しくなる。樹々は新しい葉をつけたりする。植物に関する限り人間はそれを復活と呼んでよいだろう。一方、人間に関する限り実際には同じ事が起こっている。それは、あなたがこの家から出て行くのと異なるものではない。あなたはどこか別な家へ入って行く。するとこの家にはいる人々にははやあなたを見ることではない。

イエスは次のように言っている。「私はあなた方のために場所を準備しに行く。あなた方をそこに住まわせるためだ」

それ以外にも聖書には多くの言葉が出ています。聖書ばかりでなく他の書物にも同じ事が述べてある。

イエスが山上にいたとき変容が発生した。変容とは実際には彼がそこで瞑想をしていたことを意味する。彼はあらゆる種類の想念を起こし、その想念が彼の心を通過していたあいだ、それは(想念類は)彼の顔の表情となつてあらわれた。あたかも彫刻家が粘土でこねるように、想念類が彼の顔つきを次々と変えていったのだ。弟子たちはイエスを見守っていた。弟子たちが弟子たちに近づいたので、一同は彼がどんなふうに見えたかを話した。彼は終始顔つきが変化していたのだ。そこで彼は答えた。「私の生命は多くの人の生命なのだ」

われわれはこのことを次のように誤解している。「彼は多くの人の身代わりになつて死んだのだ」だが実際は次のことを意味していたのだ。

彼はその日に至るまで多くの段階を通過してきたのだ。彼はあなた方と同じように、人間としてのあらゆる段階を経ってきたというわけだ(訳注「多くの人生を転生によって経験したの意」)。

あなたのお父さんが大実業家であるとしよう。彼は最初から徹底的に働いた。そこで今はあなたがお父さんの跡をついでやるとする。だがお父さんのように成功するまでには、あなたも初

めから徹底的に働かねばならない。そのためにはあらゆる異なった表現または学習の段階を通つて行く。これがイエスの意味した事なのだ。

転生は絶対的な事実だ。たぶんわれわれはこの事を証明できないだろうが、人間は今まで見たことのない無数の人に出会いながら、しかも相手を知っているような感じを起こすことがある。これは過去生で出会ったことがあるからだ。つまり人間にはある時点へ帰つて行こうとする。「記憶」があるのだ。しかしわれわれはときとしてそれを無視する。

あるいは今まで全然行ったことのない場所へ行くとする。すると突然、その場所について何かを知っているような感じが起こることがある。だが本人は現在の生活とそれとを結びつけることはできない。そこで「これは私の空想なのかもしれない」と言う。

しかしそれは本人が赤ん坊の頃にかをやつた思い出のように、むかしのある時点へ帰つて行こうとする記憶なのだ。本人は成長したあと忘れていたけれども、突然その思い出がよみがえつて、記憶が浮かび上がってくる。本人は「私がそんな事をやつたはずはない。あまりにも幼い頃のことだと思ひ出すことはできない」と言う。するとたぶん母親がその事を思い出して確認する。

われわれが認めようとしなければこ

●アダムスキー撮影のスカウトシップ(円盤)

六インチ反射望遠鏡を使用して低空に降下した円盤を撮った珍しい写真。上部に見える雲は機体内の磁極の転換の際に生じる人工的な雲。この方法により機体を意のままに雲で包むことができる。縁が欠けたように見える部分はフォースフィールドの作用によるもの。

うした記憶なのだ。だがあちこちでその記憶を認めるならば、記憶力は発達してくる。

重要なのは記憶

記憶というものは非常に重要だ。それはわれわれを感じる以上に重要なのだ。というの人間が自分の正体を知るようになるのは記憶によるからだ。記憶によらないで自分自身を知ることができない。かりに私が死んで別な惑星で生まれかわったとし、あなたが何かの方法でそこへ来たとする。そして言う。『私はアダムスキーさんを探しているんだ。彼がこの惑星にいることを知っているんだ』と。するとその住民が言うだろう。

『アダムスキーさんとは一体誰かね。そんな人など知らないよ。名前などはおう同じではないからだ。』

だが、もしあなたが私の内奥の真自我に対して気づいたならば、ただちに私が元のアダムスキーであることに気づくだろう。二人が出会ったとたんにあなたは『これはジョージだ。あらゆる面で私が記憶しているとおりで』と言うだろう。

物事は変化してゆく。だが、あなたが私という人間に気づくのは記憶によるのであって、しかもわれわれがこれまで無視してきたのは実にこの記憶なのだ。ちょうどテレビパシーを無視して

きたのと同じだ。肉体も家もこの地上に残されるので、他の物は存続しないけれども、存続する唯一の物は記憶なのだ。』

——一惑星から別な惑星へと転生が行なわれる場合、たとえば自分が以前に火星で生涯をすごしたことがあっても、それを自分で思い出せないのを、あなたはというふうの説明するか。

『あなたが地球へ生まれてくるとき、金星または火星から転生してきたのかもしれない。だが、あなたがこの世界で最初に知る事は、この世では何が行なわれているかということであって、過去の生での物事ではない。』

なぜ過去生が思い出せないかということ、その理由は次のとおりだ。

われわれは因襲と伝統に満ちた一万年の文明を持っている。しかも社会は多くの習慣にもとづいている。したがってあなたは生まれたばかりの赤ん坊のときから、それらを浴びせかけられる。そして成長すると母親、父親、叔父、叔母、祖父その他の人々からいろいろな非宇宙的印象を受ける。これ以外にも社会がさまざまな概念を押しつけてくる。だから生まれてからものが言えるようになるまでには、せっつかく過去生から持ち越してきた記憶も、これらのガラクタ(くだらない概念)で隠されてしまうのだ。

さらに年をとると、あなた自身に何かの変った物事が起こってくるので、

自分はこの世界では「旅人」であり、どこかの別な世界から来た人間なのだと感じる。しかしあなたは他人が理解してくれないだろうと思つて、そのことを人に話そうとしない。そこでその記憶を隠してしまい、表現する機会を失う。

あなたが自分の内部の何かを発達させる唯一の機会は、それを応用するときになのだ。だが、かすかな記憶がよみがえつてきても、気違いだとかなんとはいわれることを恐れて、その記憶を内部に押し込んでしまい、大衆とともに成長してゆく。だから過去生の記憶を失つてしまうのだ」

過去生を思い出す方法

——その記憶はどのようにしてわき起こるのか。覚醒してから何をしゃべつたか分からないような催眠状態におちいつたときか。

「私は催眠状態におちいらない。あなたは自分自身を訓練し、自分の心、感覚器官などを静めて、内部の意識の声に耳を傾ければよい。これにはほとんど時間はかからず、すぐやれることだ。これが意味するところは、あなたは自分で自分の心を沈黙させることによつて空白状態にし、無干渉の状態にするということだ。

たとえば、あなたは友人たちと教室の中で語り合つているとする。そして

友人たちから何かについて意見を聞かれたとしよう。あなたは自分の意見を他人に書きとめてもらうかもしれないし、そうしないかもしれない。だが、ここで確かなことは、心が如何に邪魔をするかという事実だ。

あなたが何かの問題で話し始めるとする。するとあなたの心は次のように言うだろう。「おい、おまえは大丈夫かい？」

そこであなたは話すのをやめて疑問を起すと、想念の流れを失つてしまふ。しかしあなたがそれを無視して気にしないで話し続けければ、心はイライラするけれども、もう疑問を起さなない。というわけは、あなたが話し続けるあいだ、あなたは心が邪魔をしやうとしていたことを知つたからだ。そして今まで読んだことも聞いたこともないような想念がわき起こつてくることに気づく。

こうした想念の多くは過去生の体験からやつてくるのだ。たとえばあなたは音楽家になるような教育を受けたことのないような子供であるとする。あなたはバイオリンを取り上げて、最高のバイオリンリストよりも巧みに演奏をし始める。人々は驚いてあなたを天才と呼ぶ。だがあなたの家系に音楽家は全然いない。これはつまりあなたの過去のバイオリンリストであつた体験の記憶がよみがえつたからなのだ。

われわれが人生で行なう物事は何で

あつても、どこかで学ばねばならない。そして人間に同じように行動させ、自分でやるだろうとは思わなかつたような物事を成しとげさせるのは「記憶」なのだ。

こうした物事のすべてはどこかで先に経験しておく必要がある。人間は経験によつて成長し生きるからだ。その経験がどこから持ち越されるにせよ、すべての物事は経験がもとで行なわれる。だからあなたはまず経験を持たねばならない。その後でその事が言えるのだ。

たとえば、どこにも存在しない物事について、あなたはどうして意識的になれるだろうか。なれるはずはない。本来存在しないからだ。存在しない物についてあなたは考えることはできない」

存在と非存在について

——そうすると、存在しない物について、人間はどのようにして考えることができるのか。

「存在しないものについて人間は考えることはできない。なぜならそれはないからだ」

——私が「存在しない」という場合でも、それについて考えているのだが——

「あなたは「私は存在しない物について考える」と言う。よろしい、われわれ

はそのことを言つたとたんに、それはすでに存在しているのだ。われわれが何も言わない場合、それが具体的な物事でない限り、それについて言うことはできない。その「無」であるものが自動的に「有」にならねば、われわれはそのことについて言うことはできない。

われわれの定義や言葉はときとして非常に混乱する。われわれはときとして感じるように、自分で表現することができないし、表現すべき言葉を見出すこともできない。だが、それこそわれわれが混乱するところなのだ。

——というのは、われわれが何も言わなければ、それは決して存在しない物を意味することになる。「存在しない物」というのがわれわれの説明できる唯一の言葉だ。あなたは「存在しない物」をイメージとして描くことはできない。それについて言うことさえもできない。なぜなら、あなたがそれについて言つたとたんに、存在する何かについて言つたことになるからだ」

——そうするとあなたはゼロ点が宇宙にあつたと言ふのか。

「ゼロ点というものは宇宙に存在しない。おわかりかな、ゼロというのはすでに具体化しているものなのだ。もしゼロが存在しないものならば、あなたはゼロを作ることはできないだろう。

あなたがゼロを作つたとたんに、すでにあなたは何かの具体的な物を持つた

ことになるのだ」

記憶こそは自分自身の身元証明

——ふたたび転生の問題に返りたい。転生は他の惑星群のみならず、地球やその他宇宙の全惑星群でも行なわれるのか。

「そのとおり。それは宇宙全体で永遠に行なわれるのだ。かりに五〇〇億個の惑星があるとして、その全体を一つの大学とすると、五〇〇億個の惑星はそれぞれ教室ということになる。あなたも私もそれらの各教室を通過することになるだろう」

——しかし一人の人間が一つの同じ惑星上で何度も転生することはあるのだろうか？

「それはある。あなたが次の学年に進級できるほどに学んでいなければ、翌年も同じ学年にとどまると同じ事だ」

——われわれが過去のことを忘れた場合、どのようにすれば発達できるか。「うまく思い出す方法をひとつ及びびさえすれば、あらゆる事が元に戻ってくるだろう。われわれはこの世界に生まれてくるが、地球の一般人は転生などを信じていない。人々は重要でもない多くの物事をわれわれに押しつけてくる前にも話したように、われわれにとって重要なのは、できるだけ多くの物事を記憶しようとするところにある。記憶こそは人間が常に持ち運ぶ唯一の身元

証明なのだ。これ以外に身元証明は必要ない。名前などは意味のないものだ。転生しても外観は同じような、または似たような姿であるかもしれないが、過去生のある時代のある生涯の一人物自分自身であるか他人であるかを気づかせてくれるのは、やはり記憶なのだ。これ以外に方法はない」

——あなたは前生のことを記憶しているか。

「記憶している」

——どんな人物で、どこにいたということが分かるのか。

「分かる。かなり遠い過去までさかのぼることができる。私は父親と母親の楽しみを台なしにした理由を覚えていて、父親はある貴族の娘と結婚することになっていた（訳注Ⅱ アダムスキーのお父さんはポーランドの王族の出身。後にアメリカへ移住した）。

父は軍人で将校だった。あるとき軍事演習に出かけているあいだに一人の女の子と関係して妊娠させた。兵隊がよくやることだ。体面上、父はその女の子と結婚するハメにおちいった。そして私が（アダムスキーが）生まれた。だから私は父の楽しみを台なしにした理由を記憶しているのだ。父もそのために私を好まなかった（笑）。これで分かるだろう。記憶が最重要なのだ。（訳注Ⅲ 以上は、ジョージ・アダムスキーという人間をこの世界へ転生させるために父親が貴族の令嬢と結婚すると

いう楽しみを失うことになったのをアダムスキーがユーモラスに語ったもの。つまりアダムスキーがこの世界へ転生するには何かのカルミックな理由により貴族の令嬢よりも別な女性が必要であったという意味あいが含まれている。その女性すなわちアダムスキーのお母さんは古代エジプト王朝の流れを汲む人で、東洋哲学に関心が深かった）

金星に転生した亡き妻との再会

私は第一次大戦中の一九一七年に妻と知り合った。最初にデートで出かけたとき、二人は空の星々について語り合ったのだが、そのとき彼女は次のように言った。「私が死んだら次は金星で生まれかわりたい。だが私はべつだんジョージ・アダムスキーのお父さん。」

何とも思わなかった。私たちは結婚して三六年間、一緒に暮らしたが、ときどき妻は金星に生まれかわるのだと言っていた。

一九五四年に妻は突然亡くなった。それで私はメリーは思いどおりに金星に転生したのかなと考えていた。当時アメリカのテレビによくでていた有名な俳優のジャック・マホーニーが私の家に来て来たので、そのことを話し合ったら、彼は言った。「奥さんはたぶん金星で生まれかわっていますよ」

一九五二年に私が最初にコンタクトした男（金星人オーソン）が私の所へ来て言った。「あなたは疑っている」そこで私が言った。「いや、疑っている。どうしたのかなと考えているのだ」





すると相手は言った。「あなたの奥さんは金星で生まれかわった。彼女が地球で最後に目を閉じた瞬間、金星で赤ん坊として目を開いたのだ」

でもまだ私は少し考えていた。そこで相手が言った「彼女が金星で成長して少し大きくなったら私は彼女を宇宙船に乗せて地球へつれて来るよ」

人間は一生を終えて次の生涯に移るまでに時間のロスはない。転生は瞬間的に行なわれるのだ。このことはイエスも言っているし、ヒンドゥー教の哲学でも言っている。

私はその問題を少し考えてから自答した。「われわれが生命と呼ぶパワーまたは英知は、決して停止することはない。万物は常に動いているのだ。それは他のあらゆる物を動かすので、停止する理由はない」と。

(訳注)人間の肉体(意識)は肉体が死んで平均三秒で次の新しい肉体に移行する。それは赤ん坊が母親の体内から外へ出た瞬間に行なわれるとアダムスキーは言っている)

さて、ついに昨年(一九六三年)のクリスマスにオーソンは金星で生まれかわった彼女(アダムスキーの妻であったメリー)を大母船に乗せてつれて来た。彼女は小さな娘で、容貌は地球にいた頃とさほど変わっておらず、ただ少女であるというだけだった。

彼女はただちに私の正体に気づいたし、私も彼女がメリーであることに気

づいたが、ひよっとすると相手は私の心を読み取っているのではないかと考えた。

実は一九一七年に私たち夫婦の間にある出来事があったのだが、そのとき私はその出来事をすっかり忘れていた。すると彼女はその出来事について話して、私の記憶を呼び起こしてくれた。それで私もその事を思い出したのだ。彼女は他にもいろいろと地球にいた頃の事を語った。

彼女は少女に成長している。金星では地球よりも人間の成長が非常に早いのだ。彼女は自分よりもっと小さな子供たちにいるいろいろなことを教えており、彼女自身も年長の人たちから教わっているという。

私はその場で彼女の写真を撮りたかったが、彼女は言った。

「あなたが私の写真を撮れば、地球であなたは私の写真を見続けるでしょう。

そして私のことを考え続けるでしょう。人間の想念には限界がありません。私が金星で一生懸命に学習しているときにも、地球からあなたの想念が来れば、それは私にとって妨げになります。ですから私がつと成長して強い人間になるまでは、あなたから写真を撮ってもらいたくないのです。たぶんこの次にお会いするときは大丈夫でしょう」

私はまだ彼女の写真を撮りたいという希望を持っている。彼女が私の正体に気づいたのは名前によるのではなく

て彼女の記憶によるのだ。彼女が地球で私の妻であったことに気づいたのも記憶によるのだ。

(訳注) アダムスキーが金星の大母船の中で、金星人の少女に生まれかわった、かつての妻メリーと劇的な対面をしたときの詳細な模様は、アダムスキー全集第三巻「UFOとアダムスキー」の冒頭の「金星旅行記」に出ている。そのとき少女はアダムスキーに転生の実態と高次元宇宙的思想を伝えている。

弱すぎる地球人の記憶力

そこでおわかりのように、ここであなた方が考えねばならない問題がある。あなた方のうち一組の夫婦は一万年昔の過去生において夫婦であったかもしれない。そして今生でもまた夫婦になり、さらに未来の生涯でふたたび夫婦になるかもしれない。だがその間の夫婦でなかった時期には互いに別な体験を持っていたのだ。つまり別な相手と夫婦になっていたことが何度もあるのだ。

このことは私にもあてはまる。私は今七二歳で、妻は一九五四年に他界した。今は生まれ変わって九歳になっている。私があと二〇年生きてから同じ金星に生まれかわるとすると、彼女は二十九歳になっているはずだ。そのときまさか赤ん坊の私とは結婚しないだろう。

だが、その後何度も転生を繰り返すうちに同じ時期に二人が生まれた場合、また二人はめぐり会って、夫婦になるかもしれない。

いずれにせよあなた方が過去生を思い出すとき、それをあなたの方に伝えてくれるのは自分の記憶なのだ。過去生においてあなた方がどんな人間だったか、どこに住んでいたか、どんな人間がいたかなどを語ってくれるのは、あなた方自身の記憶なのだ。だから人間にとつて何よりも重要なのは記憶を発達させることにあるのだ。

われわれ地球人の記憶は非常に貧弱だ。あなた方は誰かが何かを言うのを聞くが、それを理解する前に忘れてしまう。あとで相手に聞かれても相手の言ったことが思い出せないことがある。こんなふうには記憶力が弱いものだから、まして過去生のことなどは思い出せない。

今日二五歳ぐらゐまでの若い人たちは第二次大戦で死んで、自分の生涯をまっとうしなかつた人々だ。彼らの生命は戦争のために中断された。なかには第一次大戦の頃から転生してきている人もある。

第一次大戦の当時に生きていた少年を私は知っている。その母親が彼を私たちの所へつれて来た。彼は自分が死んだ塹壕や、ヨーロッパの死んだ地域、時刻まで記憶していた。そして母親にそのことを話したのだ。最初母親は取

り合わなかつたが、ついに、少年がたんなる空想で言っているのか、それとも実際の出来事だったのかと本気で考えるようになった。

そこで彼女はワシントン市へ出向いて記録類を調査したところ、少年の言った事柄はすべて真実であることがわかった。体につけていた認識標の番号までが正確だったのだ。

少年は今成長して結婚し、家族を持つている。彼はその思い出をしばしば話す。それは非常に生き生きとして鮮明な内容だ。彼が結婚している女性も過去生において彼女が住んでいた都市が爆撃されたときに死んだ。それはドイツだった。当時彼女は六歳ぐらゐだったという。だから少年は現在彼女と結婚しているのだ。今は二人とも大変幸せで、何人かの子供がある。

不幸な問題がある。そうした過去生の記憶のような事を人々は公表しないという問題だ。大衆が知っている物事以上にもっと不思議な事が個人または複数の人々に起こっているのだ。だが誰もそんな不思議な物事について話さない。彼らがいづつも話すのはボクシングの試合、戦争、殺人といったようなことばかりだ。だが人々は珍しい体験や記憶のよみがえりなどをおおやけに語らない。もし語れば本人は気違ひと呼ばれるだろう。それでみんなは黙ってしまふ。これが現代の世界の大きなトラブルなのだ。



だが実際に記憶している人々もいる。そして再度言うと、あなたがテレパシーについて語るとき、それも一種のテレパシー現象なのだ。というのはあなたは過去生の記録を読み取って、それを現世に引き出しているからだ。

この世で起こる物事で一枚の葉のサラツという小さな音でさえも、宇宙で記録されない物事はない。あらゆる物事は記録されるのだ。したがって人間は記録されないですごすわけにはゆかない。それは本人が記憶を働かせればわかる。だから記憶は最も重要な事なのだ。学校でも生徒はときとして何かの問題で一生懸命に勉強しなければならぬ。生徒が心の中にいろいろな事をつめ込もうとして一日に三時間勉強するとすれば、翌日はそれを復唱せよと命じられるかもしれない。そのとき何を行なわねばならないか。重要なのはうんと学習することではなくて、記憶することは最も困難なことだ。そのように思われる。」

'Science of Life' Producing Miracles
by Hachiro Kubota

奇跡をもたらす「生命の科学」

日本GAP会長 久保田八郎

一九八九年一月五日、長野県諏訪市で開催された日本GAP長野支部大会における講演の一部を加筆して掲載したもの。最初の挨拶と戦中戦後の激動期を不思議な運命で生き抜いた筆者個人の苦闘に満ちた経歴の話は省略。

私がなぜこのGAP活動を長いあいだやってきたのかと申しますと、その理由はしばらく私にも分かりませんでした。ただ私の内部から「この活動をやれ！」という衝動が起こるんです。東京へ出てきてからも生活を確保するためにずいぶん苦しい目にありました。それでもGAP活動だけは絶対にやめるわけにはゆきませんでした。

いつの日に卒業できるものがあるか

なぜ私がこうまでアダムスキー問題のために苦闘したかといいますが、これは実際には大きな理由があったのです。そのことは後に分かったのですが、つまり私はこうした仕事をやるための使命のようなものがあって、それでこ

の世界へやって来たということらしいのです。使命というよりも自分で望んで来たのでしょうか。だからGAP活動をやるわけにはゆかないんです。皆さん方の中にもGAP活動に協力する目的でこの世界へ転生して来られた方が少なくないでしょう。

それはともかくとしてGAP会員のなかにはGAPがイヤになったと言ってやめてゆく人があります。人間は本来自由ですからそのことは一向にかまわないのですが、なかには「GAPを卒業した」と称する人もあります。

これは少々おかしいですね。GAP活動というのはアダムスキーが創始した宇宙的な活動でして、地球が金星のような超高度な惑星に発達するまでは何千年、何万年かかっても続けてゆかなくてはいけないんです。そういう活動ですから「卒業した」というのは妥当な知的な表現ではありませんね。

だいいちアダムスキー哲学はものすごく深遠でして、簡単に卒業できるわけのものではありません。私などは、いまだに中学程度の英語が卒業できな

くて、ときおり中学の英語教科書や参考書を勉強するのです。

だから「卒業した」というようなことは言わないほうがいいでしょう。これは明らかに日本GAPを軽蔑した言い方だと思えますが、これは精神分析学上でプロジェクトンといわれる法則にあてはまる心理状態をあらわしているもので、普通は「投射」と訳されています。つまり自分自身の欠陥または次元の低さが自分でも分かっているにもかかわらず、心は傲慢ですから、そのことを認めたくない。そこで自分の欠陥を他人に「投げ写して」人を非難する。そうすれば自分の欠陥が相手に移ったという錯覚が起こって自分は安心できるのです。だからグループをやめたときは黙して語らないほうが男らしいのです。

これからみますと他人の悪口はまず言わないほうがいいでしょう。悪口を言えばそれは自分の劣等感や欠陥をみずから暴露するようなもので、高貴な人たちの同情を買うだけです。その点東京月例会の定連の人たちは夕食会での談笑でも決して他人の悪口を言いません。皆さんの態度は立派なものです。東京月例会に出席されればそのことがわかります。

ミラクルワードの絶えまない実行

アダムスキー哲学は大学で教える単

位取得のためのたんなる哲学ではなく、非常に深遠でして、私などは何万年かかれれば卒業できるのか分かりません。ですから久保田は悟りきった聖人のような人間だとお考えになる人がもしあるとすれば、とんでもないことでして、むしろ俗物なものですから悩みや苦しみはときどきあるのです。

たとえば、この前一〇月の始め頃、今後のGAP活動のあり方について私はしきりに考えるようになりました。まだそれほど年寄りというほどではありませんが、なにごと六五歳ですから、今後のGAP活動について後顧の憂いがないように今のうちに確固たる地盤固めしておこうと思うのですが、私の貧弱な頭では具体的な考えが浮かんできません。だいいち心だけで考えても正確な解答は出てきませんですからね。

そこでどうすればよいかといいますが、そこはアダムスキーが言っていますように、「自分の内部の宇宙の意識」に呼びかけて、そこから解答を頂くようにすればよいのです。

これを応用しなくてはいけないと思いついて実行したのです。

一〇月上旬のある夜、私はいつものように寝る前にベッド上で仰向けになって瞑想をやりました。そしてミラクルワード（奇跡を起こす言葉）を唱えたのです。私がいつも唱える言葉は大団に決めてあります。次のとおりです。



講演中の筆者。 撮影/田村恒雄

「私は完全、無限に完全、絶対完全、この「絶対」という言葉、これがいいですね。さらにこれを応用して、「私は健康、無限に健康、絶対健康」と力強く唱えます。同じ意味のことを英語で唱えることもあります。

これは私が毎夜寝る前に必ず唱えます。道を歩きながらも歩調に合わせて唱えるのですが、そのときは別なミラクルワードとして「私は大宇宙、大宇宙は私」「万物は私、私は万物」と唱えたり、あるいは「有難う、ございます。有難う、ございます」と歩調に合わせて唱えることもあります。私を生かしている大宇宙の意識に対して感謝するわけです。ただし声を出して唱え

ることもあれば、声を出さないので心の中で唱えることもあります。このほうが多いですね。

特に夜寝る前には各種のミラクルワードを眠り込むまで三〇分も一時間も唱えます。これは毎日の習慣なのです。

頭の中に響いた意識の声

その夜そのようにして心を高揚させておいて、それから自分の内部の宇宙の意識に呼びかけたのです。

「宇宙の意識さま、今後のGAPのあり方について何か良いアイデアがありませんか、どうぞ私に教えて下さい」

さらにこの言葉をテレパシーでもってスペース・ブラザーズにも呼びかけたのです。そしてそのあとと眠り込んでしまいました。

翌朝、何時頃かよく知りませんが目を覚ましてから、まだ頭が空白の状態、心は全く澄み切った状態のときでした。これは科学的に言えばアルファ波の出る状態だったと思います。そのときに昨夜出した質問をもう一度心に思い浮かべて内部の意識に呼びかけてみました。

そうしたら、突然大きな声が出て回答が頭の中に響いたのです。それは「楽しい気分です、やってゆきなさい」という声でした。これは外部から来る音声ではなくて、頭の中で拡声器でガーンと響くような声です。「聞こえたよう

な気がする」という程度のものでなく、はつきりと響いた声です。

この声で大いに驚いた私は「ワーツこれだ！」と思いましたね。

具体的な事柄を伝えないで「楽しい気分です、やってゆきなさい」というのは、まさに天来の福音ともいえるべきもので、全く蘇生したような思いがして文字どおり魂の底から覚醒した感じがしました。マホメットが洞窟の中で神の声を聞いたというのはこんな調子で頭の中で声が響いたのかなと思うのですが、それはともかくとして、それからは日常のあらゆる行動が楽しくてしょうがないのです。そして他人の楽しそうな言動を見ても私まで楽しくなってきました。

大宇宙は微笑する

考えてみれば私はそれまであまり楽しいフィリングを起こしていなかったようです。なにぶんGAP活動をやって大世帯をかかえていれば、ずいぶんいろんな事がありまして、ときどき気分がイライラして落ち着かなくなったり癪にさわったりすることもありますが、この内部の意識からの声を聞いて大悟しましたね。

楽しい気分というのは絶対的に重要なものなのです。宇宙の創造主の創造波動というのは楽しさを帯びた波動であるべきで、宇宙の意識の次元の世界、それは不可現の絶対的な世界です

が、そこにはエネルギー、英知、調和性などとともに楽しさも加わっていると思うのです。アダムスキーの説く宇宙の意識なるものは生命エネルギー、英知、調和性などをひっくるめた総称ですが、その宇宙の意識の波動は本来楽しくて喜ばしいものであるらしいのです。

だから高度な発達をとげた別な惑星の人たちは楽しい気分には徹して、おおよそ悲痛感やカケラもないそうですが——そのことはアダムスキーの『宇宙からの訪問者』の中で述べてあります——これは環境が良いから楽しいのだというのではなく、各人が絶対的な楽しい次元というものを探り出して、そこまでのレベルに到達しているからなのでしょう。

そこで詩的な表現になりますが、大宇宙に楽しさの満ちた次元の世界が充滿しているとすれば、「大宇宙は微笑している」と言えます。

宇宙の意識すなわち大宇宙の創造主は人間を苦しませようとして創り出したのではなく、本来は人間を楽しませようとして創り出したにちがいないのです。

ところが地球人はこの世界を苦痛に満ちた場所として、「この世は地獄だ」などと言ったりしますが、それは人間の心が勝手に自分で悲しみを作り出しているにすぎないのです。いわば天国も地獄も自分の内部にあるのです。

言いかえれば地球人は自分の内部に「楽しい素」ともいふべき元素が満ちているのにそれに気づかないで、外界の環境に振り回されて生きていくだけのようですから、これではどんなに環境が変化しても根本的に楽しくなれないでしょう。

悪口を言つても楽しみの一つ？

楽しさというのは、そのようなフィードバックを自分で作り出すのであって、他から与えられるものではないんです。そして常に楽しく嬉しいフィードバックを放つていけば、必ずそれに応じて良き物事、良き環境が引き寄せられて幸せな運命が展開してくるのです。

大超能力者の秋山眞人氏も常日頃、「超能力を開発するには何と何とて楽しい気分を練習をすることだ」と言っています。たしかに同氏はいつ見ても非常に楽しそうな円満な顔をした人で、「秋山氏のそばにいるだけで心底から心がなごやかになり、不思議な高揚感が起こってくる」という人がふえてきましたね。同氏がどのような人物であるかということが多くの人にだいぶ分かってきたようです。

したがってこの頃は、他人の悪口を言つたり非難攻撃したりする人がいても、私個人としては、それは本人が他人を非難することによって自分がコンプレックスやストレスを解消して楽し

んでいるのだから、それはそれでよいではないか、と思うようになりました。特にお酒を飲みながら人の悪口を言えばずいぶん楽しいそうです（笑）。本人がそれで楽しんでるのならそれでよいでしょう。

ただし、他人を攻撃すればカルマの法則によって本人には必ずそれなりの報いがありますし、先にも申しましたように精神分析学の知識のある人からは人間の程度を見抜かれますから、やはり他人の悪口は言わないほうがよいでしょう。悪口を言つて楽しくても、それは一時的な逃避であつて、本当の宇宙的な楽しさではありません。

『生命の科学』の超絶的実践法

アダムスキー哲学というのは実に凄（すご）いものだというのをこの頃あらためて痛感します。現時点で世界最高クラスの一つだと思えますね。いろいろな哲学や宗教をかじってきましたが、こんなに宇宙的内容を帯びた哲学は他になかったと思います。私みるところでは古代ギリシャの偉大な哲人プラトンや近世ではドイツのカントなどの哲学が宇宙的だつたと思えますけれど、いずれも思惟の次元にとどまるだけで個人の向上のための方法、つまり自律訓練法までは説いていません。だから現代ではプラトンもカントもたんなる観念論とみなされて死物にされて

しまいました。惜しいことです。

その点、アダムスキーは実践法を説明していますが、これが素晴らしいのです。特にこの一月（平成元年）の東京月例会ではアダムスキーの『生命の科学』の第四課を解説しましたが、この中に次のような超絶的実践法が述べられています。

「この大いなる英知とともに働くに際して友星人が用いる方法は、心のかわりに自己の意識でもって万物を観察することにあります。わかりやすく言えば、彼らは観察される個体があたかも自分であるかのようにその個体について意識的になるのです。たしかに相手は自分であるのです。全体から切り離された物は何もないからです。こんなふうにして一つの心としての人間は全体と融合するのです」（傍点は筆者）

この意味は、私たちは何を見ても、どんな人を見ても、「これは自分自身だ」というフィードバックを起こさなさい、ということですよ。

こういうことを言つた哲学者や宗教家はちよつと思ひあたりません。中国の気功では、自分が部屋の中にいるとき、周囲の壁や天井が自分を見つめているのだというフィードバックを起こす練習をするそうですが、これは『生命の科学』にかなり近いですね。アダムスキーは自他一体感の高揚法を見事に説いています。

問題はこれなのです。たとえば今こ

こに大勢の方々が集まつておられます。そして私の方を見つめていらつしやいます。普通の感覚ならば、私と皆さん方は全く別個な存在であり、皆さん方一人一人が別個な存在であるという個別感しか起こりません。

ところが今ここに巨大な多面体の鏡があるとして、皆さん方はすべて私の姿が映つた私自身であるというフィードバックを起こすことは出来ます。げんに私はそのようなフィードバックを起こしながらしゃべっています。

これは頭の先つちよで描くたんなる空想ではありません。空想とフィードバックとは違うのです。フィードバックは内奥の意識で感じようとする感覚です。

このような自他一体感を極限まで起こし続けますと、ちよど煮えたつたカタクリ粉がある時点でパツと溶けて透明になるように、自分自身に突然すごい変化が起こつてきて、全身が万物の中に溶け込んだような状態になり、テレパシクになってきます。これはテレパシー開発の正道の一つです。

ただし重要なのはこの自律訓練を絶えず続けることにあります。いつとき宇宙の高揚感が起こつたからといって満足してやめるとまた元に戻ります。

この自他一体感自分を生かしている宇宙の意識と他人を生かしている宇宙の意識とを混合させるような気持で起こします。いわば魂と魂との合流です。

物質にも意識はある

私はときどき頭の中で声が響くことがあります。ずっと以前、個人的なトランプの渦中におちいつて進退きわまつたときに、やはり眠る前に意識に問いかけたのです。そうしたら頭の中ではつきりと声が聞こえました。

「天の父の座から降りなされるな」という声です。これには驚きました。

天の父というのはイエスの専門用語で、言いかえれば宇宙の万物を生かして支えている宇宙の意識のことです。

これは宇宙全体に満ちているもので、人間をはじめ生物の生命エネルギー源であり、物質をも支えています。だから物質にも意識はあるのです。

むかし人形浄瑠璃の大家が日頃愛用していた人形を粗末に扱ったところ、その人形の目から涙が流れ出ているのを発見して驚いたという記事を何かの本で読んだことがあります。唯物論者は一笑に付するかもしれませんが、アダムスキーによればあらゆる原子核には魂が宿つていると言っていますから、無生物でも原子の集合体であれば意識的な何かがあるにちがいないと断言します。

ここでは意識というものの主体をなすと思われるエネルギー波動のようなものに言及しているのに対して、心霊とは一切無関係です。

自分自身の絶対的なものを持つこと

さて、望ましい物事を実現させるにはミラクルワード(奇跡を起こす言葉)の応用による反復思念をやり、イメージ法を応用したりするとよいのですが、このことは本誌一〇六号で『宇宙哲学で奇跡を起こす方法』と題して詳細に述べましたので、それをお読み頂くことにしまして、こうした方法を応用する場合、確信をもつて行なう必要があります。

それで確信をもつための根本的な条件は、なんといつても自分自身の内部に絶対的なものを持つている必要があります。この絶対的なものとは自分や万物を生かしている大宇宙の意識であつて、これは神と呼んでも同じことですが、神と言えば宗教的な響きがあるために私たちは極力用いないようにしています。

そこで最も適切な言葉は、やはり宇宙の意識(Cosmic Consciousness)というのが妥当のようです。これは「生命の科学」にひんぱんに出てくるアダムスキーの造語ですが素晴らしい言葉です。この宇宙の意識を絶えず心で意識しながら生きるのを「心と意識との一体」と言います。

アダムスキーが伝えた高度に進歩した惑星の人たちは、心よりも意識中心に生きており、そのうえにテレパシー、

遠隔透視等の超能力が発達し、肉体も数百歳も生きるほど健康を持続させるということですが。

私たち地球人が意識というものを主体にして生きるようになるかどうか、宇宙的な人間としてのカルマを作るようになるかどうかの分かれざわになるでしょうね。道を歩いていて見知らぬ人々を見ても「これは私自身だ」という強いフィーリングを起こせるかどうか。鉢植えの花を見ても「これは私自身だ」と感じられるかどうか。駅の汚いコンクリートの壁をジッと凝視して「これも私自身なのだ」と実感できるかどうか。

これらは容易なことではありませんが実行してみる価値はあります。報いは大きいでしょう。スペースビープルは私たちがこういう状態で進歩してゆくの望んでいると思われまふ。えらく哲学的なカタイ話になりましたが、深刻になる必要はありません。自他一体感を高める練習も楽しい気分、でやるのが重要です。

以上について詳細はアダムスキー全集第六巻『生命の科学』をお読み下さい。また現在東京本部は毎月第二土曜日の午後、上野公園の東京文化会館で月例研究会を開催し、『生命の科学』の解説講義、テレパシー練習その他を行なっています。非常に高次元な素晴らしい雰囲気包まれて半日をすごします。多数ご来場下さい。

もう一つお話ししましょう。今世紀末——といつてもあと一〇年しかありませんが——世界的大変動が発生するという説が流れていることと、地球へ来る宇宙人のなかには悪者もいて、大量の家畜のハラワタを抜いたり、その他の悪事を働いたりするという説も流れています。

こうした流言は一般人に恐怖心を起こさせようとする地球人側の情報工作または悪意のない空想にすぎないと申しておきましょう。恐怖心の強い人が恐怖を伴うデマにひかれやすいのであつて、これを同質結集の法則といえます。注意すべきことです。

(9頁より)

記憶力を発達させることは可能か。「ああ可能だとも。たとえはすぐれた詩人を例にあげよう。彼は人々に読ませるための詩を書く。だがそれは彼の記憶の中で非常にうまくよみがえらせているので、それを復唱したり書いたりできるのだ(訳注)本人が過去生で詩人であつたことがあるので、その当時の才能をよみがえらせたの意)。

われわれが発達させねばならないのは記憶力だ。発達した記憶力を持つてはわれわれは当然過去にさかのぼつて、過去の記憶を引き出すことができる。というのは人間には一本の連続した線があるからで、その生命の鎖は決して切れることはないのだ(以下次号)。

My Viewpoint on the Development of
Psychic Power by Makoto Akiyama

超能力開発の 新しい視点

秋山真人 (ホストクラブ代表)

●一九八九年度日本GAP総会講演集③

希代の超能力者が語り実演する超能力開発法

今日はようこそお越し下さいました。秋山でございます。今日は超能力の開発という事で、皆さんの能力開発についてのお話をしたいと思います。

最初に確か斎藤さんがおっしゃられたと思うのですが、超能力という言葉がひとつのイメージを持っているんです。つまり超能力である、普通の能力を超えた能力である、というようなイメージを持っているんです。

ところが、われわれがなぜその力を開発出来ないか、というその理由の一つとして、もともとこれは誰が名付けたのか分かりませんが、こういう心分的な物理的な力、そういうものを超能力ととらえたことによって、逆にわれわれはその能力を開発出来ないでいる、そういう現状があるんです。



というのは、一九七四年頃でしょうか。我が国において第一次期の超能力ブームがありました。正確に言いますと、超能力のブームというのは、戦前からあったんです。戦前には超能力という言葉がなかったものだから、そういう人間心の、まだあまり一般化していない力に対して、神秘力であるとか、神通力であるとか、そういう用語が使われておりました。戦後になって西洋の合理主義が入ってきて、一つの能力、人間の持っている能力だという解釈の上から、たぶん超能力という言葉が生まれてきたんじゃないかと思います。

ユリ・ゲラーの純粋さ

七〇年代前半ですが、ブームの火付

け役となったのは、皆様もご存じだと思いますが、ユリ・ゲラーという方です。この前も実は私、そのユリ・ゲラーを日本にお招きするお手伝いを致しまして、しばらく行動を共にしておりました。面白い方なんです。その時、ユリ・ゲラーと一緒にホテルから出まして、道を歩いておりました。そしてパラパラと小雨が降ってきたんです。そうしましたら俄にユリ・ゲラーが、拳を握りしめて天を見上げて「止め！止め！」と英語で言っているわけです。だけど、その時僕感じたんですけれども、「ああ、この人はこういう世界の中で常に生きてるんだなあ」と。そういうイメージを本当に子供みたいに無邪気に信じて、それを常に言葉にして行動にして生きてるんだなあ、ということを感じました。単純なことなんですけれども、僕自身はものすごく感動を覚えました。

超能力は常能力だなんて先程斎藤さんはおっしゃっておられましたけれども、「常」という言葉が付く単語の中で常識というのがあります。われわれは結構変な常識にとらわれてしまっている部分があるんです。例えば超能力って言いますと、ここに持って来ましたけれども、スプーン曲げであるとか、念写であるとか、テレパシーであるとか、バツと浮かんでくるイメージというの、たぶんそこらへんが非常に強いんじゃないかと思えます。

マスメディアの影響が大

実はこれはもう明らかにマスメディアの影響なんです。特に七四年のブームの時には、その超能力ブームを仕掛けたのはマスメディアだったんです。テレビ、ラジオ、雑誌。そしてマスメディアがこういう問題を取り上げた時に、最初に起こる問題点というのは、メディアは、具体的な根拠なしに、その現象を肯定か否定かどちらかに偏った形で報じるという法則があるんです。われわれはかなりメディアを過信していますけれども、例えば最近の新聞を、ある同じ日の新聞を五種くらい並べてみてください。一つの事件において、そこで表現されている報道のニュアンスというのは、かなり違います。それぞれの新聞において比較するとAとBがびつくりするくらい違う場合があります。下手をすると日付まで違って、その時があるんです。そういうメディアが中心になって今までわれわれに対して超能力の情報が流されています。ですから、超能力と聞いたらスプーン曲げ、超能力と聞いたら念写、超能力と聞いたらテレパシーとか。そして超能力者といわれている人達は、何かオールマイティーの超人のようにいわれてしまうわけなんです。しかし、私にもたくさん超能力者といわれる人達を見て参りましたけれども普通の人で



▲講演中の筆者。撮影／松村芳之

す。ただ彼らは少し、自分の人生の価値観やら自分の人生の目標が普通の人と少し違っていた。または親から与えられてきた遺伝的要素が普通の方よりちょっと違っていただけに過ぎないんです。ある意味ではユニークな個性を持っているということは言えますけれども皆さんは普通の人間です。

ところが私、七〇年代の頃、そういったマスメディアから与えられた情報だけが一般化していく姿を見ていて、非常に危惧していたんです。

ところが面白いことに、この八〇年代に入つてふたたび心の問題、超能力の問題、また、個々の意識の中にある力があるのか、人間の本当の心のかとは何なのか、そういったことに関する

皆さんの関心がものすごく高まってきました。

八〇年代のブームは本物

そしてこれははっきりと言えます。

この八〇年代の超能力ブームというのは、メディアから与えられたものではないんです。口を開けてわれわれがその口の中にボンと飛び込んできた、そういったものをキャッチした、それだけのことじゃないんです。これはわれわれが心の奥底で自然に求めているのだと思います。そういった時期が来ているんじゃないかと思うんです。

ですから、私はよく八〇年代の超能力ブームは、超能力のカラオケ化現象であるというようなことを申し上げるんですけれども、私も超能力しちゃうぞ、私もやってみるぞ、そういったブームなんですか。これは非常にいい姿勢じゃないかと思えます。つまり何か与えられた情報を見て、それを本当かウソかと根拠も何も分からないのに論じ合うブームではなくて、今回は、それじゃともかく在るか無いか、まだ信じるところまではいかないけれども、とりあえずちょっと挑戦してみようかと、そういった気持を皆さんが少しずつ持ち始めた。それは素晴らしいことではないかと思えます。

実用的になつてきた超能力

さて、そういった社会的背景がございまして、日本における超能力のとりえ方は大分変わつて参りました。そして、こういった超能力を開発するためのセミナーというものも、いろいろな所で行なわれるようになってきました。

ただ、今アメリカでは、この超能力の分野、心の分野の研究というのは、よくノエティック・サイエンスだとか、スパー・サイエンスだとか、ニューエイジ・サイエンスだとかいろいろ言われ方をしておりますけれども、かなり組織的かつ実用的になつてきております。

実際、コロラドの近くに非常に大きなそういったものの開発センターがございまして、そういった所にいろいろな大きな企業の社長さんやら、学者さんやら、いろいろな方々が詰めかけて、そういった講習を受けられているという話です。大分社会的に認められてきているんです。

ところが日本の場合、かなり研究が進んでいる、そういったニーズが高まっているといわれても、まだ認めない人は認めない。

さらに最近では、超能力が手品だか分からないようなものが、盛んにまたメディアを通じて流され始めている。今回は超能力ブームにマスメディアが

乗り遅れましたんで、それトロールしようとして必ず参加のます。こころへんの話は必ず、皆こころでも大分こころいって参りましたので、詳しくお話しします。

超能力開発の基本的

それでは、今日はやはり必要な法則セミナーにしたいと思う、楽しい人と一緒に能力開発にトノイと思えます。

少し、大分緊張がずつと、中には、話ばかりで釣いう方もあるかもしれませラックスする練習をして、超能力開発において一番の第一番目に挙げられるの



感情を持つて取り組むこと。そしてリラックスすることなんです。この二つは実は非常に密接な関係を持つております。今日はそこから入っていきましよう。皆さんと一緒にリラックスしましょう。皆さんが緊張していると私が緊張してきます。私の緊張した表情を見るとまた皆さんもよけいに緊張します。こういうのを悪循環というのですけれども。これからちよつとホコ先を変えたいと思います。

まず頭の中で思ってください。今日は何か大それた講演会に来たんではなくて、実はデイズニールランドに遊びに来たんだというような感覚を持つてください。少しゲーム感覚でやっていきましょう。

まず、軽く目を閉じて頂きたいんです。ちよつと目を閉じてみてください。目を閉じると何が起きるかというところ、自分の心が光の刺激から少し緩和されます。眼を通じてちよつと照明の明かりなんか入ってきますけれども、まず光の刺激、人間の五感の中にある光の刺激からは少し開放されます。まずこの状態を作ります。

そして自分の身体にゆつたりと血液を循環させて、緊張した筋肉をほぐすために、深呼吸をします。よく昔の人は、長い息は長生きに通じる、そういうことよく言ったもんです。

ここでちよつと長い息をしてみましよう。ゆつくり鼻から息を吸い上げて、

ゆつくり口から吐く。自分なりのペースで結構です。少しそういう呼吸を目を閉じたまましてみてください。ゆつくり鼻から吸い上げてゆつくり口から吐く。それをちよつと繰り返してみてください。

(深呼吸をうながす)

はい、そしてそのペースを繰り返しながら、先程言った「楽しい感情で取り組むと超能力開発が非常に有効である」という法則があるんです。これにちよつとトライしてみます。

まず頭の中で、ただ楽しい感情にならないと言ったって、すぐになれるもんじやないんです。ですから昔、楽しい感情を経験したイメージを掘り起こします。

今深呼吸を繰り返しながら、頭の中で、小さい時から今現在まで、これは痛快だった、これは楽しかったという思い出の連想ゲームをしてみてください。それはたぶんちよつと浮かんで消え、ちよつと浮かんで消えするでしょう。それでも結構です。連想ゲーム。次々に思い出してください。

あまり道徳にとらわれないで結構です。隣の家の柿を盗んであの時は痛快だった、なんていう思い出でも結構です。誰か他の人は心の中を覗きませんで、なんでもいいんです。いろいろな事を思い出してください。五分間ぐらい、そういつた思い出にひたってみましよう。深呼吸を忘れないで。

(瞑想をうながす)

少しずつ出てきましたか？ いかがでしょうか。ついつい思い出し笑いが出ちゃっても結構です。学生の頃、最初に仕事を始めた頃、親との対話、学校、ドライブ、音楽を聞いたり映画を見たり、材料はたくさん眠っているはずですよ。

(瞑想をうながす)

はい、それではゆつくり目を開けて、呼吸を普通に戻してください。いかがでしょうか。

単純なことですけども、能力開発を始める入口に、こういった簡単な行動をとると、非常にその後の超能力の実験とか、ブラクティスが容易になつてきます。ちよつとでも心の位置を豊かな方にちよつと動かしてやるだけでも、そこから出てくる力というのは莫大なものがあります。

リラックスする方法

さてそれをやりましたら今度は、次の法則にチャレンジします。次にお話しすることは、さて超能力開発に関する次の関門です。今日、私が一つずつ順ぐりに話していきますから、これをなるべく、もし紙とペンをお持ちの方はメモにとられても結構ですし、少しよく覚えておいて下さい。この順番を通して比較的超能力開発が楽になります。よろしいでしょうか。

そうしましたらこれから重要なのは、実は人間というのは、緊張して生きていく生き物です。そしてその緊張状態が長く続きますと、緊張していることを忘れて生きていきます。例えば今ちよつと実験をしてみます。肩にグツツと力を入れてください。首をすぼめて、亀が首を縮めるようなイメージで、グーツと首を縮めて、掌も握り締めて力を入れて声が潰れるくらいまで、緊張してみます。そしてストーンと力を落とす。

この時息がハアーツと出ます。このハアーツと出た分だけ実は、今まで肩にかなり緊張した力が残っているんです。

例えば掌を開放して、掌の内側に気持ちを集めながらやはり目を閉じて深呼吸してみます。ちよつとやってみてください。そうすると掌が非常にフワツとした温かみを感じたり、または指が少しぎしぎしして力が抜けていくような感じがすると思います。人間の手にも力が入っています。はい、結構です。

そして実は知らず知らずのうちに、一番緊張がたまるのは、顔なんです。これは非常に面白い実験がありまして、皆さんお宅に帰られたら一度実験してみられるといいと思います。

顔、特に口のまわりの顎の部分。ここには実は知らず知らずの無意識の緊張というのが、忍び込んでいるわけな

程度、楽しくできる程度、少しずつやります。ところが最初のうちはなかなか出てこないんです。ずーつとあるレベルが横ばいなんです。ところがそれを繰り返してきますと、ある時突然強くなりまします。そしてまたあるレベルで止まって、またその段階で少し横ばいになります。そしてその横ばいがまたある程度まで、トレーニングが継続されますと、また突然強くなります。こういった階段状の強まり方と言いますか、進化をするんです。ですからこの段階で大体みんな断念しちゃうんです。

よけいな先入観を捨てること

それと、最初から超能力だから、きつとこれは大変な事に違いないという先入観があります。何か薪を一時間ぐらい、たきあげをしなくてはならない、と思つてみたり、でもどこかにそういうイメージがあるんです。超能力か、そうか、これはきつと何か毎日食事をコントロールして、大変な運動をやつて、瞑想を三時間ぐらいやって、水晶玉を見つめ続けて、それでしか出せないんだらうな、とどつかにあるんです。ところが、そういう事でも超能力が出る場合があるんですが、それは単に道具にしかすぎません。まあ家を建てるのに、いろんな道具が必要だと思ひます。のこぎりであるとか、鋸であるとか。ただそれが電動鋸であつても

いいわけなんです。何でも道具はいいんです。

ただ問題は超能力を開発するというイメージが倒れた段階で、二度と超能力という家は建てなくなつてしまふんですね。

一日に一五分が適當

ですからまず一日少しづつやります。人間が一つの事に本当に楽しく集中できるのは、心理学者の言葉に言わせれば、一五分間だけだといわれています。この一五分が勝負です。一日一五分。ところがこれがまたなかなか出来ないんです。

われわれは沢山のデッド・タイムといわれる無駄な時間を持っています。よく超能力は一五分でいいからやつてごらんさいよ、と申し上げるんですけど、大体多くの方は、何かそういう簡単な方法をお教えますと、最初にそれに夢中になつて、私からその話を聞いた翌日は、2時間ぐらいそれにトライして、夢中になつてがりがりやつて、大体その次の日には三〇分ぐらいやつて、その次の日は一〇分ぐらいやつて、その後は何にもやらなくなつてしまふんです。

ですけれども、どんなに興奮しても最初から一五分ずつ以内で始めてください。

そしてもし時間がないということでは

あれば、よく自分の一日の時間を点検して頂きたい。二四時間の中で、どれぐらいデッド・タイムがあるか。

そして超能力を開発したいという自分の夢と、そのデッド・タイムをいろいろ秤にかけてみるんです。朝起きてから八時から九時までの間の一時間、さあ、これを秤に乗つて、あつ、こっちの方が重いなと思つたら、それを超能力開発に振り分けてください。

そういった事をやりながら時間を生かして、それを自分が常に超能力を開発しているんだという姿勢、そういった方向に向けていきます。その段階から、始めて能力開発のスタートが切れるんです。

楽しく始めること

それと次の法則です。楽しくなければ能力開発じゃないんです。また楽な事から始めないと、最初はなかなかうまくいきません。楽な事から始めないと。さつきちよつと楽しい感情を思い浮かべたりしましたけれども、さらに能力開発の方法自体も、楽なところから入らなければなりません。最初にこれから入つたらなかなか大変です。

最初からこれがキユツと出来ちゃう人もいますけれども、そういった人は逆に能力開発のノウハウなんてあまり必要ありません。その人は先天的に持っている方です。

ただ先天的に持っているタイプの方でも、それは実際どこから来たかと言ひますと、やはりその方が前生でそういったトレーニングをしていたり、またその方の両親やら、またそのひいおじいちゃんやら、ひいおばあちゃんやらの代で、どこかでその能力開発に熱心にトレーニングを重ねて、そういう體質を身につけた過去があるんです。その過去の貯金が与えられているだけですから、この後お話しするコントロール方法をうまく身につけないと失敗します。そこで、楽なところから始める方法なんですけれども。

まず私がよくお話しするのは、トランプなんです。まず超能力を開発するための道具というのは身近な物を選んで下さい。そういった意味ではスプーンも非常に有効なんです。なぜかというと、これが例えはボールペンだと曲がりにくいんです。これが例えは、鉄の板を長細く切り抜いた物だとやっぱり曲がりにくい。スプーンは親近感があるからなんです。なんとなく持った時に違和感がない。心の中で拒絶感がない。そういった物品というのは能力開発に非常に有意義に働きます。私はよくトランプをお薦めします。

ただわれわれが例えは超能力のデモンストレーションをやる時に、トランプでやりますと、ああ、あの人はマリツクじゃないかって言われちゃうんで

す。皆さんがやる時には皆さん自身が検証されればいいわけです。トランプとか、まあ花札なんかもありますけれども、そういった身近なゲーム感覚で取り組める物が理想的です。

そして最初にやられる場合に、よく、まず神経衰弱なんです、簡単な。一〇枚トランプを並べます。その中にハートのエースが一枚伏せられて入っています。紛れ込んでいます。それをもう自分でも分かんないくらい、ごちゃごちゃにかき混ぜてください。伏せた状態で。一〇枚並べます。

ところがここでまた、先入観が働くんですね。超能力つていうんだから、最初からそのハートのエースを抜き出して拍手喝采つていうのが超能力だつて思ってる部分がある。ところが最初にハートのエースを取ろうと思つたら最初から一〇分の一のプレッシャーがかかってくるわけです。ですから非常に難しいところから始めなければなりません。これは非効率的な能力開発法です。

もしその方法でやられるとしたら、まずトランプを並べてハートのエースがどこに入っていたら、ハートのエース以外のカードを全部めくろう、というところから始めてください。つまり残りの9枚のカードを全部めくって、ハートのエースを最後の一枚に残す。そういう方法をとるんです。そうすると最初一枚をめくる時には、非常

にプレッシャーが少ない状態から始められます。

これは重要なヒントです。能力開発は楽なところから始めて、だんだん難しいものにトライしていく。挑戦です。でも最初から大きなものに挑戦するガッツは必要ですけれども、ただそこで失敗したダメージのビジョンが頭の中に入り込んでしまうと、二度と能力が出なくなつてしまいます。

例えばテレパシーにおいてもそれは言えます。まずテレパシー、人対人。誰かお友達でもなるべく普段からよく見慣れた仲のいい相手がいいでしょう。そして自分自身の心の中あまり嫌悪感のない、普通に話のできる、リラックスして話のできる相手がいいでしょう。また相手がこういうった能力に関心を持つているかいらないか、それも重要です。

そういうた人をどなたか一人か二人見つけて来て、週に一回でもそういうったトレーニングの時間を設けるといいです。

で、その時に重要なのは、実はテレパシーで送りやすい情報の順位ランキングというのがあります。一番送りやすい情報は、光です。光が聞か。この二つの情報が一番最初は送りやすいです。

よくわれわれがイメージ、イメージと申しますけれども、このイメージといわれるものに一番近いのがビジョン

なんです。目から見えるもの。

だけでも目から見ることがイメージではありません。イメージというのはさらにそれを越えた一種の想いそのものです。ただ一番それに近いのはやはり、光とか色ですから、まず最初はそういったところから情報のキャッチボールをします。

まずジャンケンをして、最初にどちらか側が送るか、どちらか側が受けるか、これを決めて頂いてキャッチボールをします。そしてまず二者択一、光か聞か。

それで、その時に送る側の人は目を閉じてそれを送ろうとするわけですが、それでも、その時に目を閉じて心の中で聞・光をイメージするのは、またそこですごく難しいんです。ですから最初は、光を念じようと思つたら、明るい所を見らんです。照明を見てそのイメージをそのまま自分の頭の中に入れま。そして聞を送ろうとしたら、どこか暗い所を眺めながら念じるといいでしょう。そうすると受け手の方はかなり最初の段階からでも、正確に「あ、貴方が念じているのは光です」、貴方が念じているのは聞です」と当てていきます。

で、いったん当たっちゃったらこつちのものなんです。すごく楽しいビジョンができます。送つた方は、「あ、私のテレパシーコミュニケーションが届いた」という確信が湧きます。受け手

の方も、「あ、テレパシーが入って来た」と感覚が出ます。

そしたら次にちよつと難しい実験にトライします。今度は三者択一ぐらいにして、色に挑戦します。赤・青・黄色でも、黒・白・緑でも、何でも結構です。三者択一ぐらいで迷いの生じない程度に、情報をやりとりして下さい。

それから今度はさらにイメージの中で動き回る動物だとか、臭いを伴ったお料理だとか、そういったものを伝え合つていきます。そして段々その内に文字を伝えたり、もつと沢山ランダムにあるもの、一から九までの数字、一から百までの数字ですとか、そういったものに段階的にチャレンジしていきます。

まあ、できうれば最初の一カ月間は、色、光、こういったものを伝え合うといいでしょう。そして一カ月単位で徐々に難しい情報にチャレンジする。

そしてこうやっていく内にどこかで上手いかなくなる限界があるんです。限界が出てきたら、一旦一番簡単な方法に戻ってまた積み上げます。中々根気が必要なんです。だけれどもそれを繰り返すことに意味があります。

継続は力なり。先程どなたかが申し上げておりましたけれども、続けることに意味があります。

イメージを持つことが最重要

さて今申し上げましたのがテレビ番組開発の非常に簡単な方法なんですけれども、こういった超能力を開発するのに、例えば念力みたいなものにして、そういった受け手のテレビ番組みたいなものにしても、一番重要なのはイメージを持てるかどうかです。そしてイメージの偉大さを自分がどこかで掴めるかどうか、ここにかかってくるんです。イメージを持てるかどうか。イメージの偉大さを掴めるかどうか。これが重要です。

まずわれわれはやはりそのイメージというものにも先入観があるんです。私はよく超能力の開発のお話をして、超能力ってイメージから出てくるんですよ、イメージって大切なんですよ、というお話をしますと、「それはよくわかるんですけども、イメージを思い浮かべようとしてもなかなか出てこないんです」という方がいらつしやいます。この方が持っている先入観、それはイメージとは写真のようなものだという先入観なんです。

実は正確に言いますと、イメージというものは、絵と音とそういった五感から感じるものを越えた想いそのものです。花を見た時の想い、僕を見た時の想い。僕が皆さんを見た時の想い、この会場へ入った時の想い、その情感を

伴った想いそのものがイメージなんです。

それは絵であり絵でない。音であり音でない。感動であり感動でない。そういった非常に微妙な感覚の中にあります。これを自信を持って掴めるかどうかなんです。まずその入り口をお話ししましょう。

私はよくお話しするんです。「皆さん今からよろしいですか。真つ赤に熟れた大きなトマトを思い浮かべないでください」と言ったらたんにもう頭の中にあります。トマトがあるんです。それがイメージなんです。写真で出てきたわけでもないけれど、ああ、きたきたというのがあるんです。それを大切にしてください。そこから始まるんです。そのイメージが超能力を開発します。

ステージでの実験

ですから、今から少しデモンストレーションをやってみたいと思うんです。皆さんのイメージが、周りの人にどれだけのイメージを与えているか。これのちよつとデモンストレーションと言いますか、皆さんに自信を持っていただくためにその説明編をやってみようと思うんです。

ちよつと役員の方、よかつたら何人か会場から、出来れば若い女性の方がお子さんがいいと思うんですが、二、三名お選び頂きますでしょうか。ちよ

つとどなたかそういう実験に参加してみたいという方、ちよつと手をあげて頂きますか。イメージの実験です。取って食いはしませんから。気楽に手をあげてください。どうぞ、こちらへお越しください。ご案内してください。ありがとうございます。

(一人が壇上上がる)

あつ、言い忘れました。超能力開発における非常に重要な法則の中に、積極的に取り組むというのがあるんです。この人たちは素質者です。非常に積極的です。はい、ちよつと上がって頂きますか。もう一方くらい。(もう一人壇上上がる)はい、有難うございます。それぞれ皆様にコミュニケーションをとるために、簡単な自己紹介を、お名前と何処から来られたかというようなお話を少しだけしてください。

「大阪支部から来ました山崎真由美です」山崎さんよろしくお願ひします。「東京から来ました松田さここです。よろしくお願ひします」はい、よろしくお願ひします。

「足立区西新井から来ました藤村です。よろしくお願ひします」はい、よろしくお願ひします。

それではちよつとハンドマイクに切り替えます。

今から、今お話したイメージの実験をしてみたいと思うんです。百聞は一見にしかずです。これは私の超能力ではありません。私の超能力でしたら

いろいろ疑って頂いても結構ですし、いろいろ論じて頂いても結構なんです。これは皆さんがトライされるわけですから、よろしいでしょうか。ご三方の中で身体の固いことに自信のある方はおられますか。

(二人挙手)

そうですね。それでは最初に挑戦して頂きましょう。そしたらどなたか真ん中のこのイスを押さえて下さい。ちよつと靴を脱いでこのイスの上にながって頂きますでしょうか。立っていただいて。すみません、有難うございます。

それではちよつと前屈してみたいだきたいんです。ちよつとだけ手を押さしてぐーつと曲がるどころまで。ああ、結構柔らかいですね。びっくりしました。限界ですか。「はい」イスの下に指一本出るかなというところですか。はい、結構です。そしたら元に戻って下さい。どうぞ上に乗ったままでいて下さい。そうしましたら皆さんまた先程の要領をやってみましょう。軽く目を閉じて頂いて、深呼吸をしながら、今度は楽しい思い出はありますか。先程それやりましたけれども——。今度は柔らかい物の連想ゲームをして下さい。

柔らかい物というイメージを作るために、柔らかい物品の連想ゲームをします。こんにやく、チョコレート、アメ、何でも結構です。柔らかい物、グ

ニヤグニヤした物、柔らかく崩れていくような物、何でも結構です。ゴム、ラーメンの中に入っているしなちく、何でもいいです。少し連想ゲームをして下さい。

そしてそのイメージを彼女のイメージ、彼女の今見えるビジョンとだぶらせて見て下さい。

お二方もちよつとやってみて頂けますか。皆さんでやってみましょう。柔らかい物の連想ゲームをします。柔らかい物、軽く目を閉じて下さい、柔らかい物……会場中柔らかい物のイメージで一杯にしましょう。

大きなイメージを描く

ここでもう一つ法則を申し上げます。イメージする時にはどうかイメージする事。こんにやくをイメージするんだったら、会場一杯位のこんにやくをイメージして下さい。大きいことはいことだ、昔ありました。ちよつと年がばれますけれども。柔らかい物……はい、結構です、目を開けて下さい。そしてちよつと前屈してみして下さい。どうぞ。手一つ分くらい曲がりますよ。どうですか。「そうですね。スカートで見えなかったかもしれないけど、絶対足は曲げてませんか」はい、不思議ですね。今一回目、二回目前屈したから、二回目は曲がるのは当然だと

思われる方もあるかもしれませんが。

すからここでもう一回実験するんです。今度は申し訳ありませんが、後で元にお戻ししますから、固い物をイメージして下さい。いいですか、頭の中で、目を閉じて深呼吸しながら固い物をイメージして下さい。鉄骨ですとか、ブロックの塊、石ころ、おやじの頭、何でも結構です。固い物をイメージして下さい。連想ゲームです。さあ、どこまで連想できるか。固い物でこの会場一杯にします。固い固い、もう手が付けられないくらい固い。こちこちです。

(瞑想をうながす)
はい、これは短時間でいいでしょう。ちよつと曲げてみて下さい。今度は手の指分くらいしか曲がらなくなっています。それではこのままでは可哀そうですね。から、今度はもう一回思い切り柔らかい物をイメージして下さい。私も手伝いますから。すごく柔らかい、すごく滑らかですごく健康的な柔らかいしなやかな肉体のイメージを、持って下さい。柔らかい……

(瞑想をうながす)
心の中でもしイメージが出てこない方は言葉で繰り返されても結構です。そうですね、ミラクルワードです。言葉や絵はイメージを浮かべるための重要な道具です。もつと柔らかくなります。(瞑想をうながす)
はい、有難うございます。ちよつと前屈してみして下さい。はい、有難うござ

いました。元に戻りました。柔らかくなりしました。ちよつと拍手をお願いします。致します。

(拍手)
どうぞお一方席にお戻り下さい。今度は今のようにこれだけたくさんの方の持っているイメージが、相互の人間の肉体に非常に微妙な影響を与えているんです。これはある原理に基づいているんです。

人間のこういつたイメージ・コミュニケーション・テレパシーというのは、想念のコミュニケーションというのは、顕在意識と言われる、我々が今物を見たり考えたりしている意識よりも、その手前にある潜在意識といわれる非常に深いところにある意識にダイレクトに伝わります。

そして面白いことに、この肉体、特にこの筋肉というのはその潜在意識と直結しているんです。ですから今心の中で分かっている事でも、実は筋肉が知っていたりすることが沢山あります。また筋肉に伝わっている事が沢山あるんです。

それではちよつとやり方を変えてみましょう。もう一回前屈の実験なんです。今度は貴方立つて頂けますでしょうか。今度は申し訳ありません。靴のまま上がって頂いても結構です。ちよつと倒れないように支えていて下さい。それは最初に軽く前屈をお願いします。この方は大分柔らかいから、ちよつ

とあまり柔らかい方だと難しいかもしれませんが。そうしましたら今度は先程と同じように、楽しかった時のイメージを思い起こして下さい。また軽く目を閉じて頂いて、楽しかった事、それをイメージして下さい。繰り返して繰り返し連想ゲームです。いろんな思い出を拾いあげて下さい。あんな事が楽しかった、あの映画は素晴らしかった、あの話は良かった、そういった事を連想ゲームして下さい。素晴らしい……それをイメージして下さい。

(瞑想をうながす)

いいですか。はい、はい、そうですね、そうですね。

(瞑想をうながす)

はい、それではまた前屈をお願いします。どうですか？手首くらいでいきます。さつきと比べていかがですか？「はい、少し」少し柔らかいでしょうか、はい有難うございます。

良い感情を持つこと

このように先程具体的に固い物柔らかい物とやりましたけれども、人間の感情というの、いい感情の状態、またこれが逆に面白くない事、嫌な事、恨み、妬み、迷い、誘り、そういった感情で頭の中が一杯になりますと、同じように周りの人の潜在意識や筋肉やそういうものに影響を与えます。ですから超能力の開発には、まずい

い感情でいること、家族間のコミュニケーションが絶対不可欠であるとよく申し上げました。それとか近くにいる人とのコミュニケーション、これも大切であるということをよく申し上げます。これはなぜかというと、こういった原理が潜在意識に働いているからです。

ですから家族とのコミュニケーションがだめな場合、周りの人間関係とのコミュニケーションがだめな場合、こういった場合には、その人に超能力の素質があってもそういったマイナスマジック、自分から発している、または他人から発しているそういったマイナスのビジョンそのものが、その集団の能力を限定してしまうことがあるんです。これも能力開発の非常に重要なポイントです。どうも有難うございました。

(拍手)

スプーン曲げの実験

そしたらちよつとマイクを持っていて頂けますか。では今度は、今案な事から始めました。今度はこれだけの人数がいますから、少しこの小さなスプーンにトライしてみたいと思います。

私が曲げますと、これがトリックか何かがあるんじゃないかと思われるかも知れませんが、今日はこちらの方をトライして頂きたい。それでこちら

の方はスプーンをこすったりするだけです。実際やるのはわれわれも含めて皆の思いでスプーンが曲がるかどうかチャレンジしてみたいと思います。ちよつと大きめの方がいいかもしれません。

ここに今スプーンがありますけれど、これは今全然曲がってません。これは普通に重ねてありますけれども、それぞれ同じ大きさのスプーンです。それではこの上のスプーンを一枚取りまします。全然曲がっておりません。さあ、これでトライしてみましょう。またイメージが今度は物質にどういう影響を与えるかという実験です。

そうしましたら、両手でお持ち下さい。スプーン曲げのコツをここでお話ししますけれども、スプーン曲げをやるうとした時に、そのサイコキネシス、想念の力が、一番有効に働くのは、スプーンの重心の部分です。この部分に一番有効に働きます。ですからまず重心の部分が見えるように、大体この辺です、両側を手で押さえて下さい。

これは最初にやる時のコツなんです。というのは、常に曲がっていないスプーンがイメージが目の前にあると、なかなかのイメージをやっつけるのは大変です。ですから最初は目を閉じるか他のスプーンの部分を手で持つにして、それでトライしてみして下さい。そしてそれを額のすぐ前に近付けまします。

そして今から皆さんで一緒にやりたいと思うんですが、私が一、二、三と言ったら「曲がれ！」と言って下さい。

今度は言葉でより力が出るように、イメージを湧き起こしたいと思います。今度は叫びます。この会場は防音になっておりますから、いくら大きい声で叫ばれても大丈夫ですから、他を気にする必要は全くございませんので、今回は思い切り皆さんで「曲がれ！」と一緒にやってみましょう。

それで皆さんが「曲がれ！」と言った時に貴方は「一、二、三、曲がれ！」でそのスプーンを前にポンと出して下さい。それを何度か繰り返します。それではやってみます。これは成功するか失敗するか分かりませんが、ちよつとやってみたいと思います。

それではいきます。目を開いたまま、彼女のスプーンに注目して下さい。これは必ず柔らかくなります。一、二、三。(聴衆全員で叫ぶ)「曲がれ！」はいもう一回やります。

誰かいい声のお子さんがいました。お子さんに負けちゃだめですよ、精神年齢皆同じですから、はいもう一回いきます。一、二、三、「全員で叫ぶ」曲がれ! もう一回三度目の正直。一、二、三、「全員で叫ぶ」曲がれ!

どうですか。向こうのスプーンと比較してみたいと思います。これを今お見せします。先程と同じトリックのな

いスプーンです。これは普通の曲げる前のスプーンです。これと比較してみます。まだ曲がってないです。もう一回やりましょう。

今度はもう少しイメージを強化してみます。いろんな方法を駆使してやりましょう。今度は先程の柔らかい物の連想ゲームをやってから曲がれ! といきましょう。軽く目を閉じて深呼吸を繰り返しながら、そうですね……柔らかい物です……アメのように解けていく物、こんにやくのような物、ゴムのような物、柔らかい物……そうですね……イメージして下さい、柔らかい物……強くなってきました、柔らかい物……そうですね……イメージして下さい……はい結構です。目を開けて下さい。それでは頭のところへ持つて行って頂けますか。はいやります。「一、二、三、曲がれ!」はいもう一回。「一、二、三、曲がれ!」はいもう一回。「一、二、三、曲がれ!」はいもう一回。

はい結構です。ちよつと比べてみましょう。少し二ミリぐらいですけれども、合わなくなってきました。スプーンの柄を合わせます。

これはスプーン曲げにおいて最初に起こる面白い現象なんですけれども、スプーンのこの柄の部分が横にゆがみつつあるんです。これはトリックで曲げたスプーンと、実際に超能力で曲げたスプーンの違いでもあるんですけども、超能力で曲げたスプーンの場合



▲スプーン曲げの実演指導。手に持つのは山崎真由美さん(大阪支部) 撮影/松村芳之

は、その金属のねじれの方向があるんです。いったんプレスされた金属ですけども元々金属はある種のねじれの方角を持っています。そのねじれに添って少しねじれながら曲がついていくという法則があります。ちよつとこれをびつたり合わせるとこれだけねじれていきます。少しゆがみが発生しました。それではもう一方ぐらい、どなたか女性の方がいいと思います、選ん

でみて下さい。はい、結構です。(女性一人壇上上がる) もうお一方男性、若い方。(男性一人壇上上がる) さてもつとイメージに自信をつけるためにもつと大きなやつにトライしてみましよう。もう一本やります。今度は何人かの力を借りながら、パイパスを通じながら、実は人間が人間を通じて、人間に対して、何人かを経

て能力を伝え合うと、それはどんどん増幅されます。例えば特に念力の場合なんですけれども、一足す一は二ではないんです。二人の念力は三倍から四倍になります。倍倍ゲームになってきます。これは非常に重要な事です。これだけ沢山の人がいて、これだけ沢山の人が思った想いというのは、どんどん倍倍ゲームで強くなっています。それを利用する

わけです。

ではここで、何本かスプーンがあります。ここにスプーンが一本あります。これでやってみたいと思います。ちよつと後ろへ来て頂けますでしょうか。どなたか男性の方私と手をつないで、嫌でなければ、つないで頂きたいと思っています。そしてそれからの手で女性の方と手をつないでみて下さい。そしてそちらの女性の方、こちらと手をつないでみて下さい。

ここで皆さんはこのなかの誰でも結構ですから、あの人を助けたい、あの人を援助したい、あの方はすごく感じがいい、と思う人がいたらその人に柔らかなイメージを伝達するように、伝えてあげるようにそういうイメージを持ってみて下さい。

軽く目を閉じて下さい。……そして柔らかなイメージの伝達ゲームです。柔らかなイメージを連想していつて下さい。そうです……柔らかない……そうです……柔らかない……。

(隣の男性に)僕の肩に手をかけて下さい。皆さん、目を開けて下さい。それでは今のイメージがここのご三方に伝わっていますから、今度はここのご三方がここにあるスプーンに対して念を込めてみます。こちらに寄って来て下さい、手をつないだまま。その状態で念をかけていつて下さい。軽く掌を上にご乗せて、そのイメージをこのスプーンに伝えてやるようなつもりでやっ

てみて下さい。

はいそうです、それぞれ手を放して結構です。それぞれイメージをそのスプーンに伝えるようなつもりでやってみて下さい。はい結構です。柔らかい……はい結構です。柔らかい……はい結構です。

ちよつと時間がかかるかもしれませんが、幸抱強く見て頂きたいんです。これは今回私あまり力を使っています。皆さんの力です。もし何か変化が起きてくれればです。

(瞑想をうながす)

柔らかい……

(瞑想をうながす)

イメージを強く思ってください。(秋山氏が一生懸命に念じ始めたら、一、二分後にスプーンが二つに折れて床に落ちた。)これは私も今あまり力を使っています。普段自分でやる場合には一分ぐらいまるまるかかります。ですから皆さんの今回のイメージの力でたぶん三分の二位このスプーンが曲がることを助けて頂いたのではないかと思います。どうもご三方有難うございました。

(拍手)

このようにイメージの力というのは非常に偉大なものがあります。

能力をコントロールすること

そしてこの力を後は、最初に先天的

に超能力を持つている方が遭遇する苦労といったような話をしました。よく生まれつき先祖の貯金と言いました。ういっただもの、つまり超能力を持つて生まれてくる方がおられるんです。ところがこういった方がその能力を社会に100%有効に使えるかというとなかなか難しい。それはなぜかといいますと、コントロールする方法が分からないんです。

私が一五の時にある非常にショッキングな経験をしまして、それから能力が出ました。ただこういった能力が出た当時、一番自分が苦労したのは、その能力のスイッチを入れたり切ったりすることだったんです。

例えば普通の人は、このコップがコップとしてしか見えないから普通の生活が出来るんです。

ところが以前も私経験したんですけれども、そういった特殊な受ける方の感覚を持っている方は、こういったコップ以外の、下手をすると八つぐらいの情報がいっぺんに伝わってきます。

ただでさえ人間の頭というのは敏感なものなのに、そこに普段の八倍以上の情報がいっぺんに流れ込むと一気に情報飽和状態になってしまうんです。

そしてそれはなかなか言葉にしづらいイメージとして頭に伝わってきます。ですからよくそういった直感的な能力のある方が、何か人を眺めた時に、あ

なたは青く見えて、そしてあなたの後ろに木が見えて、それは青い地球である、というような訳の分からないような事をつぶやく場合があります。これはなぜかというと言語になりにくいイメージを彼らは必死で言語化しようとしているんです。私はそういった人達が言う言葉の意味が非常によく分かるんです。私も同じ経験をしました。

例えば以前、有田焼の茶わんを持った時に、ゴムの球体みたいな物がその茶わんに何度もぶつかっているイメージが浮かんできました。そしてその後、自分がその器を持つている手に重なってもう一人の人間の手がそこに加わっている、実際には見えないんですけれども、その感覚がだぶって入ってきました。これはもうそれだけでパニックです。非常に恐ろしい経験です。意味が分からないと——人間は意味の分からない事に非常に強い恐怖を感じる防衛本能を持っていますから、その時に非常に興奮したのを覚えています。

ところが後々その時に、コップを放して少し呼吸を整えて、その後いろいろ考えました。これは何でこんな現象が起こるのか。

その時には答えが与えられなくて、それからしばらくしてからテレビを見たら、最近の有田焼のお茶わんというのは大量生産で、ゴムの球面のような物の上に彫った模様をぶつけて印刷する、そういった製造工程があるらしい

んです。それがオートメーションで工場です。それがオートメーションで工場でザーツと流れているやつが、テレビで放映されたんです。あっ、これが見えたんだ！と思いました。

ですから能力者というのは最初から先天的に持っている人でも、そういった能力のコントロール方法が分からないと、逆にかえって八倍の無駄な人生を生きるようになります。重要なのはコントロールです。コントロールすることによって、自分の心の能力と社会との接点が生まれてきます。

超能力を生かす目的

先程遠藤さんでしたか言われましたけれども、よくこの超能力に興味を持つたり、UFOに興味を持つたりする方の中によくおられる方なんですけれども、現実の社会が嫌で、会社が嫌で、家庭が嫌で、ああ、Uコン読んできると落ち着くな、という方が沢山おられるんです。本当はそれではいけないということなんです。

もし超能力を自分で身につけようと思つたら、まずトレーニングを積むことと同時に、じゃあ、超能力を持つたらどうしよう、これをどういうふうに社会に生かしていこう、というビジョンがないと、超能力は出たとしても無秩序な方向に働きます。そして一気に体力を消耗してしまいます。

ではそのコントロール方法なんです

が、先程実は斎藤君の話の中の非常に重要なヒントがありまして、彼は淡々とサラッとその部分の話されたんですけど、けれども、一番重要なのは、何のためにやるか、心の力を何に向けるか、その目標なんです。

皆さんは私はいった講演台に上がる度にお話しするんですけど、一〇年後の自分、二〇年後の自分、三〇年後の自分が見えているかどうか、そして見えている自分があったとしたら、それは自分が望む自分かどうか、そのイメージです。自己目標です。これをどう持つか。

もしそのイメージが、確固としたものがあって、それが自分がわくわくとするようなイメージであれば、自分の持っている超能力はそのイメージを達成させるために、ありとあらゆる方向から働いていきます。そしてそのイメージがないと、超能力は無秩序な方向に飛んでいってしまうんです。

これはお金と同じかもしれません。よくサラリーマンの給料のお金に羽根が生えて飛んでいってしまうマンガがありますけれども、お金だっただけです。目的を持って使わなければ無駄金になります。

超能力も同じなんです。目的を持って使うことです。そしてその目的は常に自分を活性化できる目的、つまり楽しい目的でなければなりません。自分がわくわくするようなものです。

人間三〇年もかければお城だって建てられます。地球だって変えられます。ましてやこれだけの人数がいます。これだけの人数が何かを成し遂げようと思つたら、不可能な事はないと思いません。それにぶつかっていくことなんです。まずはその姿勢を持つ事によって、徐々に開発された超能力がそれを目に見えない所でフォローする形で働いていきます。私は自分の人生の目標を設定した時から、非常に不思議な体験をしました。それは別にこういった超能力が人前でスプーンが曲がるようになったということではなしに、自分が会いたくないなあと思つた人に自然に会える経験や沢山してきました。こういう分野の専門家の意見がほしいなあと思うとそういう人が現れるんです。こういう人と出会いたいなあと思うとそういう人が現れるんです。

私は一五歳の時に超能力が出て、非常にづらい思いをしました。それはコントロール出来なかつたからですけれども、その時にその超能力を披露出来るようなユリ・ゲラーを非常に尊敬しました。そしていつか絶対に会いたいなあと思つてました。そしたらそれが一〇何年経って、実は今月の九日からユリ・ゲラーが日本に来られまして、それも実現しました。

超能力は目標があれば自然に働いてくれます。ただそれは自分に自信をつけるためのスプーン曲げであり、自信

をつけるためのテレパシーであり、トランプ当てなんです。そういったことは通過点に過ぎません。それを本当に生かすのは自己目標です。そしてその目標は最初から大きなものを抱いてしまふと、その目標の大ききゆえに挫折してしまいがちです。ですからその中間目標を沢山こま切れにして、細分化して、細かく設定します。

われわれの自分の目標は自分にとつての神です。自分にとつて最も偉大なものです。われわれが神を想像した時に、それは非常に人間的に見えます。もし黄金虫が神を想像したら、それは黄金虫のような形をしているかも知れません。

われわれの目標にしてもそうです。それはその目標で描ける範囲というのは、今自分が持っている最高に素晴らしいもののイメージと重なっていきます。まずそのイメージを本当に現実化することを信じることです。そしてその確信が心の中に生まれてきたら、それをもっと簡単にするために、こま切りに分けていくことです。それは比較的ちよつとずつの少しづつの努力で達成出来るものです。

一〇年後の目標があつたら、一年後の目標を持つて下さい。一年後の目標があつたら、一カ月後の目標を持つて下さい。そして一カ月後の目標があつたら明日の自分を見つめて下さい。そしてそこに心の中にある全精力を向け

て、楽しく人生を謳歌していきたいものです。今日はご静聴有難うございました。

(筆者は静岡県出身。我が国屈指の大超能力者。遠隔思念により難病患者を奇跡的に治している。高度な宇宙的体验もあるといわれている。日本GAP特別会員。現在はボストンクラブ代表として能力開発指導をしている)



▲総会後の夕食会での楽しいダンス。

●星富治夫・新潟支部代表―クローズアップ!

日本GAP新潟支部代表・星氏の活躍ぶりが昨年9月27日付の有力紙新潟日報(夕刊)の文化欄に写真入りで大きく報道された。氏は会員歴も長く、たびたびUFO写真展を開催して県内の啓蒙活動に専念している。このプロフィールは氏の誠実な人柄をあらわしており、新潟日報紙の記事も誠意ある公正な内容である。

日 報 (夕刊)

第三種郵便物認可

星 富治夫さん(34)
北魚沼之谷村井口新田

UFO情報を集め、知らせたい



「これがアダマスキー型円盤が撮影されたフィルム。UFOの情報があまりにも一般に知られていないのが残念」と語る星さん

●:●:●:マイライフ●:●:●:

打ち上げ以来、土、空をセーブを吹き込んだレコード
けて海王星に接近した惑星探 納められている。いつか、
食機「ボイジャー2号」こここの異星人がメッセージ
の探査機には地球からのメッセージをチャッチするかも。

世の中には異星人や彼らがキーがカリフォルニア州で出
乗ってくるUFOの存在を確 合ったという有名なアダマス
信し、研究に打ち込むUFO キー型円盤の写真と、やはり
ファンも多い。福之谷村で アダマスキーが金星人から伝
店を営む星さんその一人。 えられたという金星のシンボ
「UFOは未確認飛行物体の ルマークが刷り込まれてい
略述ですが、そもそも未確認 る。星さんは「日本GAP」
というのをおかしくい。 の新潟支部代表だ。
も十分に確認されている物 「GAPは、UFOについ
体で。ただその情報が一般 ての情報や真相を、知らせる
に知らされていないだけ。 運動」という英語の頭文字を
星さんの名刺には、UFO とったもの。一九九九年にア
研究の創始者、G・アダマス ギムスキーが創始したんで

真相は隠されている

す。いま日本で、白人の公 星家を立てたとき、風が
目がいま少し、新潟支部の仲 ないとされている月で風が風
間は二十人くらい) であられたら。これは月
UFO関係 には大気があることの証拠。こ
の資料を収集 のほか金星や火星なんかの映
し、情報交換 像や写真なんかを仔細に検討
すると、異 すると、異星人が存在する可
に一般への 能性を示す証拠が次々と出
情報提供にも きて興味深いです。NASA
力を入れてい Aは真実の情報を発表して
る。今息も新 ない、というのが私たちの一致
約市内のデバ した見解です」
「トの四回目 ったが、本格的にUFOに
のUFO写真 展を開き、こ 関心を持ったのは大學生のと
れまで、世界 きたアダマスキーの著作を
各地方で日撃さ ながら、以後、長野市上空や
れた有名な「 白七」空で、自身もUFO
DO写真など を展示、映写 「白銀色の光体が遠く
した。 「UFO Oがモヤモヤした状態で目撃
写真や情報が されるのはバリエーションと
あまりにも知 っているからなんです。と
られていない にかくUFOを目撃したこ
んです。NASA がなくても、資料を注意深く
SAが公表し 検討すれば、その存在を確信
た映像なんか にも不思議な 矛盾を解決するにはUFO
問題が無視できない」とが理
解されると思っています」

文化

潜在脳力を開発し、願望実現を早める奇跡の音楽

この音楽を聴きだしてから 願望が次々と実現し始めた

アメリカで話題轟然のスピリチュアル音楽ライブラリー
ついに日本でも独占販売開始

アメリカで各界から熱狂的注目を欲びる常識を超えた奇跡の音楽

「スピリチュアル・ミュージック」、「ニューエイジ・ミュージック」と呼ばれる不思議な音楽が遂に日本へも上陸しました。このスピリチュアル音楽に関しては、日本でもニューサイエンス関係の書籍や一般の雑誌・新聞でしばしば紹介されているので既に一存知の方も多いことでしょう。今から十数年前にウエストコースト(米国西海岸)で湧き起こった、意識と物質を同一の次元でとらえようと



●記憶力・集中力・創造力などの潜在能力が曲を聴くことにより自然に開発される。
●一二年の長期にわたって、これらの曲を愛好していると、超能力者、ヒーラー(心霊治療家)の典型的脳波であるアルファ波とシタター波の同時高レベル波形とよく似た脳波があらわれるようになり、その結果、鋭い直観力——これがさらに高まること未知予知や読心力などの超能力——の持主になる。
●夜、寝る前に聴くと熟睡でき、疲れが翌日にあまわず残らず、朝の目覚めがとてさわやかになる。又、小さな事にクヨクヨしなくなる、包容

するニューサイエンス運動、エコロジー思想等のニューエイジ革命の嵐の中から生まれ出たスピリチュアル音楽——。

この音楽の特徴をまとめると、
●作曲家・演奏者達が皆30代前半から半ばと若く、瞑想愛好家の上、肉体離脱や超常現象を日常的に経験するなど、きわめて霊的意識が高い。
●今までの音楽のように単に曲を聴いて楽しめるという点だけではなく「もちろん音楽的に非常に魅力的に富んだ曲が多く充実に非なるが」意識を高め、潜在意識を刺激するという、「意識・無意識への作用」という事に重点をおいて曲がつくられている。

力がつく、他人に寛容になり対人関係がスムーズにゆくようになる等々の人格向上効果が見られる。
●潜在意識が活性化されることにより、円滑現象(願望がスムーズに実現される、自分の思い通りの方向へ物事が進んでゆく等の現象)が起きるようになる。
●これだけでは、まだとても説明しきれないくらい驚くべき効果を持つたスピリチュアル音楽は、その多様な効能が、早くからアメリカの教育界・医学界・宗教界・実業界など各界から熱い注目を浴び、数々の実験、科学的基礎研究が今日まで行なわれていきます。

アメリカでは脳力開発に、願望実現にと幅広く活用されている。

アメリカでは、これらのスピリチュアル音楽の科学的研究、神秘主義の側面からの経験データに基づいて、応用面での研究、実験もさかんに行なわれていきます。現在のところ最も利用が進んでいるのは教育の分野で、サジェストベディア(超高速学習法)のバックミュージックとしてさかんに入っています。又、能力開発、靈性開発を目的とした瞑想教室では、スピリチュアル音楽はもう空気同然の必需品で、大脳の潜在脳力をめざまさせるのに著しい効果のあることが何千人の生徒達を使った実験でも実証されています。

又、成功を夢みるビジネス界のエリートの間でもスピリチュアル音楽はたいへんな人気で、脳力開発に、ストレスコントロールに、又、願望の早期実現のために、と、いろいろ使い方をされています。



米国のスピリチュアル音楽ベストヒット48曲
24巻を一堂に集大成
アメリカンライブラリー社では今アメリカで最も人気の高いスピリチュアル音楽のヒット曲48曲テープ24巻の独占販売権を獲得し、「スピリチュアル・ヒットUSA」として

日本の皆様には頒布会方式で通信販売いたしております。
「スピリチュアル・ヒットUSA」の頒布システムを説明しますと、初回から12ヶ月にわたって、毎月カセットテープ2巻が届けられ、支払いは毎回五、六〇〇円の送料三〇〇円。初回、二回目以降を問わず、商品到着後5日間の無料試験期間がありますから、万、一曲が気に入らなければ自由に返品できます。(二巻のうち一巻のみの購入の場合は代金は半額の二、八〇〇円プラス送料)又、途中で購入をストップしたい場合は、所定のハガキ又は電話で通知すれば、その時点で購入を止められます。
商品は、2週間前後で到着します。瞑想ガイドダンス、願望実現マニュアル、脳力開発マニュアルがついてきますので、それぞれの目的に応じてこれらのマニュアルを利用下さい。
第一回目の試験のお申込みは、
〒107 東京都港区南青山1-26-14
アメリカンライブラリー社 U.F.I 係
電話 東京03(4779)5864
までハガキか電話で、住所・氏名・年令・職業・電話番号を明記の上、「スピリチュアル・ヒットUSA」
試験希望とお申込み下さい。

★想像以上の効果にびっくり!!★
はじめのころは「何かおもしろい音楽がよみかかっている感じがして、でも聞いてみると心が落ちついてくるし、まあ車の中へ聞くとしるやあ静かいい曲——しばらくの印象しかななかったですが、しばらくして色んな異常に気づきはじめてました。低血圧で朝は二ガ手だったのが、すごく寝ざめがよくなくなって午前中の仕事のノリがよくなくなったか、仕事上の判断が正確になり前みたいなドジをやらなくなったとか。それにいけばんの異常は、女の子(特に美人)と話をすると話がどうも変なところで緊張してしまったり話かすたりしたりして、どうも恋下手だったんですが、それが最近じゃ前みたく変な気分がなくなったり、ほんとに音楽にストレートに話かかってくるようになったこと。おかげで、会社の女の子がみんなホクホクの恋人に見えちゃうほど。何か会社に行くのが楽しくなりました。ほんとに、もろもろの音楽は毎日かかす聞いてます。次のテープが楽しみです。埼玉県 山口浩和
最近、人とのつきあいが信じられないくらいうまくゆきます。
広島県 船越照政
こうなつたらいいなあと思つていたことがもう立続けに二度も現実のものになつてしましました。
東京都 高見隆春

◇「スピリチュアル・ヒットUSA」ライブラリーの中の1曲ご紹介◇
曲名: TEMPLE IN THE FOREST
作曲演奏: DAVID NAEGELE
曲の内容: アコースティックピアノ、シンセサイザー、エレクトリックピアノ、自然音で潜在意識の波動をあらわす森のリズムが形づくられる中を、「オーム」の神秘的なマントラのバイブレーションが限りなく広がってゆく様をみごとに表現している。
瞑想用に、又直観力・創造力開発に最適の曲の1つ。

（国内有力紙に掲載された科学記事を抜粋紹介。各記事末尾のカッコ内数字は掲載月日を示す）

低温核融合で七倍の発熱

低温核融合の火付け役で、九月一七日から京都で開かれた国際電気化学会に出席するために来日したM・フライシユマン英サウサンプトン大教授とS・ポンス米ユタ大教授は一日午後、東京・日比谷で読売新聞社と単独会見し、「新しい実験でも、発生エネルギーは入力エネルギーの七倍以上。こんな大量発熱は化学反応でなく、やはり核融合反応でしか説明できない」と述べ、未知の核融合反応が起きている可能性を改めて強調した。（9・16読）

ひまわり4号、軌道に乗る

宇宙開発要員は九月六日午前四時一分、静止気象衛星「GMS-4」搭載のH-Aロケット5号機を、鹿児島県南種子町（種子島）の宇宙センターから打ち上げた。衛星は予定の軌道に投入され、「ひまわり4号」と命名された。一月中旬には静止軌道上の予定位置に入り、九〇年代前半にわたる気象観測の任務に就く（9・6読）。

太陽の素顔の撮影成功—ハバード大

米ハバード大の天文学者レオンゴルド博士は九月三日、ロケット搭載の望遠鏡で太陽フレア（爆発）とコロナ（光冠）のこれまでで最も鮮明な写真を撮影したと発表した。

太陽表面が大爆発するフレア現象が起きた瞬間を狙って、ゴルド博士らのグループが九月一日、ニューメキシコ州のホワイトサンズ・ミサイル射場から長さ一五・四メートルのロケットに搭載、打ち上げたエックス線望遠鏡がとらえたもの。望

遠鏡は上空三二一キロまで上昇し、撮影したフィルムをパラシュートで地上に落とした。ゴルド博士は「こんなに詳しく太陽表面が見えたのは初めてだ。しかし二重ループのフレアなどがなぜ形成されるのかはまだ説明できない」と語った（9・18読）。

エックス線望遠鏡がとらえた太陽の表面



水素分子の雲を発見、世界初

日本の科学者らのグループが宇宙の果ての天体「クエーサー」に水素分子の雲があることを世界で初めて発見、なぞに包まれた天体クエーサーの正体と、宇宙の進化の仕組みを解明する貴重な手掛かりになりそうだ。

水素分子の雲の存在を確認したのは、京都大の西田稔助教授、国立天文台の川良公明博士ら。地球から約二〇億光年の距離にあるクエーサー「3C273」を、南米チリのセロ・トロロ天文台にある近

赤外分光器で観測した結果、一九八六年と八八年の二回、水素分子の輝線のキャッチに成功した（9・21読）。

「ノアの箱船」発見？ 残骸を米人撮影

旧約聖書の「ノアの箱船」が漂着したとされるトルコの最高峰アララト山（五一六五メートル）の山頂近くで箱船の残骸らしい物が見つかった、と現地を探索中の米国人二人が九月二日写真を公表した。

二人は箱船探索を目的とした米フロリダ州オーランドのインマヌエル探険財団所属のチャック・アロン・ポブ・ガーブの両氏。アロン氏が操縦するヘリコプターで同山南西稜を探索中、標高四四〇〇メートルの地点で、解け出した氷河の間に箱形船の構造物を発見、今月九月十五日撮影に成功したという。電話でのインタビューに対し、アロン氏は「我々は一〇〇箱船だと確信している」と自信たっぷりに答えている。

アロン氏によると、現場は通常、氷アララト山のノアの箱船らしい残骸。

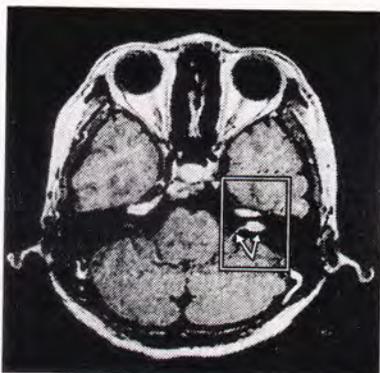


河に覆われているが、二、三〇年に一度夏季の高温で氷が解け出すことがあり、一九四三年にも米人パイロットにより同じ地点で船体らしいものが確認されているという。アロン氏は九〇年、地質学者をも含めた登山隊を組織して現地調査を行なうとしている（9・22読）。

極細神経系もMRIで画像化—脳シユウ早期診断に威力

日立製作所は九月二五日、医療用MRI（磁気共鳴断層撮影装置）を利用して太さ二ミリの細い脳神経系を世界で初めて撮影するとともに、突発性難聴と紛らわしい聴神経シユウの鮮明な写真撮影に成功したと発表した。今後、脳シユウなどの早期診断に威力を発揮しそうだ。

MRIは人体に電磁波を当て、体内の水素元素の分布などを調べる装置。患者に痛みや危害を与えないで、人体の断層画像が得られ、神経系などの病態をつかめるので、ここ二、三年で普及が進んでMRIによる頭部の断面画像、聴神経シユウと細い聴神経（矢印）が見える。



★関西読売テレビに大阪支部代表が出演 大反響

昨年一月一日、関西読売テレビの「ざまあカンカン」という番組の中でUFO特集が組まれ、日本GAP大阪支部代表・平塚和義氏が出演してUFO観測の方法などを解説し、またアダムスキー撮影の円盤写真(正面向き)とオーソン写真が大きく映し出されて大きな反響を起した。

★「家庭画報」誌が会長を取材

一月一日に「家庭画報」誌のインタビューを受けた久保田会長の対談記事が同誌(発行部数一〇〇万部)三月号に掲載される。会長が約一時間半にわたってアダムスキー問題とGAP活動について婦人記者に語った内容の要約が出る予定。

★東京月例会をテレビ朝日が取材

一月一六日の東京月例会をテレビ朝日が取材して会場内の状況を録画した。遠藤昭則講師のテレビパシ練習指導の模様が主体をなしており、これは一月五日夜、テレビ朝日の番組「すてきにドキュメント」で全国向け放映された。

★昨年度東京総会のビデオを頒布

昨年九月の総会における三名の講師の講演全部を録画したビデオテープを会員の伊東芳和氏(東京)が格安の価格で頒布している。希望者は左記宛宛金書留または小為替で直接申し込まれたい(日本GAPでは扱わない)。申込先〒102東京都新宿区富久町36-

18、富久マシジョン100、伊東芳和 ●八九年度日本GAP総会ビデオ

第1巻「久保田会長挨拶、斉藤庄一講演、遠藤昭則講演と実演」
第2巻「秋山真人講演と実演、質疑応答(いずれもカットなし)」
※各巻VHS二時間。一本二千元。
送料不要。希望巻数を明記のこと。

★長野支部大会、盛況

昨年一月五日、長野県諏訪市で開催された日本GAP第三回長野支部大会は三〇名の参加者があり、和気あいあい熱気溢るる会合となった。詳細は本号48頁に掲載。

★今年度地方支部大会

今年度上半期は左記の二支部が大会を開催の予定。

(1)第一回南九州支部大会

四月二九日(二連休初日)、鹿児島市「市民文化ホール」にて午後一時より五時まで。講師は久保田会長と遠藤昭則本部役員。

(2)仙台・山形合同支部大会

五月四日(三連休の中日)、仙台市「片平市民センター」にて午後一時より五時まで。講師は久保田会長と遠藤昭則本部役員。

★今年度海外研修旅行の行先変更

本誌前号で予告した今年八月実施予定の「ローマ・エルサレム・イスタンブール聖域の旅」は事情により行先を少し変更し、トルコのイスタンブール



▲東京月例会を取材するテレビ朝日。

を省いて「ローマ・エルサレム・ガリラヤ聖域の旅」となった。日程も一二日間を一日に短縮し、費用も安くなったので多数の参加者が見込まれる。詳細については本号37頁の広告を参照の上、ワールドセプトラベル社へ案内書を申し込みたい。

★ESPカード新製品

頒布中のGAPグッズの内、ESPカードは好評裡に完全品切れとなったので、今度は紙製のESPカードとし、二五枚一組箱入りで出した。価格もうんと安く入手しやすくなった。本号52頁を参照されたい。

★テレホンカード新製品

テレホンカードも第三弾が品切れになったので、アダムスキーの肖像写真を入れた新作が第四弾として出た。一〇〇枚限定。詳細は52頁。

★デンマークGAPより久保田会長に招待状

デンマークGAP主宰者イブ・ラウルンド氏から、本年一〇月にデンマークGAP主催で行なわれる国際UFO研究大会で講演依頼の招待状が会長宛に届いた。それによると会長は講演依頼候補者名簿の筆頭に上がっているという。一〇月は本誌の発行月のため出席の可否については未定。出席可能になればスライドを映写しながら約二時間の講演を行なうことになる。その際は撮影係として同行者を募るようになるかもしれない(ただし自費)。

★本年度総会

本年度の東京総会は九月二四日(二日連休の二日目)に都内銀座七丁目の銀座ガスホールで盛大に実施する。内容については検討中。詳細予告は本誌110号(七月発行予定)に掲載の予定。なお来年度総会も九月二二日(三連休の中日)に同ホールで実施の予定。詳細は来年度に発表。

現象の医学的考察」パートIで提示し

ユークン第106号の拙文「テレパシー
引き受けるかわりに印象類を与える」
の心の知覚をときとして超えた活動を
ならぬ。この「魂の心」は感覚器官
の心の知覚をときとして超えた活動を
ユークン第106号の拙文「テレパシー
引き受けるかわりに印象類を与える」

た四つの命題の内「(1)個人の記憶はD
NAレベルで保持される。(3)細胞のD
NAレベルと中枢神経の間には、双方
向情報通信メカニズムがある。(4)肉体
細胞はDNAのレベルで外界からの想
念波動を感じ、それを心へ伝達する」
と述べておいた。

以上からDNAは個々にそして全体
として個人の全活動(感覚・知覚・思
考・イメージ・感情・行為・体内の変
化等あらゆる経験の総計)を記録・記
憶し、したがって情報の集積体および
知識の送受信体として機能しており、
これが普通にいう顕在意識(心)に対
する。潜在意識を形成している、と
いう結論に達する。

「顕在意識」と「潜在意識」DNAの
相互作用の解明には、単純化すると最
低でも以下のような不明点を明らかに
しなければならない。

(1) 想念ジェネレーターとしての中枢神
経のメカニズム。
(2) 意識的情報内容(思考・イメージ等)
の想念波動における写像。
(3) そもそも想念波動とは何か。その実
体・性質・媒体そして波動方程式。
(4) DNA(神経細胞/体細胞)の物理
的・生化学的①波動機能②情報蓄積機
能③「印象」発信機能。(ひとくちにD
NAといっても複雑で多種多様な要素
があるが、ここではあえて単純化した)

(5) DNAと神経系の接点およびインパ
ルス伝達経路。
(6) 中枢神経系における「印象」の知覚
メカニズム。

以上を換言すると(1)(2)(3)は顕在意識
から潜在意識への情報伝達メカニズム
であり、メンタルテレパシーの発信相
でもある。(4)は潜在意識としてのDN
Aの機能とメカニズムであり、同時に
四官とは独立してそれを支える「基本
的感覚」としてのDNAのメカニズム
である。(5)(6)はインスピレーションの
経路すなわち潜在意識から顕在意識へ
の情報伝達のメカニズムを説明するも
のである。

これらすべての解明がDNA潜在
意識の検証プロセスであり、それ
は到底筆者の能力のおよぶところでは
ないが、この完璧な概念と応用方法はア
ダムスキー論説集(アダムスキー全集
第七巻)に詳述されている。現段階に
おける不完全な推論は稚拙に思われる
かもしれないが、一部分試みてみたい。

(3) → 想念波動を8階非線形偏微分
の波動方程式であらわし、その実体を
スピン単極磁気粒子(物理学というモ
ノポールよりもタキオンに対応すると
考えるほうが妥当。UFOの推進原理
とも関連する)説がすでに提唱されて
いる。球面ソリトン波動方程式(これ
はさらに想念内容によって連続的に変
調される時空間関数)の可能性もある

が、想念(単極粒子)伝達または想念
場の時空間におけるトポロジカルな歪
みという観念まで考慮すると、アイン
シュタインなみの天才が要求される。
媒体についてアダムスキーは「空間と
物質のすべてに遍満している心、す
なわち「意識」が物質に現れるための
経路」と表現している。

(4) → ホログラフィックモデルと、
『生命の科学』(アダムスキー全集第六
巻)第九課がヒント。分子生物学およ
び生物物理学のアプローチにより、最
も解明の可能性が高い部分。「原子のス
パーク」が基本的な「触覚要素」であ
り、その意味では生物・無生物の区別
なく全物質に意識があることになるが、
人間が最高に組織化された波動送受信
装置であるとすれば、DNAは原子(素
粒子)レベルの波動情報の蓄積(記
憶)・増幅・変換・伝達のための基本的
構造単位であり、個別の細胞として、
また全体として機能する「宇宙的自我」
であるといえる。それをわれわれは「潜
在意識」と呼ぶ(それによりミクロから
マクロへの意識と記憶の重層構造、す
なわち部分の全体に対する包摂性、そ
して振動の法則の理解へと導かれる)。

潜在意識としてのDNAの機能とメ
カニズムの解明への歩みはまだ始まっ
たばかりであるが、その応用は各種の
能力開発法として広く実行されている。
今後しだいに科学で解明されてゆくで
あろう。DNAの潜在能力こそが、

「潜在意識の心は実際には常に存在し
てやまない。宇宙の英知」と、意識に
おいて一体なのである。それは人間の
肉体の中の「魂の心」であり、肉体を
建設して支えているものである。

感覚器官の心(顕在意識の心)は陰
陽であり、「魂の心」(潜在意識の心)は
陽であって、この二つは一体である。
そのおのおのの利益を十分に楽しむた
めには、人間は感覚器官の心を訓練し
て、「魂の心」の命令に従わせなければ
ならない。この「魂の心」は感覚器官
の心の知覚をときとして超えた活動を
ユークン第106号の拙文「テレパシー
引き受けるかわりに印象類を与える」

「潜在意識の心は実際には常に存在し
てやまない。宇宙の英知」と、意識に
おいて一体なのである。それは人間の
肉体の中の「魂の心」であり、肉体を
建設して支えているものである。

感覚器官の心(顕在意識の心)は陰
陽であり、「魂の心」(潜在意識の心)は
陽であって、この二つは一体である。
そのおのおのの利益を十分に楽しむた
めには、人間は感覚器官の心を訓練し
て、「魂の心」の命令に従わせなければ
ならない。この「魂の心」は感覚器官
の心の知覚をときとして超えた活動を
ユークン第106号の拙文「テレパシー
引き受けるかわりに印象類を与える」

ユークン第106号の拙文「テレパシー
引き受けるかわりに印象類を与える」
現象の医学的考察」パートIで提示し

現象の医学的考察」パートIで提示し

ユークン第106号の拙文「テレパシー
引き受けるかわりに印象類を与える」
の心の知覚をときとして超えた活動を
ならぬ。この「魂の心」は感覚器官
の心の知覚をときとして超えた活動を
ユークン第106号の拙文「テレパシー
引き受けるかわりに印象類を与える」

ユークン第106号の拙文「テレパシー
引き受けるかわりに印象類を与える」

われわれ人類の潜在意識の無限の可能性の基礎であり、スペースブラザーはこの知識をすでに数千年間応用してきたという。ここに「生命の絶対性」を解くカギがあると筆者は考える。

(筆者は医師)

I Saw A Huge Mother Ship

by Fumiko Kosamura

私は巨大な母船を見た

小瀬村美美子

平成元年一月二日午前十一時半頃、私は神奈川県平塚駅ビルラスカの食堂街の中の「さぼてん(とんかつ屋)」で食事中であった。

いちばん見晴らしのよい場所に座っていた食事中の若い男が「アレ何だ!」と、つれの人に問う声が聞こえた。「ユーホーだべ」

と、つれの男性が平然となげなく答える声に私は驚いた。

ビックリして窓から外を眺めると、なんとそこには見たこともない巨大な葉巻型の母船がいるではないか!

動きのスピードは鈍く、プロペラ機のスピードより遅いし、その銀白色の金属の輝きはすばらしかった。

「巨大」という言葉さえもどかしさを感じるほどの雄大さ、壮大さ! 表現の言葉に迷うほどである。

食べかけのカキフライにふと目を落

として、また視線を空にもどすと、もうその姿がない!

「アレッ!」と思つたら、すぐ下の薄い雲の切れ間から銀白色の輝きが見える。「これは本物なのかな?」と思わず煩をつねりたくなる思いが胸を横切った。

その瞬間、雲の影の母船は下方へ三本、パツパツと三回光を点滅させた。「ああ、やっぱり本物だ!」と実感。

そしてまた一瞬視線をはずしてふたたび見ると、もう元の位置にはいなくて、フツと見ると最初の高さの位置にあり、左方へ少し移動していた。

その葉巻型船体の大きいこと! 長さよりはその胴体の太さに、また輝く金属の肌合いに一種異様な感動を覚えた。そして下の街の家々の小ささ、ごみごみした街中とくらべて、あまりに堂々として立派なのが不釣り合いで、「この世の物ではない」というか、「地球上の物ではない」という異和感さえ感じさせられた。

先月日本GAPに入会した私を祝つて遙かな宇宙の彼方からやってきたのだろうか? しかも座っている私の目の位置の高さに停泊し、光線の合図までしてくれて、なんて優しいのだろうか! と思わず涙が出るほど感激してしまった。

ハッキリと宇宙船を見たのはこれが初めてで、アダムスキー型の円盤さえ昼間は確認していないのに、あんなに大きな母船が、しかも低空で停泊して

くれて、嬉しいのを通り越して、驚き、仰天するほどであった。

誰かに話しかかったのに信じてくれそうなのはおらず、三日に娘達一家が来るまでは誰にも話せなかつた。でもあんなに歴然と低空に輝いていた母船を見た人も多かつたのではないだろうか。

地上で嫌なこと、ウンザリすることなどを多く経験しても、地球以外の惑星に進化した人々がいて、ユートピアを作っているということを知って、小さなこと、わずかなことに気をもまなくなつた。気も病まず、悠然としていられることは嬉しい。人生に希望が持てるようになったし、明るさをとりもどすことができた。

つまらぬことでいがみ合つたり、欲望のまま動いている人達を見ると「可哀そうに」という思いが強くなる。

太陽系のなかで人間がいるのは地球だけと教えられてきた。今もそう信じている大多数の人達。

戦争や殺し合いや憎み合いばかりしているこの地球だけだつたら、なんと悲しいことだろう。でももっと高級な高尚な進歩した人達がいるということを知えられて、勇気百倍の思いがした。「万物がよくなるように、万人がいつそう良くなるように!」と、これからは強い信念をもって、少しでも環境を浄化させ、自分も浄化して進歩し、向上してゆきたい。日本GAPに入会して本当によかつたと思う。

A Luminous UFO Following Me

by Noriko Gunji

私についてきた

光るUFO

郡司典子

一〇月二八日にかわいがつていた猫が突然亡くなりました。心と心が通じるような存在でしたので、悲しみでいっぱいになりました。

この悲しみを救ってくれるのはUFOに出会うことしかないと思ひ、UFOに会いたいと内部にむかつて念じておりました。

UFOは一〇年くらい前、昼間、上空にボツンと浮かぶ点でしか見ておりませんでした。家族は見たことがありません。主人は子供の頃、日立市で日中数機飛ぶのを見たことがあります、あまり本気にしていません。

最近、主人が反対のようなことを言いますので、言いあいになったとき、心の中で「それならUFOを見たらいい」と叫びました。

すると、わりに最近のこと、会社の帰りに夜、UFOが飛んだそうです。その時主人は「なぜ空を見なけりやいけないんだ」という気がフツとして、見上げたらUFOが出たのだそうです。その話を聞いて心の中に深く思ったことが通じたのかしらと思ひました。

十一月一日に実家(平塚)からの帰

りて、車で第三京浜を通り、料金所を過ぎると右手に多摩川の河原が見えます。

夕方六時過ぎでした。その河原の上の方に光る物があつたのです。よく知っている所だったので、そんな所に鉄塔などあつたかしらと思ひました。鉄塔の上の電燈くらいの大さきでした。

そして運転しながら右を見ますと、その光体は続いて見えます。環8に着くと坂になって登りきつた所です。先程の光体が見えるのはおかしいと思ひました。それは家々の上空のあまり高くない所で明るく光っているのです。環8に入り、先程の光体は後方になるので、先生に教えて頂いたとおり、意識に向かつて、「もしUFOなら家まで来て」と呼びかけました。

家に着くと車に座つた位置で見上げると、光体はまだ我が家の狭い空に光っていました。でも以前、星を間違えたことがあるので星かなと思ひました。荷物を降ろしている時、立つた状態で今度は一軒おいた家の上空にいるのです。やはり鉄塔の上の光のようでしたので、ここに鉄塔ができたのかと思ひました。

それから離れた駐車場へ行きました。そこは広い所で空も広いのです。そして、たまたま中程に先程よりも大きく、輝いていたのです。この時「これは大変だ」と思ひまして家に帰り、子供に声をかけて隣の駐車場へ行つて見まし

た。とても明るいのです。

息子がゆつくり出てきて、「星じゃないの」と言いますと、光体は突然、赤い点にしほみ、次にすぐ前よりもズーツと大きく光りました。動かずにズーツと光ります。私は光体にむかつて、「ありがとうございます」と何度も心の中で言いました。あまり動かないので一度家の中に入りました。その後見た物は下の方で、最後はオレンジ色でしたが小さくなつていきました。ずいぶん長い間あつたように思ひます。

三日にはまた平塚へ行き、帰途九時頃、やはり第三京浜を出たところをよく見ましたが、あのような光体はもうありませんでした。

この目撃は私の精神にとつて大事件でした。先生がおっしゃるような「絶対な体験」でした。遠藤さんがおっしゃるように、見た前とあとでは何か違つていきました。(筆者は前出の小瀬村美子さんの息女)

UFOs Appear During GAP Overseas Tour

by Yutaka Nakane

GAP 海外旅行で目撃した数々のUFO

中根 豊

日頃UFOの目撃にはあまり縁のない私ですが、今回の旅行中三度程UFOを目撃する機会に恵まれました。

最初は八月一日午前一〇時四〇分、

パロマーガーデンズに向かうためインターステイツ5(ファイブ)と呼ばれるハイウェイを南下中のバスの車窓から目撃しました。ちょうどアナハイムスタジアム付近を通過中のことです。左側の車窓から外の景色を眺めていると、バスの前方斜め左、オレンジカウンティという街の上空をかなり低い高度で南に向かって飛行している物体を発見しました。それはちょうど大きな皿をひっくり返したような形で、見かけ上飛行機の両翼位の長さがあるかなり大きな物体で、オレンジ色に輝いていました。以前UFO写真集でこれに似たUFOを見たことがあります。四五秒間の目撃でしたが、途中その物体は一瞬消えて、また現れました。私の声に隣席の高野昌子さん(山形県)も、消えて再び現れたときのその物体を目撃、確認しました。

八月一日は待望の謎の空中都市マチュピチュ遺跡の見学でした。そこは言い知れぬ懐かしさと、ずっとそこに留まっていたいような落ち着いた雰囲気を感じるとも印象的な遺跡でした。そのマチュピチュ遺跡からの帰路、

機関車の故障で約四時間遅れた高原列車から迎えるバスに乗り換えると、旅行会社の田中氏が車内の照明を消してUFO観測をしましょうとみんなに呼びかけました。二度目の目撃はそれから間もなくのことでした。それはまるで田中氏の呼びかけに応じてくれたか

のようでした。午後二時一四分、高野さんが第一発見者で、彼女が指し示すバス左側の斜め後方の夜空を見ると、一等星以上の大きさで明るさを持った丸い光体一個が、次の瞬間二個になり、くつついた状態で半回転して消えました。目撃したとき、車窓に何かの光が反射したのではないかと、すぐさま両手で双眼鏡のように目のまわりを覆い、窓ガラスにピタリとくつついて外をのぞいたので、明らかにその光体は車外の夜空に出現したものです。時間にして三、四秒位の目撃でした。

三度目の目撃は、八月一八日リマ空港からチャーター機で、謎の地上絵で有名なナスカへ向かつている途中で起きました。最後の席にいた私は左側の窓からアンデスの山並みを眺めていました。時刻は午前八時二〇分、眼下の山間部の上を私たちの飛行機とほぼ平行に飛行している白銀色の物体を発見しました。後でチャーター機のパイロットからお聞きしたのですが、私たちの飛行機は一六〇〇フィートの高度を時速四〇〇キロの速度で飛行してました。そして眼下に見える山間部は上限高度が約一〇〇〇フィートの層雲の上に出ている部分で、その上をその物体は、私たちの飛行機よりも少し遅い速度で飛行してました。

私のカメラには一〇五ミリまでのズームレンズが装着されておりましたので、すぐファインダーからのぞいてみまし

たが、飛行機のような翼やヘリコプターのような回転翼らしきものが見えませんでした。それでこれは間違いないと確信し、同乗していた皆さんにも知らせた。渡辺佳子さん(栃木県)、平野久美子さん(栃木県)ら数人の方もその飛行物体を確認しました。後続のチャーター機でも高野さんが同じ飛行物体を目撃していたことが後で判明しました。飛行物体は約五分間程私たちの飛行機と平行に飛行した後、キラリと白銀色に輝き、向きを左の方へ変えてしばらくして消えてしまいました。

この目撃のしばらく前に、私は何か予感のようなものがあり、同乗の渡辺さんからビデオムービーを借りようかどうか考えあぐねていました。結果、今回は長時間の目撃でしたので、やはりビデオの方がその物体の動きをはっきりと捕らえることができたわけで、その印象に従えなかったことをとても残念に思います。

高校生時代からずっと一度は行ってみたいと憧れ続けていた南米ペルーに念願かなって行くことができ、また上空からは何度も素晴らしい贈り物を与えて頂き大変感激しています。今回のこの意義ある体験の機会を与えて下さった久保田先生、田中氏、そして体調を崩したときなどにいろいろとお心遣い下さった同行の皆様から感謝を申し上げます。

(筆者は会社員)

UFO Over Desert Center

デザートセンターの UFO

1989年8月10日、日本GAP 海外研修旅行「アメリカ・南米宇宙ロードの旅」でカリフォルニア州デザートセンターのコンタクト地点を訪れた阿部祥子さん(秋田市)が自分のカメラで他人にシャッターを切ってもらった写真に物体が写っていた。撮影者は気づかなかった。リモコン操作の超小型 UFOらしい。



●弘前市に出現したUFO

昨年一〇月七日、午後三時半頃、日本GAP会員・吉崎萬左衛門氏（弘前）が岩木山方向の空中に上方と右方にL字型の強烈な光を放つUFOを見て使い捨てカメラで撮影。



青森県内のUFO騒動、過熱!

青森県内では昨年一〇月以降、ときならぬUFOの出現騒ぎで過熱気味となった。日暮れから夜になりかけの頃、光る物体を見たという報告が東奥日報本社や支局に相次いで寄せられて社内は騒然。

この情報は一〇月二四日を皮切りに上北郡七戸町、下北郡川内町、青森市の人達から寄せられた。物体は静止したり小刻みに移動したり、オレンジ色の光を放つたり、さまざまだが、大体に共通している。

いつときは青森市の東岳の西側にある碎石場の照明が雲に反射するのだという説もあったが、七戸町からは見えないから、この説はダメ。

「オレンジ色の物体は北や南の全く反対方向に出現した。光り方や動き方からみてUFO以外に考えられない」

と青森市三内丸山地区の佐藤俊勝氏は断言する。氏は近所の主婦数人と一緒に光体を目撃している。

気象観測用の気球には夜間電球を入れて飛ばすので、それが複雑な動き方をするとまるでUFOのように見える、その誤認ではないかという人もあるが、この時期に気象観測用の気球が青森県内を通過したという情報はない。したがって目撃された物体が気球でないことは確か。ナゾは深まるばかり。

上の写真はこのUFOブームが起る前に弘前市内で白昼GAP会員によって撮影された。撮影者の吉崎氏は古くからの会員。持ち合わせていたフジカラー使い捨てカメラ「写ルンです」で見事にキャッチした（このカメラは本当によく写る!）。

原画はカラー。中心の光体の左半分に薄い赤・黄の色がついており、上方と右方に直線状の放射線が出ている。上のモノクロ写真ではよく分からないが、さながらL字型。右下に見えるのは岩木山。

この写真を「異星訪問奇談」の主人公・春川正一氏に見せたところ、氏は言った。

「これは本物のUFOの波動を感じます。L字型は『転換』をあらわします。スペースビープルが地震のエネルギーを散らしているものと思われます」

そういえば一〇月末から三陸沖では群発地震が続いていた。これは一〇月二七日に始まり、有感・無感を含めて連日発生、一月七日までに三五三回にわたっている。このうち青森と八戸で震度4を記録した二日は一〇〇回を越す地震が集中したという。

だが一二月上旬には鎮静化した。やはりスペースビープルの関係なのか。

（上の写真提供は青森支部代表・田村嘉彦氏）

奇跡実話シリーズ①

Roy, Come and Help Me!

by Hachiro Kubota

ロイよ、来て助けておくれ!

〈テレパシーと解けない謎〉久保田八郎

クリスティン婆さんは夕食の仕度で台所へ入って行った。外は暮れかかっている。お腹は空いていないが、糖尿病のためにインシュリンを定期的に服用する習慣があり、食事も抜かしてはいけないのだ。

寡婦で独り暮らしの婆さんは水の入った鍋にオートミールをふるい落として電気ストーブのバーナーにかけた。続いて冷蔵庫からミルクを出そうとして歩き出したとたん、足がすべって床の上に仰向けにひっくり返った。起き上がろうともがくが、極端な肥満体の七

〇歳の婆さんは、上半身も起こせない。仰向けにされた海亀みたいに手足をバタつかせるだけ。窓はすべて閉めたから大声で叫んでも隣家へは聞こえないだろう。電話をかけよう! だがそれは寝室近くの壁に高くかけてある(アメリカの電話機は壁かけ式が多い)。婆さんは仰向けのまま両肘をじゅうたんに突き立てて、一寸きざみで体を動かす。激しく息を切らせながら、やつとの思いで電話の近くまで来た。壁に立てかけてあるホウキを片手に取り、受話機を突き上げると、大きな音をたてて床に落ちた。——だめ! ダイヤルまで手が届かない!

夜が深まって空気も冷えてくる。両手を胸にまわす。毛布が欲しい。またも両肘で寝室ににじり寄ると、ベッドの厚い敷布が見える。片手で引っぱるがビクともしない。反対側の杉材の大箱の上に衣類がおいてある。あれだ! またもその方へにじり寄って、やっとセーターとスカートを引きずり降りし、体の上にかけた。夜がふけるにつれて、いつも夕食後に服用しているインシュリンのことが気になってきた。朝までに体はどうなるだろう? 体がどうなっているのか見当がつかない。ひどい恐怖が襲ってくる。「イエスさま、私から離れないで

家の中に閉じ込められたのだ。電気バーナーの輝き以外に明かりもない。ついに婆さんは小声でつぶやいた。「イエスさま、私は独りぼっちです。怖いのです。どうぞここへ来て下さい。私の心を静めて、守って下さい。オートミールの鍋も守って下さい!」

朝の光で目が覚めた。神さま、ありがとう、長い夜が明けて家も燃えなかつた。仰向けのまま朝の祈りを終えてから、なんとかして起き上がろうと、もがくけれども、体も動かさない。喉はカラカラ。お腹もすいた。インシュリンを服まらずに無事ですむだろうか? きつと隣家の人が電話をかけてくるいや、だめ。受話機はフックからはずれている。でも誰かが来てドアを叩くだろう。

婆さんは必死になって祈った。聖書の言葉を繰り返してつぶやくうちに、途切れがち眠りにおちいった。

下さい。一緒にいて下さい。なぐさめて下さい!」

異星訪問奇談

久保田八郎編

新書判・約二七〇頁・定価二二〇〇円・送料二六〇円

想像を絶する進歩をとげた別な惑星を大母船に乗せられて訪問した日本人青年の驚異の実話と、地球人を救うメッセージ!

■2年前、日本GAP発行 UFOcontactee誌に連載されて大センセーションを巻き起こした「私は別な惑星へ行ってきた!」と題する驚くべき記事をまとめ、さらに証人たちの証言と編者の解説序文を加えて一書にした実録。UFO contactee誌の連載記事掲載各号が品切れ絶版となった現在、本書は貴重な文献である。大超能力者にして愛の精神の権化たるコンタクティー春川正一氏(仮名)は東京で活躍する実在の人物。超絶した諸惑星の実態と偉大な惑星人たちから与えられた感動のメッセージは危険な地球を救う天来の声/UFO研究者、自己改良希求者必読の書。

全国書店で発売中

書店にない場合は直接下記へご注文下さい。〈日本GAPでも取り扱います〉
〒101 東京都千代田区西神田3-5-6
振替・東京7-26932
〈発行所〉**新典社** ☎03(265)3781

婆さんは次々と名前を呼んだ。妹のマーサから始めて隣近所の人達の名を並びたててノックを待った。誰も来ない。

疲れてしばらく中止していると、別な想念が浮かんだ。ロイ・スタンレイを呼べ！ロイは二日前にここへ立ち寄って一緒に祈ってくれた男だ。だけど彼は遠くに住んでいる。

だが、想念は続いた。ロイを呼べ！婆さんは大声で呼び始めた。

「ロイ、来て助けておくれ！あんたが必要なのよ！」

何度も続けて呼ぶ声が室内に響く。

二時頃、裏の戸をドンドン叩く音がした！婆さんが叫ぶ。

「助けておくれ！あんたを待っていたのよ！」

ドアをバリバリと叩き破る音。足音がせまる。ロイの声――。

「やあ、クリスティン婆さん、床の上で仰向けになって、何やってるんだ？」

ああ、助かった！本当に来てくれた！私の叫び声が届いたのだ！溢れる涙――。

ロイはすぐ助け起す。水を飲ませて電話で妹と救急車を呼ぶ。

ロイが言う。「今朝から家にいたんだが、急にあなたのことがひどく気になりました。そこで家内に言ったんだ。

俺はクリスティン婆さんの家へ行く。あそこで何かが起こっているんだとね。

この家の玄関の戸を叩いたが返事がない。すると強い衝動が起こった。離れるな。家の裏の戸を叩け！

そこで裏へまわって戸を叩いたら、あなたの叫び声が聞こえたんだ！

婆さんがせきこんで尋ねた。

「昨夜電気バーナーにかけたオートミールはどうなってる？干上がって鍋が黒く焼けているんじゃないの？」

奇妙な表情がロイの顔に浮かぶ。

「さつき水を汲みに行ったときにバーナーのスイッチを切った。昨夜鍋をかけたって？おかしいな。オートミールは食べ頃に来上がついているよ！」

×

以上は一九八九年、米アラバマ州マズルシヨールズの町でクリスティン・スキラン未亡人が体験した実話である。婆さんがロイの名を呼び続けた結果、ロイが胸騒ぎを起こして駆けつけたのは明らかにテレパシー現象だろう。「意識」が作用したにちがいない。

婆さんが疲れて心を静めたときにふとロイの顔が浮かんだこと、諦めないで何度も名を呼び続けたことは、大いなる教訓となる。リラックスすることの効用と、絶望しないで信念を持ち続けること、この二つだ。

だが電気バーナーにかけたオートミールが食べ頃になっていたとは！
——謎だ！

日本GAP企画第12回海外研修旅行

ローマ・エルサレム・ガリラヤ聖域の旅

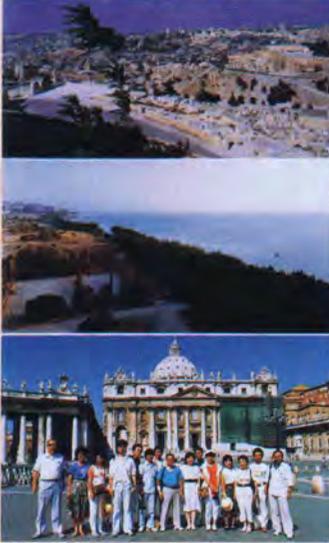
★期間=1990年8月10日より19日まで10日間／費用=598,000円

日本GAPは毎年海外研修旅行を実施して多大の成果をあげていますが、1990年夏には2カ国の聖域や遺跡視察の旅を行ないます（前号の広告では3カ国と発表しましたが事情によりトルコのイスタンブールを除外して2カ国とし、期間も12日間を10日間に短縮しました）。感動のエルサレムのイエス関係の遺跡、特にゴルゴタの丘の十字架跡に建てられた聖墳墓教会、イエスが逮捕される前夜に歩いた石段、ゲッセマネの庭園、ベツレヘムの生誕地跡、美しいガリラヤ湖、その他の至宝の遺跡を巡り、ローマでは古代の大ローマ帝国時代の名高い遺跡と世界最大のサンピエトロ大寺院を見学します。日本GAPは宗教とは無関係ですが、別な惑星と関連の深いイエス関係の必見の遺跡や名所旧跡を選びました。ベテランの田中正と久保田八郎が秘策を練った手作りの最高に楽しい日本GAP海外研修旅行にご参加の上、生涯の思い出を残して下さい。

日 程

8月10日(金)夜、成田空港を出国、モスクワ経由ローマへ。11日朝ローマで飛行機を乗り換えてイスラエルのテルアビブへ夕方着。エルサレム泊。12日～13日はエルサレム市内外を見学。オリブ山よりエルサレム旧市街を展望、イエスが刑場へ引かれたピア・ドローサ(歎きの道)、聖墳墓教会、シオン山、イスラエル博物館、ゲッセマネ庭園、ベツレヘムの生誕地跡、その他を視察。14日エルサレムからバスで死海海岸のマツツァダの遺跡へ登り、死海で海水浴に

打ち興じ、ウムラン酒屋、エッセネ派住居跡、エリコの古代都市遺跡を観光後、ティベリア泊。15日はガリラヤ湖畔の美しい土地を終日自由行動。16日、船でガリラヤ湖上を周遊、山上の垂訓教会、ナザレの町などを見学。夜ローマへ飛び、17日、バチカン市国のサンピエトロ大寺院、コロッセウム、フォロローマーノ、トレビの泉、その他を観光。18日ローマ発、19日(日)午後成田着。(以上大要のみ)●詳細については下記へガキで案内書をお申込み下さい(非会員でも参加できます)。



▲写真上はオリブ山から見たエルサレム市街展望。中は風光明媚なガリラヤ湖。下はローマ・バチカン市国のサンピエトロ大寺院。(1986年度GAP旅行団。撮影=久保田八郎)

ワールドセブントラベル株式会社 〒150 東京都渋谷区東3-24-9 サンイーストビル2F ☎03-499-2461 担当=田中正

※夜間は田中自宅の☎0474-77-4728へ22:00以後にお問い合わせ下さい。

UFOs and the Complete Evidence from Space
by Daniel Ross Translated by Hachiro Kubota

UFO 宇宙からの 完全な証拠

金星、火星、月に関する真相
●ダニエル・ロス／久保田八郎訳

連載第10回

第9章 金星の真相

一九六〇年代初期頃までと、続く数年間の地球上におけるUFO活動に関する目撃報告により、金星には人間の居住可能な環境があるという考え方が大衆の心にしだいに受け入れられるようになり、著名な宇宙科学者たちの諸説にも見られるようになった。

天文学は常に金星をわが地球の双子惑星と称してきたが、これは両惑星の大きさがほとんど等しいことと雲の多

い大気を有するためである。しかしこれらの姉妹惑星は絶えず厚い雲の毛布に覆われ、その表面の状況は地球から出られない観測者たちにとって謎のままになっていた。ある科学者連は、金星の軌道は地球よりも太陽に近いけれども、その絶えまない雲の層が太陽エネルギーの大部分を反射しているため、表面温度は地球のそれにきわめて近いと推論している。

金星の雲には水蒸気がある

一九五九年一月、米海軍とジョンズ・ホプキンス大学のために研究している科学者たちは、金星研究の目的で二五・六キロメートルの高度へ成層圏気球を打ち上げた。そして赤外線観測の結果、金星の雲の上層に地球上空の類似高空雲の上層よりも五倍も多い水蒸気を測定したのである。

一九六〇年に米ソの科学者が行なった分光写真研究により、金星の大気に関するさらに詳しいデータが得られた。三日月状に光る金星を観測中に彼らは金星の夜の部分でたびたび目撃される夜の輝き、すなわち「青白いライト」と呼ばれる現象のスペクトル分析を行なった。その結果、金星大気中に窒素と酸素原子の存在が判明した。この暗い半球の夜の輝きは酸素原子のせいだったのだ。地球大気の上層部にも同様な特長をもつ成分がある。短波長の太陽放射線によって通常の酸素分子(O₂)を分離させて単一の酸素原子にしているのだ。

イギリスの宇宙専門家V・A・ファーストは、緑の植物による光合成のよき補給が絶えず行なわれない限り、惑星の大気が一定期間以上に酸素のよき活性元素を保持することはできないだろうと述べている。彼はさらに、金星にそれが大量に存在するというこ

とは、そこに生命が存在することの動かぬ証拠であるところに加えられている。

ファーストの推論によれば、金星の磁場は雲の下の大気中に酸素分子(O₂)の大部分を保つ傾向があるらしく、もし金星上に絶えまない気温の逆転があるとすれば——たぶんあると思われる

▼V・A・ファースト V.A. Firsov

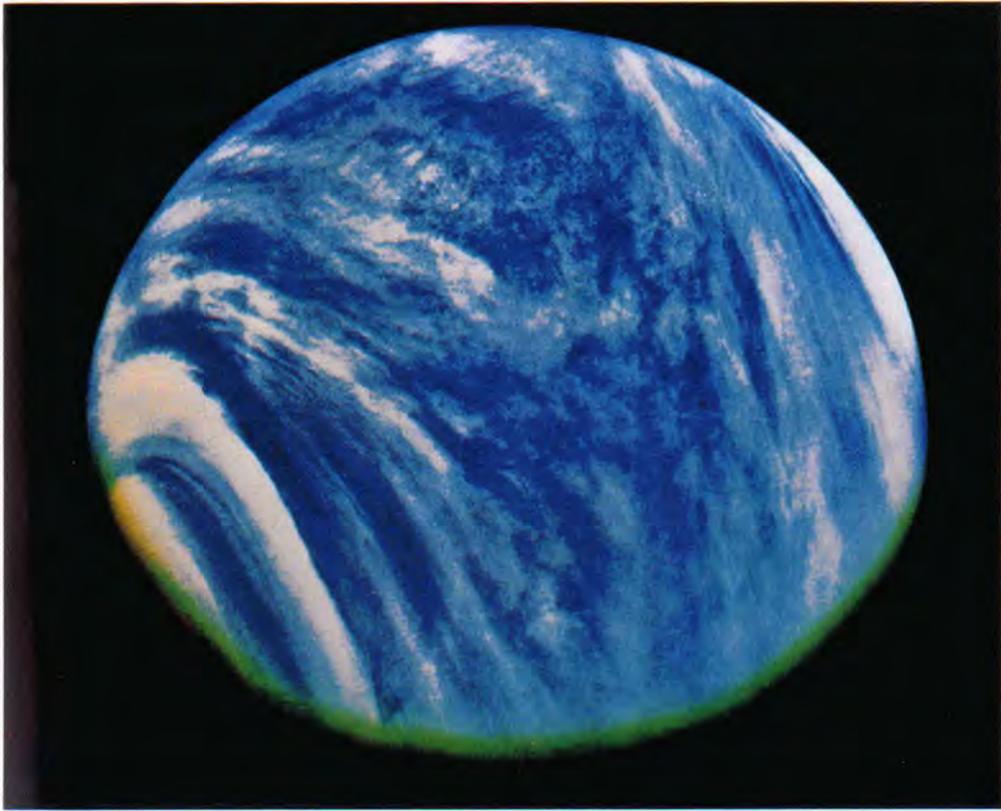


るが——二酸化炭素は当然ながらその逆転ラインを超えて上方に拡散しているだろうという。というのは二酸化炭素は放射エネルギーの効率的な吸収物として知られているからだ。

金星では雲のすぐ下よりも上のほうが空気が温かく、しかも金星の成層圏の特長として垂直方向への気流が不足しているために、二酸化炭素は上層部に閉じ込められているだろう。ファーストは、金星の雲の下の空気はきわめて地球の空気に近いものだろうと結論づけている。

●金星の素顔

マリナー10号が撮影した金星。実際は黄色に写るのだが、これは青色フィルターを使用した写真。



金星は快適な居住地?

右に引用した彼の科学論文には、金星の両極を覆う雪の極冠を示す絵が添えてある。この絵は特殊なフィルターをつけた望遠鏡観測にもとづいて描かれた。この証拠は仮のものだったが、近年確認された金星の雲の中に含まれる水蒸気や、大気中の不断の温度逆転の説明と一致している。

ファーンソフは自分の論文を要約して、金星は少なくとも地球と同じほどに快適な「生命の館」であるかもしれないと述べている。

一九六〇年、米ロケット協会の創始者であるエドワード・G・ペンドレイ博士も同じような意見を述べている。この科学者は次のように述べたのだ。『金星は結局、居住に適した素晴らしい場所であるかもしれない。われわれは金星の表面を見ることができないために、表面についてはあまり分からない。しかし金星はほぼ地球と同じで地球よりも太陽に近い。全体がフロリダ州のようであるかもしれない。』

金星灼熱説は誤りか

金星の環境に関して右のような見解を示した宇宙研究者は多かったのだが、同時に考え方の全く異なる学派が正統科学界で台頭してきた。それは一九五

六年に海軍調査研究所の一研究に従ったコーネル・H・メイヤーによる天文学報告を基盤としていた。

メイヤーは金星の大気上层部の測定値計算を行ない、金星の気温は五五〇度以上あると推定した。金星大気上层部にはかなりの量の二酸化炭素が含まれていることが知られている。それで保守的な科学者連は金星の膨大な「温室効果」環境を予想して想定したのである。

彼らの理論によると、金星表面に届く太陽光線はもつと長い波長の熱エネルギーに転換されるという。次に豊富な二酸化炭素にとらえられたこの熱波は大気中からのがれることができない。したがって金星表面はひどく熱い状態にちがいない、と彼らは推論する。

正統科学者は「熱い惑星」の理念を先例のないレベルにまで急速にエスカレートさせて、煮えたつような表面温度を金星にあてはめたのである。教科書類はこの線にそって書き直された。

この理論を真実として教えられた学童が疑問を抱く余地はまったくなかった。しかしこの頃の単純で未解決な理論に関して多くの論争が長期間続き、

次のような疑問が投げかけられた。『大気上层部の測定値と表面から出る気温とに関係はあるのか。あるいは、その測定結果と表面の条件とは完全に別個なものではないか。測定温度は実際に熱を示しているのか。それは太陽風の

影響により活性化した原子のために、大気上層部中の運動エネルギーを測定したのではないか」などである。

後年地球の周囲に打ち上げられた宇宙探査機によって、地球は大気中にさまざまな温度差を持つことが発見された。高度一六〇キロメートルではカ氏七〇〇度、高度二四〇キロメートルで一六〇度、高度四四〇キロメートルで三〇〇度あることが分かった。

これらの熱の層は運動温度の地域であることがつきとめられて、われわれが普通に理解しているような熱ではないと説明された。しかし地球の表面は「煮えたぎって」いないのであるから、金星に関する正統派理論はメイヤーの曖昧な発見の誤った解釈にもとづいていると結論をくだすがスジが通っている。

金星からの知的電波と政府の圧力

コーネル・メイヤーの報告は一九五六年に大きく注目的となったが、同年、オハイオ州立大学における天文学研究の結果、金星に関する二つの重要な報告が出された。電波天文学の世界の権威とみなされているジョン・D・クラウス博士は、電波観測の結果、金星の自転周期は地球のそれとほぼ同じだと割り出したのである。彼の測定によると金星の一日の長さは約二二・三時間であることを示した。クラウス博

士は金星から発せられる通常の電波ノイズの周期的変化を観測した結果、この電波は全くの自然発生的なものだ。

太陽や恒星はこの長い波長のエネルギーを全電磁気スペクトルの一部として発しており、それには可視光、赤外線、紫外線、X線、ガンマ線、電波などが含まれている。金星のような惑星群の場合は、太陽から受ける電波エネルギーの一部を吸収し、次に別な波長でそのエネルギーの大部分を放射する。こうして各惑星はそれ自体の独自の電波「ノイズ」を発しているのだ。

しかし金星の一日の長さを割り出すためにこうした電波観測を続けていたあいだ、クラウス博士は別な電波信号が金星から出ているのに気づいた。それは一定のパターンと振幅変動をもつので、地球の無線送信局から送られる電波と酷似していたのである。これは驚異的な発見であったため、クラウス博士はこの電波が金星から発せられているのを確認するために多くの観測をくり返した。米海軍調査研究所で働いている三名の科学者も、隣の惑星から来るこの知的信号を受信していたと発表した。

あるニュースがAP通信社から流れたのはその頃である。キー・ホー少佐の著書『空飛ぶ円盤・最高機密』の中にこのニュースの内容が一語一語紹介さ

れているが、それは次の声明で始まっている。

『アメリカのある天文学者は金星に無線電信の放送局があるだろうと考えている』

受信された信号は完全に明瞭で、受信にともなう金星の通常の電波ノイズとは違っていた。

このAP通信が流れた後で、クラウス博士は政府役人の訪問を受けたらしい。というのは、それ以来彼は話すのをやめてしまったからだ。その後彼が米天文学協会のために書いた科学論文は測定の詳細を示しているけれども、保守的な調子を帯びたもので、その結果科学者たちにはほとんど印象を与えなかった。

政府は過去にスライファア博士の火星パトロールのときに行なった決定的な発見の新聞発表を阻止したときや、初期の天文台における月面観測（月面の変化の観測）結果を秘密にしようとしたのと同様に、クラウス博士の口を封じてしまったのである。

政府の煙幕と自撃報告の増加

この洗練された天文学の新しく若々しい時代において、わが太陽系内の生命と知性体の誤りようなない発見が明らかになってくるときは常に国防省の各機関が先頭に立って干渉する。いつも新しい考え方を否定し、議論の余

地のある報告類を「不可能」として分類していた正統派の石頭に助けられて、政府の各機関は議論の余地のない科学的な（月、火星、金星に関する情報）報告を大衆の耳に届かぬように工作していたのだ。

わずかに可能性を示唆するあれこれの例外事も大きな関心の的にならなかった。というのは近代天文学の歴史を通じて、このタイプの観測は実際には旧来の考え方に全然異議をとなえるものではなく、むしろ部分的には正統派の理論と適合していたのである。

一九五〇年代後半には地理上のUFO目撃の証拠を否定する政府筋はいくぶんか信用を失って、彼らの検閲も限界に達していた。あまりに多くの目撃報告が絶えず新聞社に寄せられたし、増大する証拠を文書化してあまりにも多数の本が書かれたのだ。多くの科学者は政府が張った煙幕の背後にある確固たるUFOの存在証拠に賢明にも気づいていた。

頑固な懐疑論者たちによるあらゆる否定的こじつけ論にもかかわらず、UFOが実在することは知られていたし、知的な科学者連は新しい視点をもって惑星天文学に取り組んでいた。惑星間の天文学的距離が決定的な解決を阻んでいたのも、月と火星に関する正統派理論が優勢であるように思われた。しかし金星に関する通常の理論は、その結論とする点で大きな疑問符なしに支



▼アダムスキーの初期の三冊の著書。左側は第二著の「宇宙船の内部」で、訳者（久保田八郎）に贈られたサイン入り初版本。

持てるようなものではなかったのである。

したがって一九六〇年代初期頃には金星表面の状況に関する議論はまだ二つに割れていた。すなわち、その惑星を熱いと考える人々と、雲の下には居住に適した地球のような環境があると考える人々の両論である。一五年間にわたるUFO目撃報告類は宇宙に対する大衆の興味をそそり、近隣の惑星群の新たな天文学的研究と同時進行しているようにも思われた。

さまざまな意見が流れたけれども、一九六二年までには世の中の多くの人々がUFOは惑星間を飛ぶ宇宙船であると考えようになったり、また世界中で目撃され報告されつつあったこの宇宙船のホーム惑星を金星と考える人がふえていたのである。

ジョージ・アダムスキーの出現

この頃までにジョージ・アダムスキーは大衆が認める範囲内でUFO研究界の中央ステージに立っていた。彼が書いた三冊の書物は世界中の多くの言語に翻訳されて出版されたし、彼が撮影した金星の宇宙船の鮮明な写真も世界中に広まっていた。

広範囲にわたる世界講演旅行中、アダムスキーは数人の政府指導者や高官に迎えられたが、それは控え目ながらもアダムスキーがわれわれの最初の宇宙大使であることを丁寧に認めるものだった。宇宙の分野における彼の公的な立場は広く知られたし、UFO問題の裏にある真実を世界に教えた功績は大きい。宇宙に関するアダムスキーの情報はこの太陽系内の生命に対する明確な証拠であった。

アダムスキーは宇宙に開くわれわれの知識の限界を充分に知っていた。円盤は飛来した。しかし宇宙開発計画が疑問を解明するほどに飛躍的な進歩をとげるまでは、人間は円盤の発進地について多年論議するだろう。だが正しい解答がいつくるかは誰にも言えない。

政府の宇宙開発関係係

威者によって確認された別な惑星の環境に関する最初の真実の報告が出れば、世界は翌日から「通常の仕事」に戻らなくなるだろう。アダムスキーが強調したように、スペースピープル（異星人）が地球へ来る理由は、他の惑星群に彼らが存在することをわれわれに気づかせようとするばかりではなく、大宇宙に関するわれわれの現実的、科学的、哲学的知識が発達するのを助けるためでもある。

サイレンス・グループの暗躍

権力と富を持つ特権階級の多数者はすでに事実をおおやけにしようとはしない。なぜならそれをやるとわれわれの社会と誤った社会的、経済的な障壁を崩すことになるからだ。彼らの手先であるサイレンス・グループは死にも狂いで自分たちのでっちあげ物語をマスコミに流し、UFOは心霊的な話、偽コンタクト、気違いじみた考え方と結びついているのだという印象を大衆に与えようとした。隠蔽工作を裏でやつる者たちは、こうした概念を大衆の心に植えつけたのだ。

サイレンス・グループは政府のUFOに対するきびしい安全保障という名目の取り締まりをうまく支持してきた。そして宇宙天文学の分野における新しい展開が見られたために、頑固な正統派の理論を鋭く支持する一方、宇宙の

現実的な発見事にも等しく目を光らせる必要があった。こうした企みは新編成の政府関係宇宙開発機関（NASA II 米航空宇宙局）が機能的な働きをなすようになるまできびしく遂行される必要があった。

この宇宙開発機関は宇宙空間への打ち上げで苦闘していた初期の頃、円盤の発進地を公式に否定する政府の媒体としての役割を果たしたのである。しかし一九五〇年代末頃までは、その新たな検閲機関が作動するのはまだ数年先のことであった。

一九五〇年代から一九六〇年代の初期にかけて、サイレンス・グループとその手先は少数の鋭敏な天文学者による研究から出てきた仮の証拠を押しやることによって、火星と月に関する推測を抑えることに成功したので。一定の正統派学説を持つ保守的な科学者は、宇宙船（UFO）が地球にきていることを認める大衆は増加しているにもかかわらず、UFOがどこから来るかについては適当にあつらえた説明を与えていたので。

しかし雲に覆われた金星は検閲者たち（事実を隠そうとする人たち）に比べて大きい頭痛の種だった。金星に関する正統派の理論は確信に満ちたものではなく、見たところでは独断的であるために、金星が地球へ来る宇宙船の発進地として理論的に認められるようになっていた。事実、一五年以上以上

たつて無数のUFO目撃や記事が世界中で報じられていた。

どの分野とも同様に、インチキな報告や誤った解釈がこの論争の中にも侵入してきたけれども、手の加えられた混乱にもかかわらず、世の中のかなりの人々がUFOの存在と、金星がその発進地だということを信じていた。

政府は当時こうした考えをもつ人がふえ続けるのを阻止する方法をもたなかったし、またそのようにも見えたのである。彼らがなし得たのはただ時機を待つことだけで、選ばれた保守的な科学者連の見解を盾にして、UFO問題^①に対する彼らの宣伝に区切りをつけたのだ。

だが彼らが深刻に心配する必要はなかった。いかにUFOを信ずる人がふえようとも(または信じていると認められても)こうした市民は決して組織化されないからだ。

経済権力と エネルギー支配者の陰謀

大きな機構または会社と同様に、政府というものは組織化されており、マスメディアを大衆教育の媒体として利用しながら、公式の正統派科学的見解を確立することができた。そうこうするうちに検閲者たちは、ひとたび宇宙探査機が金星の近くに打ち上げられさえすれば、彼らはUFO実在を認める人々がふえるのを効果的に阻止できるかもしれないと考え

たのである。

あらかじめ決められていた少数の観測「結果」をその小探査機による「測定値」に組み込めば、金星は居住不可能だといふことが「公式に証明される」のだ。そうすると予想どおり保守的科学者連は、自分たちが初めからいかに優秀であったかを大げさに表明し、宇宙科学の思想において一種の横柄がまもなく定着するだろう。検閲者たちは人間の心理を理解しているのだ。

一九六二年までには一般的なUFO情報、地球に着陸した円盤との信頼し得るコンタクト記事、他の世界の生命存在を示唆するすべての情報等に関する真実に對抗する組織が完全に確立されて、惑星に関する正確な発見事の発表を妨げたのである。人々は空飛ぶ円盤や宇宙船(母船)について何でも自由に話すことはできたが、対抗組織は、政府の宇宙開発機関(NASA)が太陽系惑星群の居住可能な状況を公開することによって真実を確証することを、決して許さなかった。実際のポイントは、UFO実在の証拠をひそかに傷つけようとして、完全に逆なイメージを提示することにあつたのだ。UFOの真实性を曲げ、宇宙に関する混乱を一定のものにするための秘密主義の背後には、強大な経済権力とエネルギー支配者がいたのである。宇宙開発の状況に関する混乱は今や頂点に達している。この状況は一九六二年に端を発したものだと言えるだろう。

発表された金星の偽表面温度

アメリカが初めて惑星探査機の打ち上げに成功したのはその年である。それ以前に月へ向かった探査機はすべて計画に失敗した。たぶん(当時まだ知られていなかった)大きな重力場を持つ月の強い引力が、NASAが計算した探査機の軌道を狂わせたためだろう。したがって地球に信号を送り返すことに初めて成功したのは、一九六二年暮れの金星探査機マリナー2号である。だがそれは金星から三四五〇〇キロメートルの距離で金星を通過した短い接近飛行にすぎない。

一九六三年二月、マリナー2号から二カ月後、NASAはワシントン市で記者会見を行ない、金星探査結果を報告した。このときのNASAの声明は宇宙船(UFO)が金星から来るという大衆の信念を消し去るような内容のものであった。技術的な大げさな専門用語を並びたてた話のあとで、政府スポークスマンらは新聞記者団に最も重要な問題を要約して次のように伝えたのだ。

「金星の表面温度はセ氏四二六度ある。生命を支える水は存在しない。この惑星はどうしようもないほど熱くて、岩石が溶けて出来たような湖が存在し、雲に覆われていつも暗黒で、何の魅力もなく、その自転速度はほとんど感じ

られないほど遅い」

NASAのスポークスマンらは今やサイレンス・グループのための偽情報計画の遂行に従事しているのだ。それはUFOの裏にひそむ真実を隠すために当時完璧に仕組まれていた。金星に関する公式発表は最初から計画された、計算済の都合な欺きだったのだ。この金星探査計画はもともと客観性を排除したばかりか、金星に関する探査後の報告内容のいずれに対しても真実味のある根拠はないのである。しかもその事実は少数のフリー科学者によって強く指摘されたのだ。

マリナー2号探査機の電子感知能力はきわめて限られていた。つまりそれは未知の宇宙空間を初めて旅する実験飛行だと考えられる必要があつたし、しかも束の間の接近通過中にはるかな宇宙の彼方から送り返されるわずかな弱々しい信号を、決定的な発見事の分野に入れることは無理である。

その探査機は実際、何も「見なかった」のだ。主観的な疑わしい解釈を必要とするわずかな限られた信号を届けにすぎない。

フアンソフが突く矛盾点

イギリスの宇宙専門家V・A・フアンソフは次のように言っている。「NASAの報告は科学的報告ではなく、たんなる新聞用のネタで、むしろ

センサーシヨナルな部分と明らかかな誤りを含んでいる。(金星の)データは知らされないままだ。われわれは、ほとんどありそうもないような説明を受けたにすぎない。その説明は作られた仮定にもとづいている。そしてその説明がありそうもないのだとすれば、その仮定事に含まれる誤りを探し出さねばならないが、その仮定事も知らされしていない。

フアーソフはNASAの報告の矛盾点を一例紹介している。

この探査機の水蒸気による吸収を利用することによって大気温度と表面温度を区別することになっていた。水蒸気にはある種の波長をもつマイクロ波の発信を阻止し、他の電波を通す性質がある。ところがNASAの説明によると、水蒸気は発見されないといいながら、表面温度を示す値が大気温度を割り出す分析法を用いて得られたと称しているのだ。

アメリカのジョン・ストロング博士とチャールズ・メイニー博士のような著名な科学者は、最初の惑星間探査機が目的地に達して信号を送り返したことは素晴らしい業績だと認めだが、同時に、政府筋が出した信号の説明を否定した。それまでの天体物理学者たちによる研究の結果、金星の大気は地球の大気と酷似しているという旨の信頼すべき証拠を出していたし、それにマリナー2号は金星から三四五〇〇キロ

以上も離れて通過したということを考慮に入れる必要があった。したがってNASAの言う金星の表面温度なるものは、せいぜい推測にすぎなかったのだ。つまり実際にはUFOとの関連を消滅させるためにあらかじめ計画されていた声明だったのである。

成功した政府の隠蔽工作

政府は知っていた。大衆や一般科学界というものは、少数の専門家のもつと機敏な調査研究よりも政府の公式発表を常に受け入れるものだというところ。その機敏な調査結果が流れても、そのため政府は「公式な」発見事をマスコミに氾濫させ得るのである。

マリナー2号による報告の効果は壊滅的なもので完べきであった。政府の望みどおりの目的は達成された。検閲者たちは地球に現れるUFOの証拠を葬り去ったり完全に台なしにすることはできなかつたけれども、金星を途方もなく荒れ果てた惑星だと思わせることによつて、飛来するUFOの裏にひそむ「真実」の信用性を落として得るようなNASAという乗物の運転席についたのである。

政府報告で引用された表面温度のために、この問題は表面上終結し、数年間この惑星は宇宙探検の重要な標的としてはほとんど無視されてしまった。実際、別な米宇宙探査機が金星の近く

を飛ばすまでに二二年の歳月が流れている。一九六〇年代なかばの突発的な決定を除けば、一九七四年、水星へ向かったマリナー探査機がついでに金星へ立ち寄つたのだ。

一九六四年に火星へ近接探査機を打ち上げた後、NASAは月に人間を送る計画をまかされた。それ以上の惑星探査を続けるには予算の問題で支障があり、一九六九年に予定されていた火星への飛行は当時、危険であると思われていた。

この時期にソ連は意欲的な宇宙探査計画を推進し、一九六〇年代中頃、金星に向けて四度探査機を送っている。一九六五年一月にはソ連の探査機が金星に到達してその地表に衝突したが、これが地球から他の惑星に到着した最初の宇宙船だった。

驚くべき二枚の地球の写真

NASAは今やソ連に遅れたことで困惑したが、さらにわるいことに、次の惑星間探査に予算がつくまでには数年かかろうに見えたのである。そこでNASAはソ連の成功から一カ月以内にその宇宙探査計画の一部を変更したのである。

火星探査計画からはずされて保管してあった残り物で未使用のマリナー探査機が一機あった。そこでNASAはそれを倉庫から取り出して金星飛行の

ために整備し直すようにとジェット推進研究所に命じた。こうして金星に向けて探査機を送ることが決定されたのである。というのは、それは火星旅行よりも容易で安上がりで早くやれるからだ。

一九六六年、地球を撮った最初の二枚の写真が突然、宇宙科学者のあいだで金星に関する議論を再燃させた。惑星間の距離から初めて撮影された一枚の地球の写真は、月の表面上空高く飛んでいたルナ・オービター1号の手になるものであった。

一九六六年八月に撮られたこの写真の存在したことが数カ月後に行なわれた一月の記者会見の席で偶然に洩らされたので、抜け目のない記者団はすぐにその重要性について質問をあげたのである。

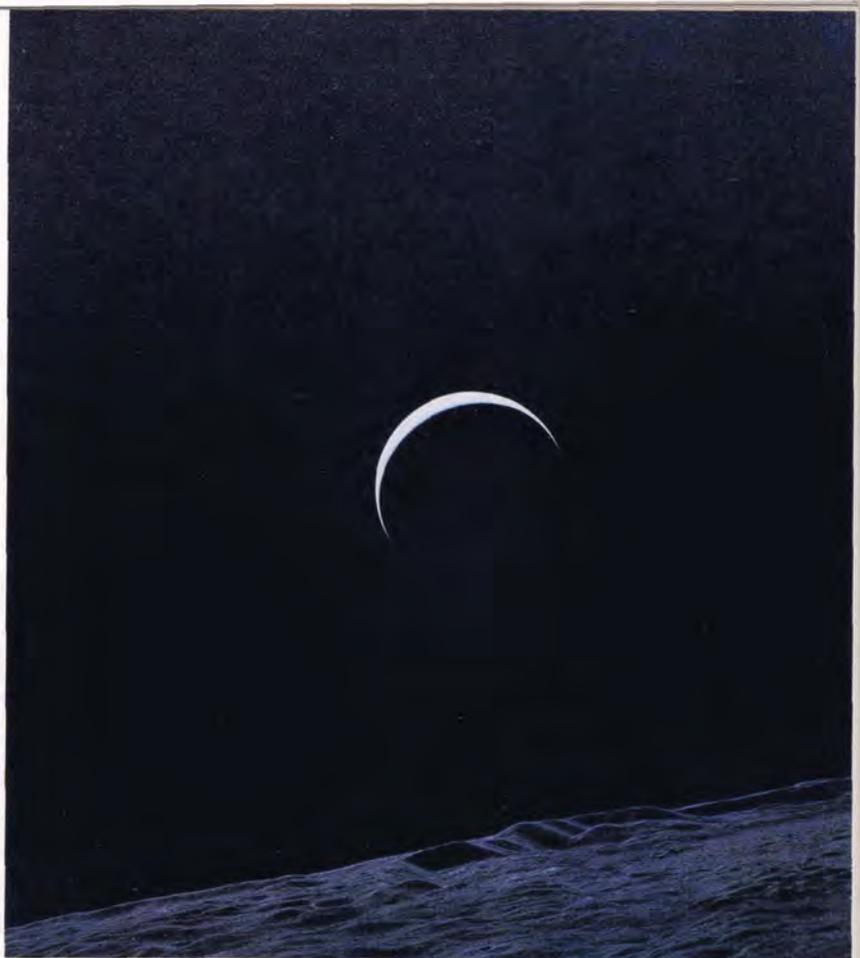
NASAはその写真が全く驚異的なものであることを認めた。それはほんやりとした形をして雲に覆われた三日月状の地球を示しており、望遠鏡写真の金星と酷似しているからだ。

二番目の驚くべき写真は一九六六年一月に気象衛星ATS-1が送信してきた。この衛星写真は三五〇〇キロの彼方から撮られたもので、ルナ・オービター写真と同様、金星に驚くほどよく似ていた。

この二枚の写真は、遠方から眺めた地球が遠方から見た雲に覆われている金星と似ていることを明らかにしてい

●宇宙から見た地球

右は月面上空を飛ぶルナ・オービター1号から撮影した三日月状の地球。下は月の地平線から昇る“地球の出”。



るのだ。このことで科学者のなかには雲の覆いについて考えを変えた人もいた。

NASAは、そこで働く科学者の多くが当時カメラ搭載探査機を金星に接近して送ることの可能性について真剣に関心をもっていたことを認めた。たぶん近距離から撮れば、見たところ不変の金星の雲の覆いが切れており、変化に富んだものであることが発見されるかもしれない。

これが事実だとされれば、確認されていないマリナー2号の測定値（いまだに仮定の数値で疑惑視されている）を解釈するのに用いられた温室効果理論は明らかにその信頼性を失うだろう。しかしNASAは一九六七年六月に打ち上げ予定の次の探査機にカメラを追加搭載する可能性はないと言う。実際、アメリカの探査機が金星の最初の宇宙画像を送り返してきたのは一九七四年になってからである。

確認されたアダムスキーの真実性

一九六六年に撮られたこの二枚の地球の写真（宇宙空間から初めて撮られたもの）は、雲に覆われて表面の姿が見えない地球を写し出していたが、この事実はアダムスキーの主張を確認する一端であることを証している。

一九五五年発行の彼の著書『宇宙船の内部』（日本語版アダムスキー全集第

一巻『宇宙からの訪問者』の第二部）の中で彼の体験が報告されている。母船に乗せられて宇宙への旅に出た記述の中で、アダムスキーは宇宙空間から見た地球の姿は右の二枚の写真と全く同じであることを述べている。

「私は地球のほうを振り返って、この距離から私たちの小さい天体がどのように見えるか観察した。驚いたことに、われわれの天体は白い光を放っている……白い輝きはかすんでいて……地球表面には地球だと断定できる痕跡は何も見えない。ただ下方に大きな光の球のように見えるだけである。ここから見れば、そこに無数の生物がひしめいているとは誰だって想像できないだろう」（同書一六五頁）

後の有人旅行でたびたび月の地平線からの“地球の出”の写真が公開されたが、これらの何枚かは間違いなく精巧な望遠カメラで撮影されたものである。なぜなら多くの写真が地球の大陸や海をはっきりと写し出しているからだ。

しかし無人オービターに積まれた初期の電子ビデオカメラは、表面の細部が分からない不明瞭な球体としての地球を示している。これは八〇〇〇キロの宇宙空間から母船の丸窓を通してアダムスキーが肉眼で見た光景と同じである。（第九章未完。以下次号）

ユーコン広場



素晴らしかった長野支部大会

松本市 若本真代

日本GAPの皆さん、久保田先生、こんにちは。宇宙の意識がいつもわたしたちを満たしていますように。

ついに長野支部大会に参加しました。わたしをこまごま歩ませてくれたすべてのことに感謝します。久保田先生の強い前向き姿勢と明るいフイリングは、わたしたちをともしれば宇宙侵略説にかたよって世の中の風潮から救い出してくれればならないことは何なのか。先生が言われたように、楽しい。フイリングとともに行動してゆきたいものです。

六月の観光の日にはわたしは貧血で倒れてしまったり皆様にご心配をおかけしてしまいました。明らかに気持ちで見守って下さっていた皆さん、暖かい心づかいを示して下さい。皆さん、どんなに嬉しく感じたことでしょうか。皆さんのそれぞれの現場でいつも周囲に愛をふりまいておられることだろうと思います。

大会には非会員である友人を伴ってゆきましたが、真剣に求める人たちにわけへだてなくご配慮いただきましたこともあわせて感謝いたします。わたしたちのそれぞれ歩みに真の科学的進歩がありますように。

ブラザーズに見守られている久保田先生はじめ皆様にお近づきなれ

投稿歓迎 字数を問わず。匿名発表可なるも住所氏名明記のこと。

よいご縁を得ることができました。この大会を企画運営して下さいました関係の方々にも感謝いたします。

楽しかったGAP総会

大阪市 山崎真由美

お元気ですか。大阪支部の真由美ちゃんです。九月の総会では楽しい日をごさせていただきました。ありがとうございました。秋山さんにも会えたり、スカウトシブの演奏も聞いたり(ついでに踊った)、遠藤さんに聞きまくったし、篠さんや坂本夫妻……もう思い出すだけで顔がほころびます。そしてあらためて、この素晴らしいGAPをつくった先生はすごいと思うのです。これからもGAPはどんどん大きく素晴らしい団体になるのでしようね。先生これからがんばってください。平塚のお父さん(平塚和義大阪支部代表)から八月二十五日に地球の波動が変わったと聞きました。私には良いことが起こるのでうれしいです。一週間後、一年後、一〇年後、わたしは、家族は、GAPはどう変わっているでしょう。地球はきっと素晴らしいにちがいありません。

GAPを知って三年半。たった三年半が私にとっては素晴らしい三年半でした。特に大阪へ来て平塚のお父さんに教わったり支部の人達から

学んだ二年は、今までの一九九年の人生の中でも最良の時となっております。大阪にいるのはもうあと半年もありませんが、残りの時間を十分に生かしたいと思っています(ひまができたら岡山から大阪の月例会へ行くつもりですが……)。道を踏みはずしそこのなら先生のところか大阪か、意識が引っぱってゆくでしょうから、そのときは叱ってやってください。

毎号スバラシイ本誌

大阪市 多田たか子

毎号スバラシイ内容で、会長先生のご苦労がしのばれ感謝申し上げます。ユーコン10号「アダムスキーに会った唯一の日本人」の中で、アダムスキーを占った結果が知りたいと思えますし、音波姓名学とは一体どんなものだろうと私たちは大へん興味をひかれます。文中に次表がとおりとありますが、その表がありません。次号でぜひともその表や音波姓名学を詳しく説明していただけないでしょうか。また向井裕先生の住所もお示しください。

ストレスを吹き飛ばすユーコン

高松市 堀 美知子

ユーコンの愛読者です。UFOに真剣に取り組んでいらつしやる方が全国にたくさんいることが大へん心強いです。職場でのストレスもユーコンを読むといっぺんに吹き飛んでしまいます。久保田先生有難うございます。先生の訳された「宇宙哲学」を買いました。むづかしいですが少しずつ読んでおります。

ユーコン10号から連載のすぐく面白い記事「アダムスキーに会った唯

一の日本人」が終わってしまつたのがとても残念です。とくに10号の音波姓名学や占いが途中で切れているみたいですね。女性にとつて占いは大へん興味のあるものですがからりクエストしたいと思えます。次号で音波姓名学を詳しく説明してください。筆者の住所を教えてください。紙面で発表してください。

久保田先生にお願いがあります。ユーコンはとも上品で紙質が高級すぎて、すぐ読み終わってしまいます。なんとかが紙質を落としてでも頁数を多くしていただけないでしょうか。

(編注)向井裕氏のご住所は左記の投稿記事中に明記してありますので音波姓名学に関しては直接にお問い合わせ下さい。本誌の紙質をこれ以下に落とすとカラー写真の印刷が悪くなります)

お願い

高松市 向井 裕

久保田会長先生に「アダムスキー」と会った唯一の日本人」を書くようにとのお話をいただいたことが御縁となり、私は「月の研究」を志しました。京大理学部天文台の助教先生とデイスカッションを開始し、その協力のもとにNASA(米航空宇宙局)と交流しはじめました。そして一年がたとうとしています。

京大助教先生からは、はじめは「あなたの説(アダムスキー説)は宗教的だからいただけに」と軽くあしらわれていました。しかしNASAからアポロ14号の16mmカラーフィルムが送られてきたことを知らせますと、平成元年九月一七日付で右の

助教先生から次のような返事をいただきました。

「前略、お手紙有難うございました。アポロ14号のフィルムが入手できたので、多くの点で写真とは異なる印象を受けられたと存じます。

月の大気や重力について従来の値に疑問をお持ちのようですが、既成の事柄にとらわれずに一つの現象を別の視点から見直す事も重要だと存じます。月の大気や重力でも、それに関する現象の観察事実と、それを首尾よく説明できる理論とが確立すれば、ニュートン力学をくつがえす画期的大発見であり、ノーベル賞もです。NASAからのフィルムをお貸し下さるとの事で大変有難く存じます(中略)。

この返事の中の「ノーベル賞もの」の言葉を見てアダムスキーに会いに行つたときのドキドキワクワクした若さを再び味わっています。ノーベル賞も「ノーベル賞ありめ」も同じ価値にしか思えませんが、私の茶目添えをいただき「ノーベル理学賞受賞候補論文」の作成にとりかかりたいと思います。何年かかっても、千年かかっても。

論文のタイトルは「NASAアポロシリーズにおけるアダムスキー月理学説の実証」などになると思われまふ。この論文の作成スタッフを募集します。男女学歴年齢を問いません。茶目気ある情熱と忍耐の人を求めます。

〒460高松市宮脇町一〇一、向井 裕 宛お手紙を下さい。

皆様のお力を御貸し下さい。知恵のある人は知恵を、声のある人は

本誌バックナンバー掲載記事目録

*印は絶版。在庫なし。お申し込みの際は郵便振替にて日本GAP宛で送金下さい。バックナンバーに限り送料は不要です。

No.107 平成元年10月25日発行 ¥900

テレバシー開発法とUFOの実態——G.アダムスキー
マチュピチュとナスカの謎——久保田八郎
私はペルーでUFOを見た——富岡設子
アダムスキーに会った唯一の日本人(完)——向井 裕
超能力開発の基礎レッスン——斉藤庄一
宇宙哲学を生かした超能力開発法——遠藤昭則

No.106 平成元年7月25日発行 ¥900

金星から知的メッセージを受けたマリナー2号——G.アダムスキー
アダムスキーに会った唯一の日本人②——向井 裕
宇宙哲学で奇跡を起こす方法——久保田八郎
ヒーリングとテレバシー——遠藤昭則
テレバシー現象の医学的考察——N. H. M. D.
UFO-宇宙からの完全な証拠⑨——ダニエル・ロス

No.105 平成元年4月25日発行 ¥900

デザートセンター円盤着陸事件——久保田八郎/藤芳史/坂本賢一/茂子
アダムスキーに会った唯一の日本人①——向井 裕
過去生透視法とその実例②——遠藤昭則
輝く星々の彼方へ——斉藤庄一
長野県に巨大UFO出現!——博田文喜
UFO-宇宙からの完全な証拠⑧——ダニエル・ロス

No.104 平成元年1月25日発行 ¥900

UFO問題と世界の運命——久保田八郎
アダムスキーの宇宙的カルマと異星人の援助——アリス・ボマロイ
デザートセンターで円盤着陸痕跡発見/安藤澄雄/久保田八郎
過去生透視法とその実例——遠藤昭則
UFO-宇宙からの完全な証拠⑦——ダニエル・ロス
GAP活動の原理——ダニエル・ロス

No.103 昭和63年10月25日発行 ¥900

アダムスキーの体験は真実だった!——アリス・ボマロイ
我らの惑星に愛と希望を——久保田八郎
カイロ上空に輝くUFOが出現——伊東芳和
私のUFOコンタクトと宇宙の目覚め——富岡設子
UFO-宇宙からの完全な証拠⑥——ダニエル・ロス

No.102 昭和63年7月25日発行 ¥900

UFO目撃で驚嘆、大変化した私——後藤泰二
仙台市上空にUFO長時間出現——遠藤昭則
富士山周辺でテレバシーに成るUFO群——長沼宏志
ミラクルワードとイメージ法で奇跡を起こす——田中 正
良い想念であなたの環境は良くなる——
UFO-宇宙からの完全な証拠⑤——ダニエル・ロス

No.101 昭和63年4月25日発行 ¥900

宇宙的家族のUFO目撃の日々——坂本茂子
精神的指導者に対する警告——G.アダムスキー
円盤の窓から手を振る“異星人”——斉藤庄一
長野県に出現したUFOの大群——博田文喜
頻繁なUFO目撃と超能力体験——佐々木八郎
UFO-宇宙からの完全な証拠④——ダニエル・ロス

No.100 昭和63年1月25日発行 ¥900

UFO問題とアダムスキー——久保田八郎
富士山二合目から目撃したUFO——遠藤昭則
私はこうして超能力を開発した——坂本正廣
アメリカの不思議な土地——水野和彦
UFO-宇宙からの完全な証拠③——ダニエル・ロス

No.99 昭和62年10月25日発行 ¥700

UFO-宇宙からの完全な証拠②——ダニエル・ロス
山中湖畔で空中を飛んだ自動車/——清水 南
富士山にUFOが大学出現——清水敏恵
(写真)大分市上空のUFO——
アダムスキーの大地とマヤの国へ——久保田八郎

No.98 昭和62年7月20日発行 ¥700

木星の衛星イオに古代都市跡を発見/——
UFO-宇宙からの完全な証拠①——ダニエル・ロス
静岡市上空にUFO頻繁に出現——遠藤昭則
太陽系惑星にまだ仲間がいる?
連夜のテレバシー送信に応じて出現した円盤——片岡 豊
万物の実体と想念の重要性——知念清邦
私は別な惑星へ行ってきた/(最終回)——春川正一

* No.97 昭和62年4月20日発行 ¥700

驚異の「生命の科学」と円盤大接近——伊藤達夫
八王子市でUFOを撮影——降旗和彦
別な惑星の偉大な人類と文明——G.アダムスキー
私は別な惑星へ行ってきた/④——春川正一

* No.96 昭和62年1月20日発行 ¥700

私のオーラ透視とテレバシー現象——清水 南
京都市上空にUFO5回出現——久保田八郎
想念放射、透視、UFO目撃——遠藤昭則
UFOと心霊は無関係——G.アダムスキー
私は別な惑星へ行ってきた/③——春川正一

* No.95 昭和61年10月20日発行 ¥700

茨城県千代田村のUFO——日本GAP茨城支部
アダムスキー問題に対する考察——内田格男
私のUFO目撃と不思議な体験——中嶋順子
ジャンボジェットに並行して飛んだ円盤——久保田八郎
私の別惑星訪問体験とアダムスキーの真実性——春川正一

* No.94 昭和61年7月20日発行 ¥700

テレバシーで飛来した真つ黒い円盤——堀江健一
八丈富士山麓でUFOを撮影——谷口美雄
地球を救う愛の想念放射運動——山崎清美
母船の周囲には人工大気層がある——G.アダムスキー
私は別な惑星へ行ってきた/②——春川正一

* No.93 昭和61年4月20日発行 ¥700

月面にいた2機のUFO/——
超低空に出現した大型円盤と黒い人影/——笠原弘可
私も光体を見た——伊藤達夫
多くの館——G.アダムスキー
質疑応答——G.アダムスキー
私は別な惑星へ行ってきた/①——春川正一

* No.92 昭和61年1月20日発行 ¥700

偉大な惑星から来た兄弟たち——野口敏治
サン・ピエトロ大寺院の異星人——久保田八郎
米トップ科学者、UFO墜落の事実を認める——ゴードン・クレイトン
質疑応答——G.アダムスキー
地球の哲学と宇宙哲学の相違(完)——松原真弓

* No.90 昭和60年7月20日発行 ¥700

朝霧高原の不思議な“月”——伊藤達夫
旭川にも月擬装UFO出現——石川晴道
尾道市に出現したアダムスキー型円盤と母船——
ムーンゲート第14章(完)——ウィリアム・L・ブライアン
アダムスキー問題の真実性と宇宙哲学実践法——久保田八郎

声を、腕力のある人は腕力を、足のある人は足の力を、お金しかない人はお金を、そして心ある方は心をお貸しねがいます。

南米の旅に大感激

米カリフォルニア州 菅田殉子

八九年八月の「アメリカ・南米宇宙ロードの旅」ではいろいろお世話になり、楽しい体験をさせて頂き、本当にありがたいございました。

九月一日にシンガポール航空で無事ロスへ帰って参りました。空港にはケンサンが迎えに来てくれていました。生まれて初めて南米へ行き、しかも私達の眼から見ればひどく貧しいと思えるペルーでは全く異なった世界を垣間見、いろいろ考えさせられたり、また遺跡や地上絵を見る事ができて大感激したり満足な旅でした。

東京では初めて月例会にも出席できましたし、なつかしい方々におめにかかったりして、忙しいスケジュールでしたが楽しいひとときでした。写真交換会もわざわざ私のスケジュールに合わせて下さったようで申し訳ありません。一緒に苦楽を共にしたあの旅行のグループの皆様には最早家族のような親しみをおぼえています。

先生が撮って下さった旅行中の全員記念写真集、さっそくアルバムに貼って友達に見せています。ありがとうございます。ロスに帰ってから篠さんから頂いた「異星訪問奇談」を読み、興味深い世界にひき込まれました。今、主人が読んでいます。来年のイスラエル旅行を心持ちしております。どうか皆様よろしく

お伝え下さいませ。 科学界で認められてきた テレビバシー

山梨県 清水 南

晩秋の候、久保田先生にはお元気で御活躍のことお慶び申し上げます。

また先週の長野支部大会ではいろいろと御指導戴きまして有難うございました。仕事の関係で先生の御講演を拝聴出来ず残念でしたが、夕食会、二次会、三次会、そして翌日は観光等、大変楽しくまた有意義に過ごさせて頂きました。長野支部大会へは三回目ですが、いつも暖かい家族的なフイーリングに包まれて素晴らしいものを感じます。

さて後になりましたが、このたびは長野支部大会の写真とバックナンバーを沢山ご惠贈下さいまして誠に有難うございました。バックナンバーは早速図書館へ入れさせて頂いたいただきます。書店館しであつたものは地元新聞読者欄を通じて希望者に贈っておりますが、なかには記事を読んだ大変感激したという人もおりました。

ところで話は変わりますが、最近読んだ「最新素粒子論」(宇研)で、アインシュタインとニールス・ボーアの量子力学論争(物質は観測者が居なくても客観的に存在するか)について、この問題が起きているから一〇〇年後の一九六四年に、ジョン・スチュアート・ベルが一応の結論を出して、これが今日おおよそ認められているという記事には大変興味深いものがありました。

ベルが導き出した結論は、①客観的に物が存在するならば、テレビバシーのようなもの(超光速)を認めな

ければならない。②物は観測されて初めて存在する。このどちらかだということだそうです。アインシュタインは客観的に物は存在するという立場をとっていたそうですが、現在もし生きていればテレビバシーや超光速について取り組まねばならないだろうと記事は述べておりました。やはりテレビバシー等の問題も正統的な科学界で研究される段階に入ってきたという事でしょうか。

ペルーで過去生を透視する

秋田市 阿部祥子

GAP本部からユークンを送って頂くようになってからもうすぐ短二年になろうとしています。その短い間に支部大会、総会、海外研修旅行というのに参加させて頂きました。今回の「アメリカ・南米宇宙ロードの旅」は本当に楽しく、この旅行に参加したことで横のネットワークも広がりました。参加された皆さん、とても良い方々ばかりで、おだやかな雰囲気です。参加された皆さん、私の子供の頃から日中は空気の中つぶつぶや、夜は天井を河のように流れる帯状のものを発見しました。それは色つきで、おもにピンク色をしています(ラメ入りです)。一種のオーロラかもしれません。

初めてUFOを見たのは高校の時合宿で天体観測をしていた時です。私は物理部の天文班でした。満月よりひとまわりくらいきれいな明るい物体がスーッと移動したり飛んだり

しました。みんなと一緒に見たのですが、とてもうれしかったのを覚えています。

秋田支部の月例会に行つて坂さんのお宅に遊びに行くようになってから、目を閉じるとスクリーンが出てくるようになりました。過去生がスクリーンに出てくると、自分がどの時代のどんな人かというのが直感的に分かるのですが、一つだけ分からない事がありました。今回ペルーのマチュピチュに行つた時、ここじやないかと思いました。風景がそっくりなんです。

男の人が女の人か分からないとても美しい人で、鋭いけれどもやさしい目の人が出てきた時、その人は天秤を持っていました。その天秤はきれいにカットされた石をのせているのです。土星の人かなって、みんな話したことがありません。デザートセンターで写つたUFOはどこから来たのか、そこまで分かるでしょうか(本誌34頁の写真)。旅行中私はあまりUFOを見ませんでした。一緒にいた富岡さんは結構見えています。

アダムスキーについてはいろいろと感じますが、やはりアダムスキーの名前に私はひかれます。来年はイスラエル旅行です。また参加できたらと思っていますが、貯金通帳とにらめっこです。エジプトは予定に入っていないですね。私は過去生でエジプトにいたことがあるので、ちょっと興味があるのです。エジプトではファラオの側近でした。年代ははっきりしません。兄が仕事でイギリスに住んでいた時に、私も休みを利用して旅行に行つたの

ですが、その時、一日ついやして大英博物館を見学しました。エジプトのコレクションの中で一つだけとても気になる棺がありました。今でも覚えています。今考えるとその王様に仕えていたのかもしれない。側近だったので地位も権力もあつたかもしれないませんが、なぜか私はその人生では人間として幸せな生活を送っていなかったような気がします。現在ではごく平凡な家庭で育ち、平凡な人生を送っているわけですが、今の私がとても幸せな人生だと思っています。

ユークン断号を楽しく拝見しました。さっそく恒例のまわし読みをしました。題号も楽しみにしております。先生、ご自愛下さい。

アダムスキーを賞える

米ニューヨーク市デイトウッドヒルズ 邦子

(前略)私は哲学書とか精神世界の本が子供の頃から大好きで、これまでに沢山の本を読んできましたが、アダムスキーの「宇宙哲学」ほど素晴らしい本に出会つたことはありません。今こちらで出まわっている宇宙関係の本は味気ない顔をした宇宙人に誘拐された身体検査をされたたりした人々の経験談の本が出版されていますが、その表紙を見ただけで恐ろしくて、とても買う気にはなりません。私はあくまでもアダムスキーの示された考え方や生き方についていきたいと思っております。本当に久保田様、素晴らしい本を我々に紹介して下さいまして有難うございました。アダムスキー全集は全部持っております。これを読むと心が洗われて明るい希望がもてます。

長野支部大会 有終の美

第三回長野支部大会は晩秋の色濃い諏訪湖畔のホテル「諏訪湖インあるが」で開催された。出席者は予想を越えて三〇名の多数に達した。

当日は遠路飛び入りで参加された熱心な会員で会場は満席となり熱気で溢れる中、中村公一副代表の司会で始まった。続いていつもながら久保田先生の張りのある声は次第に熱気を帯びて聞く者をぐいぐいと引き込んでゆく。

今回の講演は「勇氣と希望を与え、奇跡を起こさせるアダムスキー哲学」と題するものである。

先生の不思議な体験をまじえながらお話し頂いたなかで、人間は楽しく生活すべきであり、創造主も人間をそのように創られた筈であるというお言葉に、深く感じいった。またGAP活動の重要性にも触れられて、息の長い活動の必要性を痛感させられた。

今回は東京本部から遠藤昭則氏と田中淳氏のご参加を頂いたが、遠藤氏からはテレパシー開発法について講演と指導をして頂き、参加者にはまた面白いプレゼントとなった。素晴らしい講演を頂いた久保田先生と遠藤氏に心から感謝したい。

夕食会の中村さんの趣向を凝らしたプログラムに添って楽しく行なわれた。秋田支部の佐藤春雄氏のユーモアたつ

ぶりの民謡指導に続き、久保田先生の情感溢れる甘い歌声に会場が最高潮に達したところで、プレゼント付ESPカードによる神経衰弱で楽しい夕食会も幕となったものの、有志により二次回、三次回へと時のたつのも忘れて楽しい一夜を過ごした。

翌日は市内観光と秋のビーナスライン巡りが行なわれた。少し雲が多かったものの、絶好の行楽日和となり、一同を乗せた大型観光バスはまず諏訪大社四社の内、春宮に向け出発。春宮と近くの不思議な石仏を見学後、秋宮に向かう。ここで参拝後、記念写真を撮り、しばらく散策後、ビーナスライン巡りに出発。

昼食予定の霧ガ峰には少々早く着いたので、自由に散策しながら高原の秋を楽しむ。遠藤氏は車からサイン雲を見たと話される。そのあと白樺湖へ行き、秋の高原に別れを告げて、ふたたび諏訪湖畔へ引き返し、北沢美術館で珍しい工芸品を観賞後、遊覧船で湖上へ出る。約四〇分間、さわやかな風を船のデッキであびて観光も無事終了した。ご指導頂いた久保田先生と遠藤氏、遠路をご参加頂いた皆様、支部会員諸氏に心から御礼を申し上げます。

(長野支部代表・博田文喜)

第三回目の長野支部大会は意外に参加者が多くて張り合いがあった。一体に長野県は昔太平洋戦争末期に松本航



写真右II上から支部大会、秋宮、諏訪湖畔のモアイ群(何が見えただか。写真左II上から会長、遠藤講師の各講演、不思議な石仏、霧ガ峰高原での観測。

空隊にいたことがあって懐かしい土地

だが、いつも清純な空気を感じるのアルプスに抱かれているからだろう。大会の運営と雰囲気は立派なもので

数百名の大集會に劣らぬほどの熱気と真剣な波動を感じた。私としては最善をつくしてお話をしたつもりである。遠藤君もよくやった。田中君も東京と諏訪間を車の運転でよく頑張った。

霧ガ峰高原は円盤の着陸に絶好の場所と聞いていたが、そのとおりだった。高原で過去にいろいろあったらしい。

藤沢清則君(長野市)がここでビデオカメラにより円盤と母船らしい物体を写した。これは現在調査中。この大会が八九年度地方支部大会の有終の美を飾った。関係者各位に感謝したい。

(久保田八郎)

第1回 南九州支部大会

- 日時 4月29日(2連休初日。土曜日休日の人は3連休中日)
- 会場 「鹿児島市民文化ホール」 ☎0992-57-8111
*JR西鹿児島駅からタクシー10分。
- 会費 ¥3000(全員記念写真代(送料共)¥800は別納)
- プログラム (司会 鶴田清則)
- 1:00 支部代表挨拶 鶴田清則
- 1:10 講演「宇宙哲学と奇跡発生法」
日本GAP会長・久保田八郎先生
- 2:30 テレビシー開発指導・遠藤昭則氏
- 3:00 全員記念撮影・休憩
- 3:30 全員自己紹介・質疑応答
- 5:00 閉会
- 夕食会 大会終了後6:00→9:00頃まで開催(希望者のみ)。
会場：鹿児島サンロイヤルホテル
☎0992-53-2020
*大会会場から徒歩5分。
会費：¥5000
- 宿舎 鹿児島サンロイヤルホテルを幹旋。
鹿児島市与次郎1-8-10
シングル¥7210(税、サ込)
- 観光 NHK大河ドラマ「翔ぶが如く」で放映中の
場面に出てくる多数の名所旧跡へご案内しま
す。ひよっとすれば活火山の桜島が爆発する
瞬間を目撃して地球の鼓動を感じるかも。
参加費¥2000(昼食代別)。
- 申込 大会、夕食会、宿舎、観光の申込はハガキま
たは電話で下記へ。〈4月14日必着〉
〒891-03 鹿児島県指宿(いびすき)市新西方998
鶴田清則 ☎0993-25-4398

南九州支部発足第1回支部大会を開催することになりました。久保田先生と遠藤氏の素晴らしいご指導のもとに大宇宙への視野を拡大し、心身共に浄化充電を図る絶好の大会です。両先生に接するまたとない機会です。東京本部月例会の雰囲気九州鹿児島で実現させますので多数ご出席下さい。歴史に詳しい久保田先生と一献汲みかわしながら薩摩の生んだ大西郷の宇宙的思想について傾聴するのも楽しみです。観光では最高のご案内を致します。忘れ得ぬ2日間をお過ごし下さい。

▼鹿児島市民文化ホール



第11回 仙台・山形合同支部大会

- 日時 5月4日(3連休の中日)午後1:00→5:00
- 会場 「仙台市片平市民センター」3F、第1会議室
仙台市青葉区米ヶ袋1-1-35 ☎022-227-5333
*仙台駅前から、お霊屋橋(おたまやばし)経由動物公園方面行きのバスに乗り約7分、東北大正面前で下車して真向かいの建物。駐車場あり(9台可)。
- 会費 ¥2500(全員記念写真代(送料共)¥800は別納)
- プログラム (司会 柴田文子)
- 1:00 支部代表挨拶 笠原弘可・柴田光明
- 1:00 講演「宇宙哲学と奇跡発生法」
日本GAP会長・久保田八郎先生
- 2:30 全員記念撮影・休憩
- 3:00 テレビシー開発指導・遠藤昭則氏
- 3:20 全員自己紹介・意見発表・質疑応答
- 5:00 閉会
- 夕食会 大会終了後6:00→8:00まで開催。
会場：仙台第2ワシントンホテル 2F「オリーブの間」
仙台市青葉区大町2-3-1 ☎022-222-2111
*仙台駅前青葉通りをまっすぐ下って徒歩15分。車で5分。大会会場から徒歩5分。
会費：¥6000
- 宿舎 第1ワシントンホテルを幹旋。
(住所・電話は第2ワシントンホテルと同じ)
シングル¥6000 ツイン¥12000
- 観光 5月5日9:30→16:00。観光バスによる仙台市内名所旧跡の周遊を予定しています。
会費¥2500程度。
- 申込 大会、夕食会、宿舎、観光の申込はハガキまたは電話で下記へ。〈4月末日必着〉
〒983 仙台市宮城野区五輪1-16-14-306
笠原弘可 ☎022-295-0725

今年も第11回の仙台と山形両支部の合同支部大会を仙台で開催します。純粹にして美しく豊かな宇宙的人生を過ごすための秘法を久保田先生が伝授されます。別な太陽系から転生してきたといわれる先生と他の惑星からの使者・遠藤氏の深遠雄大な宇宙の法則を聴き、覚醒と飛躍のステップにしようではありませんか。人情に厚い東北人一同心からお迎え致しますので多数ご参加下さい。翌日は伊達侯62万石雄藩の名残りをとどめる名所旧跡めぐりを貸切りバスで実施します。



支部名	日 時	会 場	会 費	プログラム・テキスト
東京本部	毎月第2土曜日 午後1:30→6:00	上野公園内「東京文化会館」4F会議室。 ☎03-828-2111。JR上野駅「公園口」下車。改札口の真向かい。 連絡先=日本GAP本部 ☎03-651-0958	会場費 ¥500 セミナー 受講料 ¥1000 計¥1500	1:30→2:10 会員による体験講演。 2:15→3:30 久保田会長による講義。 テキスト=「生命の科学」 テレバシー開発法、テレバシー練習、 近況報告、自己紹介、質疑応答。
大阪支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	大阪府吹田市出口町4丁目「吹田市民会館」 ☎388-7351。JRまたは阪急電車吹田駅下車。 連絡先=平塚和義 ☎06-436-3478	¥300	東京月例会における久保田会長の講義録音テープを公開。 テキストその他=東京本部に同じ。
新潟支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	長岡市今朝白1丁目「けさじろ荘」 ☎0258-33-7400。長岡駅東口より徒歩5分。無料駐車場あり。 連絡先=星 富治夫 ☎02579-2-5562	¥500	同上
名古屋支部	毎月第2日曜日 午後1:00→4:30	名古屋市中区金山1丁目5番1号「名古屋市民会館」特別会議室。 ☎052-331-2141代。 JR東海・名鉄・地下鉄の金山橋より徒歩5分。 連絡先=林 国直 ☎0586-45-6468	¥300	同上
仙台支部	毎月第4日曜日 午後1:10→4:20	仙台市青葉区1番町4丁目「141(イチヨンイチ)ビル」内5F 「エルパーク仙台セミナー室」☎022-268-8300。仙台駅よりバス で県庁市役所前下車、三越デパート隣。 連絡先=笠原弘司 ☎022-295-0725	¥300	同上
山形支部	毎月第1日曜日 午後1:00→5:00	山形県天童市老野森1丁目1-1「天童市中央公民館」 ☎0263-54-1511。天童駅から徒歩10分、タクシー4分。天童市役所の裏側。 連絡先=柴田光明 ☎0233-25-3261	¥300	同上
札幌支部	毎月第1日曜日 午後1:00→4:30	中央区北一条西13丁目「札幌市教育文化会館」会議室。 ☎011-271-5821。 連絡先=高野省志 ☎011-571-9874	¥500	同上
旭川支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	旭川市6条通4丁目「勤労者福祉会館」2F小会議室 ☎0166-26-1304。 連絡先=川上三秀 ☎0166-61-0044	¥500	同上
青森支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	青森市松原「青森市民文化センター」教養室。 ☎0177-34-0163。 連絡先=田村嘉彦 ☎0177-38-0416	¥500	同上
沖縄支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	那覇市寄宮1-2-1「那覇市民会館」1F、A会議室。 ☎0988-55-5081。与儀公園の隣。 連絡先=比嘉政広 ☎09893-2-2889	¥500	同上
秋田支部	毎月第2日曜日 午後1:00→5:00	秋田市八橋運動公園1-2「中央公民館」趣味の間。 ☎0188-24-5377。 連絡先=伊藤正治 ☎0188-62-2831	¥200	同上
横浜支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	横浜市中区万代町2-4-7「横浜市技能文化会館」7F、703号室。 ☎045-681-6511。JR関内駅、地下鉄・伊勢崎長者町駅より徒歩3分。 連絡先=清水 正 ☎0488-66-7048	¥500	同上
茨城支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	水戸市梅香1-2「三の丸公民館」小集会室。 ☎0292-24-6600。水戸駅北口より徒歩10分。 連絡先=清水勝一 ☎0292-73-1903	¥300	同上
長野支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	塩尻市大門7番町「塩尻総合文化センター」第1会議室。 ☎0263-54-1253。 連絡先=博田文喜 ☎0263-58-8510	¥500	同上
紀南会	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00 ※代表が長期療養のため月例会は当分休会。	和歌山県新宮市新宮6682-1「新宮市福祉センター」1F相談室。 ☎0735-21-2760。JR西日本新宮駅下車、徒歩5分。 連絡先=松口幸之助 ☎0735-34-0605(呼・田中)	¥300	同上
栃木支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	鹿沼市市役所裏「御殿山会館」1F小会議室。 ☎0289-64-4334。JR鹿沼駅から西へ1.5km。東武鹿沼駅から北へ1.5km。市内行きのバスに乗り天神町下車。徒歩5分。 連絡先=渡辺克明 ☎0289-62-3319	¥500	同上
九州支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	鹿児島市与次郎2丁目3-1「鹿児島市民文化ホール」 ☎0992-57-8111。 連絡先=鶴田清則 ☎0993-25-4398	¥500	同上
高松支部	毎月第1日曜日 午後1:00→5:00	高松市玉藻町9番10号「香川県民ホール」5F第1会議室。 ☎0878-23-3131。JR高松駅より徒歩7分。 連絡先=関 高明 ☎0878-88-1334	¥400	同上

サブリーミナルテープ
潜在脳刺激法であなたの人生が変わる!

今なら各シリーズを無料試聴できます。

マインドパワー・潜在能力を開発

「マインドパワーの開発」「充実した人生」
これらを簡単に現実のものにしてくれる驚くべきテープがアメリカからやってきました。
アメリカの著名な心理学者S・ハルパーン博士の開発した「サブリーミナル・プログラム」がそれ。なにせ美しいBGM音楽を聴き流しているだけで確実な効果があるというのですからこれを利用しない手はありません。



あのハルパーン博士が あなたのために制作

「マインドパワーの開発」「充実した人生」……これらを現実のものにするには、これほど簡単なものはない。これはどんな人でも簡単に実現できる。このテープがアメリカからやってきました。それがアメリカでは知らない人はいないほど有名な心理学者「サブリーミナル・ハルパーン博士」の開発した「サブリーミナルテープ」です。博士手になるサブリーミナルテープは、米国で昨年一年間だけで五十数万本という驚異的なペースでセラーを続け、その確かな効果が実証されています。

BGMとして聴く だけで効果が!!

このサブリーミナルテープ、耳に聴くだけで、うっとりするような素晴らしいメロディーの心がとどろいてくるので静かな音楽だけです。

「日本の曲でいえば、喜多郎の音楽にイメージが似ている。この音楽だけでもストレスを解消し、気分をさわやかにするすぐれた効果がある。しかし、実はこの音楽は、ハルパーン博士が開発した他に真似のできない高度な音響テクノロジーを駆使して、ある心理学的な言葉のメッセージが耳に聴きえない周波数に変換されて入っているのです。(潜在脳に独特の刺激を与える音楽の波長が、耳に聴きえないメッセージの波長を潜在脳へ運び、植えつけてしまう。)

この音楽に交って入っている「耳に聴きえない心理学的メッセージ」が、ただテープの音楽を聴いているだけで、潜在能力が開発される。充実した人生へ歩み始める。という現象を引き起こす秘密なのです。

「本を讀んで興味に熱中している時に、BGM音楽として聴き流しているだけで、夢がかなってしまう。このアメリカの音の科学のプログラムが、ついに日本の音にも利用されたように思えます。」

商品お申込み 案内書請求の方 に試験用テープを無料進呈!

① マインドパワー・潜在能力を開発 マインドパワーシリーズ(MDシリーズ)

あなたの心と体をゆったりともほほし、不安緊張や心と体の疲れを取り除いてくれる宇宙的なBGM音楽。BGM音楽に、あなたの意識を拡大し、精神力(マインドパワー)や秘められた潜在的能力を自然に開発するサブリーミナル・メッセージを同録させたのが、このMDシリーズです。会社から帰ってその日の疲れを癒したい時、静かなBGM音楽を流して気分転換をしたい時から解放されたい時、静かなBGM音楽を流して気分転換をしたい時。MDシリーズのお届けするテープの内容は、●安全な自分と出会う ●無限大の心・宇宙意識の目覚め ●人間性・人格の向上 ●愛と慈悲のエネルギー ●精神力の強化 ●偉大な潜在能力の開発 ●第六感の開発 ●自由自在な思考力 ●無限の知恵の獲得

(このシリーズのサブリーミナルテープのベース音楽には、ハルパーン博士の友人である「ヤソウ」の宇宙音楽をはじめ素晴らしい瞑想音楽が使われています)

② 現状を打破し充実した人生を 充実人生シリーズ(HLシリーズ)

「今のままでいいけない!」「もっと充実した人生を送るために何かをしなければ……」そんな中で感じている人々へ、現状を打破する第一歩を踏み出すキッカケをつかめず、日々苦悶に引きずられて向となく「過」へ落ちてしまっている。という方にお勧めするのがHLシリーズです。

現状から抜け出し新しい人生に向けて第一歩を踏み出す動機づけ、三日間からスタートする心身のときめきを感じる充実した人生を送るための方法を伝える充実した人生を送るための方法を伝える。

HLシリーズの届けられるテープの内容は、●現状を打破する ●目標・計画づくりの習慣 ●情性からの脱却 ●最高の人生を生きる ●自分の可能性を試す ●すぐ実行する習慣 ●必要な読書 ●勉強の裏付け ●毎日ベストを尽くす ●プロフェッショナルをめざす ●向上意欲の強化 ●充実した人生を生かす ●大いなる未来へはばたく

(このシリーズにはビフォー・アフタープログラムが付いています。各テープともA面B面を通してオーディオテープでお使いになれます)

※このHLシリーズには、充実人生計画シート、充実人生コンセプトシートが付いています。

●ステューヴン・ハルパーン博士のプロフィール●

音楽・音言葉の潜在意識への作用の研究で世界的な名を知られる心理学博士。学者であると同時に、瞑想音楽の神様としても米国はもちろんヨーロッパ各国にその名を知られ、世界的な人気を数多く持っている。博士の音楽は鑑賞用の音楽としても高く評価されているが、博士の長年の研究の巧みさが凝縮した「音楽の薬」としての効能も医学・心理・教育関係者の間で高い評価を受け、いろいろな分野で博士の音楽を取り入れている。カイザー・パーシメント病院をはじめ全米一流の医療機関では、博士の音楽を薬品の代わりとして患者に与え、著しい効果を見せている。



今、お申込みの方 案内書請求の方に 先着500名 サブリーミナルテープ本を無料プレゼント中!

今、お申込みの方案内書請求の方先着500名に、ハルパーン博士制作の心身をつらやかせ、大脳の活性化にもついても、アメリカで人気のサブリーミナルテープをプレゼントしています。

今なら無料試聴でき特別価格で購入できます

MDシリーズ ●HLシリーズは一年間の会員制の頒布会方式でお届けします。お申込後、毎月各テープ別のテープを一本ずつ(テープ)によって二巻お届けします。お支払いは毎月テープ到着後に4,800円(送料300円)。第一回目およびそれ以降もテープ到着後5日間の無料試聴期間を設けていますので、気に入らない場合は自由に返品できます。又、途中退会も自由です。

●今、お申込みの方に「案内書」を無料でお申込み下さい。

〒110 東京都港区南青山1-26-4
アメリカライオンリー社 UFCO 係
TEL:03-430-0743
FAX:03-430-0743
(受付AM 9:PM 24日 祭日も受付中)

潜在能力が目覚める 『記憶力・集中力の増大』『知能の向上』
真の自分が目覚める 『恋愛・人間関係成功』『強い自分の養成』

あなたを変える驚異の ヘッドホン

アメリカで数年前から話題になっている、
『大脳の脳波を誘導し、
人間の無限の可能性を引き出す
というヘッドホンが遂に日本へやってきた。
普通のヘッドホンと同じように
音楽等を聴いているだけで、
内蔵されたパルス波発生装置が作動して
大脳を心地よく刺激してくれる。
何度も愛用しているうちに
知らず知らずのうちに潜在能力が開発されたり、
精神力が強化されてしまうというしかけ。
一度、試してみる価値はある。

○右耳、左耳片方が同時にパルス波を発生させるタイプ
○高音質ステレオヘッドホン仕様
○D/Aコンバーター付 ○能力開発専用ミニアルバム

■『シンクロ・アルファ』は、4種類のパルス波の周波数モードの切換えができて、



『シンクロ・アルファ』と呼ばれるこの特殊なステレオヘッドホン。ヘッドホン内部に組み込まれた特殊な周波数のパルス波発生装置にその秘密がかくされている。使い方はとても簡単。目的に応じて4つの周波数の中からひとつを選び、スイッチを入れるだけ。あとはヘッドホンを装着して、勉強する、雑誌等を読む等くつろぐ、普通のヘッドホンと同じようにラジオ等々に接続して好きな音楽を聴くだけ。パルス波は耳に全く聞こえないから、勉強や音楽鑑賞の邪魔になることはない。
アメリカの有名な医学者、M・ギルラ博士の研究で明らかになった、大脳の脳波を共鳴させる特殊な周波数のパルス波『シンクロ・アルファ』から発生するこの特殊なパルス波の刺激によって大脳が活性化され、『学習能力向上』『記憶力・集中力の増大』『知能の向上』『精神力・性格の強化』等々の数々の機能が全く努力なしに得られる。

シンクロ・アルファの多様な効能

α波音楽テープ無料プレゼント中！
今、お申込みの方にもれなく、大脳を活性化させ心をなごませるアメリカでも人気のα波音楽テープを一本無料でプレゼント。

商品名・住所・氏名・電話番号・年令・職業・一括分割の別を明記の上、左記までハガキが電話で。

申込み方法

一括払・一九、八〇〇円(送料八〇〇円)
分割払・三、五〇〇円×6回(送料同)

この『シンクロ・アルファ』ステレオヘッドホンを今なら7日間無料試用できる。

■価格(消費税3%は別)

7日間無料試用できる

① 睡眠・深くつろぎ、性格改善
② 瞑想・直観力開発・知能開発・精神力強化
③ 記憶力・集中力強化・学習能力向上
④ 大脳の覚醒・自信・意欲、行動力の強化
の4種類の目的に応じた使い分けができる。

①自分の好きな音楽を聴く——音楽鑑賞をしながら、潜在脳力開発や自己開発ができる。

②アルファ波音楽テープ、サブリミナルテープ、自己暗示テープを聴く——これらのテープの効果をより一層引き出すことができる。

③勉強中に利用する——BGM音楽をかけながら、あるいは全く無音の状態で使用し、学習能力を上げ記憶効果を倍増させる。

④読書中や他の事をやっている時に装着する。

その他、テープ教材の記憶学習用に、安眠誘導用あるいは眠気防止用に幅広い目的で利用できる。

① 睡眠・深くつろぎ、性格改善

② 瞑想・直観力開発・知能開発・精神力強化

③ 記憶力・集中力強化・学習能力向上

④ 大脳の覚醒・自信・意欲、行動力の強化

の4種類の目的に応じた使い分けができる。

①自分の好きな音楽を聴く——音楽鑑賞をしながら、潜在脳力開発や自己開発ができる。

②アルファ波音楽テープ、サブリミナルテープ、自己暗示テープを聴く——これらのテープの効果をより一層引き出すことができる。

③勉強中に利用する——BGM音楽をかけながら、あるいは全く無音の状態で使用し、学習能力を上げ記憶効果を倍増させる。

④読書中や他の事をやっている時に装着する。

その他、テープ教材の記憶学習用に、安眠誘導用あるいは眠気防止用に幅広い目的で利用できる。

① 睡眠・深くつろぎ、性格改善

② 瞑想・直観力開発・知能開発・精神力強化

③ 記憶力・集中力強化・学習能力向上

④ 大脳の覚醒・自信・意欲、行動力の強化

の4種類の目的に応じた使い分けができる。

①自分の好きな音楽を聴く——音楽鑑賞をしながら、潜在脳力開発や自己開発ができる。

②アルファ波音楽テープ、サブリミナルテープ、自己暗示テープを聴く——これらのテープの効果をより一層引き出すことができる。

③勉強中に利用する——BGM音楽をかけながら、あるいは全く無音の状態で使用し、学習能力を上げ記憶効果を倍増させる。

④読書中や他の事をやっている時に装着する。

その他、テープ教材の記憶学習用に、安眠誘導用あるいは眠気防止用に幅広い目的で利用できる。

〒107 東京都港区南青山1-26-4

アメリカンライブラリー社 UO①係

電話 東京 03(479)5006-4

(受付 AM 8:30 PM 24 日・夜日も受付中)